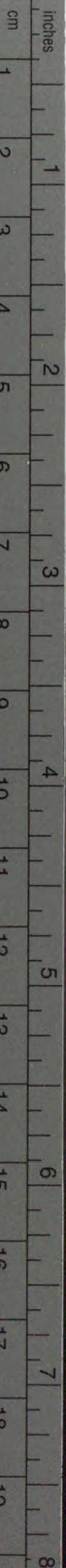


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

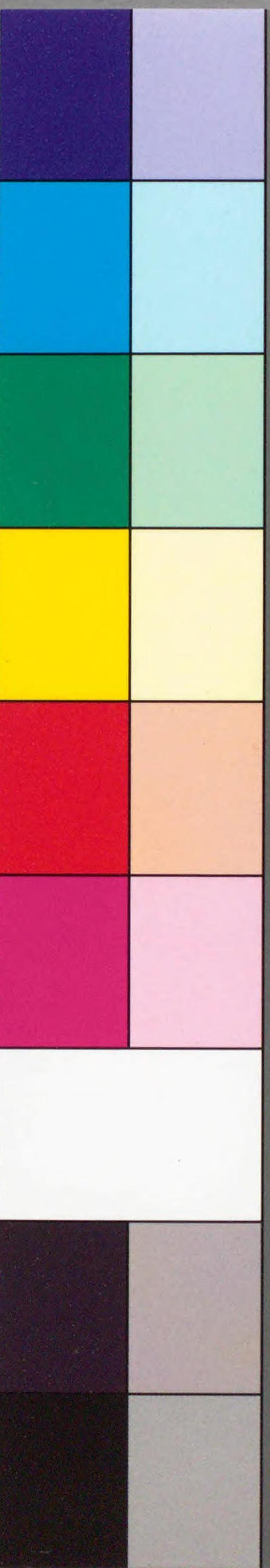
A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



CZ-1113-74-02



\*1200900325351\*



CZ-1113-74-02



I 種

W



\*1200900325351\*



4427-42

### 第三章 公債

#### 市債條例

制定 昭一七、四、一 條例三

本市會ノ議決ヲ經大阪州市債條例左ノ通相定ム

#### 大阪州市債條例

##### 第一章 總則

**第一條** 大阪市債ニ關シテハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本條例ニ依ル

**第二條** 市債ヲ起サントスルトキハ其ノ目的、名稱、起債額、起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付條例又ハ議決ヲ以テ其ノ都度之ヲ定ム

##### 第二章 起債ノ方法

**第三條** 起債ノ方法ハ公債證券ノ發行又ハ普通貸借ノ方法ニ依ル

**第四條** 公債證券ヲ發行スル場合ニ於テハ汎ク之ヲ募集ス

特別ノ事情アル場合ニ於テハ公債證券ノ發行ハ銀行、信託業者又ハ相當ノ資格アル者ヲシテ之ヲ引受ケシムルコトヲ得

大藏省豫金部資金、簡易生命保險積立金其ノ他政府資金ヨリ融通セラレル場合ニハ該資金ノ融通條件ニ依リ公債證券ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スモノトス

第一項ノ場合ニ於テハ應募者ヨリ保證金ヲ徴スルコトヲ得

**第三章 公債證券**

**第五條** 公債證券ハ無記名利札トス

公債證券及附屬利札ニハ記號及番號ヲ附ス

#### 第九類 財務

#### 第三章 公債

**第六條** 公債證券ノ見本ハ之ヲ各取扱店ニ配置ス但シ其ノ様式ノ要項ヲ公告シテ見本ノ配置ニ代フルコトアルヘシ

前項ノ見本ハ何人ト雖取扱店ニ就キテ閱覽スルコトヲ得

**第七條** 公債證券ノ額面金額ノ種類ハ百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓、五萬圓及十萬圓ノ七種以內トス

**第八條** 公債證券ノ附屬利札盡了シタルトキハ之ト引換ニ次期以降ノ利札ヲ附シタル公債證券ヲ交付ス但シ次期以降ノ利札ヲ續足交付スルコトアルヘシ

**第九條** 公債證券又ハ利札ヲ紛失又ハ滅失シタル者ハ左ノ各號ノ一ヲ具備スル場合ニ限リ其ノ種類、記號及番號ヲ明示シテ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但シ元金償還期日又ハ利子支拂期日ノ到達シタル證券又ハ利札ニ付テハ之ニ相當スル現金ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

一 當該證券又ハ利札ニ付除權判決アリタルコトヲ證明シ且市長ノ適當ト認ムル保證人二名以上ノ連署ヲ以テ後日除權判決ノ取消ニ因リ市方損害ヲ蒙リタル場合請求人ト連帶シテ其ノ損害ヲ賠償スヘキコトヲ約スルトキ但シ擔保ノ提供ヲ以テ保證人ニ代フルコトヲ得

二 當該證券又ハ利札ノ持參人方償還又ハ支拂ヲ受ケタル場合ニ市ノ損害ヲ賠償スヘキ旨ヲ約シ且擔保ヲ提供スルトキ

**第十條** 公債證券又ハ利札ヲ汚染又ハ毀損シタル者ハ當該證券又ハ利札ヲ提出シテ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ汚染又ハ毀損甚シク眞偽ヲ鑑定シ難キ場合ニ於テハ前條ノ例ニ依ル



前條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ汚染若ハ毀損證券ノ附屬利札中欠缺セルモノアルトキハ其ノ欠缺利札ノ金額ニ相當スル現金ヲ納付セシム

前項ノ利札ノ所持人ハ其ノ利札ヲ提出シテ納付金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第十一條 代證券又ハ代利札ノ調製及交付ニ要スル費用ハ請求人ノ負擔トス

第十二條 公債證券ニ信託財産ナルコトヲ表示ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書ニ該公債證券ヲ添ヘ提出スヘシ表示ノ抹消ヲ受ケントスルトキ亦同シ

第十三條 第九條及第十條ノ規定ニ依リ交付スル公債證券ニシテ原公債證券ニ信託財産ナルコトヲ表示アル場合ニ於テハ信託財産ナルコトヲ表示ヲ爲シテ之ヲ交付ス

第十四條 公債證券ヲ發行シタル市債ノ元金ハ償還年次表ニ依リ毎年度額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

財政上必要アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス償還年限ノ短縮ヲ爲シ又ハ一月以前ニ公告シテ償還期間中ハ勿論据置期間中ト雖隨時元金ノ全部若ハ一部ノ繰上償還ヲ爲シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ償還ハ買入銷却ニ依リ之ニ代フルコトヲ得

買入銷却ヲ爲ス場合ニ於テハ隨意契約ノ方法ニ依ルコトヲ得

事務取扱場所ハ之ヲ公告ス

第五章 雜則

第二十一條 市債ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十箇年、利子ニ在リテハ五箇年ヲ以テ完成ス

第二十二條 本條例ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

公債證券登錄規程

制定 昭九、二、四告示 一八  
最近改正 昭一一、四 告示 二八六

大阪市公債證券登錄規程

第一條 本市ニ公債證券登錄簿ヲ設ケ本市發行ノ公債證券ニ付其ノ所有者ノ申出ニ依リ理財局長ニ於テ左ノ事項ヲ登錄ス

一 公債ノ名稱

二 券面金額ノ種別

三 記載及番號

四 所有者ノ住所及氏名

五 其ノ他理財局長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二條 前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ受ケントスル者ハ必要事項ヲ具シ理財局長宛申附ツヘシ

第三條 登錄シタル公債證券左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理財局長ハ其ノ旨ヲ所有者ニ通知スヘシ

第九類 財務 第三章 公債

第十五條 公債證券ヲ發行シタル市債元金ノ償還期日ハ豫メ之ヲ公告ス

第十六條 公債證券ヲ發行シタル市債元金ノ一部ヲ償還スル場合ニハ抽籤ノ方法ニ依ル但シ同一人ニ於テ同種類ノ公債證券全部ヲ所持スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

當籤シタル證券ノ種類、記號及番號ハ之ヲ公告ス但シ前項但書ノ場合ニハ償還スヘキ證券ノ種類、記號及番號ヲ所持人ニ通知スルモノトス

第十七條 市債ノ利子ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外毎年二回ニ分チ各其ノ前六月分ヲ支拂フ但シ六月ニ滿タサル期間ニ對シテハ日割ヲ以テ計算ス

支拂期日ヲ經過シタル公債證券ノ元利金ニ對シテハ其ノ期日以後ノ利子ヲ附セズ

第十八條 公債證券ヲ發行シタル市債ノ元金及利子ハ證券又ハ利札引換ニ其ノ持參人ニ之ヲ支拂フ

第十九條 第九條但書及第十條第二項ノ規定ニ依リ現金ノ支拂ヲ爲スコトキハ領收證書ヲ徴ス

第二十條 公債證券ヲ發行シタル市債ノ元金償還及利子支拂ニ關スル

抽籤償還ニ當籤シタルトキ

一 繰上償還ヲ爲スモノト決定シタルトキ

二 其ノ他理財局長ニ於テ通知ノ要アリト認ムルトキ

三 登錄シタル公債ノ全部又ハ一部ニ付權利ノ得喪證券ノ紛失滅却其ノ他登錄事項ニ變更アリタルトキハ其ノ所有者ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ怠リ前條ノ規定ニ依リ通知書配達不能トナリタルトキハ登錄ヲ取消スコトアルヘシ

本市ニ於テ登錄事項ノ變更ヲ知りタルトキハ其ノ更正又ハ取消ヲ爲スコトアルヘシ

第五條 本規程ニ依ル登錄及通知ハ無料トス

第六條 登錄又ハ通知書ノ錯誤、通知書ノ延著又ハ不著其ノ他本市ノ事務取扱上ノ事故ニ因リ所有者ニ損害ヲ生スルコトアルモ本市ハ其ノ賠償ノ責ニ任セス

第七條 登錄簿ノ様式其ノ他本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ理財局長之ヲ定ム

公債證券信託財産表示ニ關スル件

制定 昭四、七、二市長決定

市公債證券信託財産表示ニ關スル件

一 市公債ニ付テ信託法第三條第二項ニ依リ委託者又ハ受託者ヨリ信託財産ナルコトヲ表示請求ヲ受ケタルトキハ市公債證券契印簿及市公債證券番號簿ニ記號印ヲ捺捺シ市公債證券信託財産表示簿ニ相當記

號ヲ捺捺ス

市公債證券信託財産表示ニ關スル件

制定 昭四、七、二市長決定

市公債證券信託財産表示ニ關スル件

一 市公債ニ付テ信託法第三條第二項ニ依リ委託者又ハ受託者ヨリ信託財産ナルコトヲ表示請求ヲ受ケタルトキハ市公債證券契印簿及市公債證券番號簿ニ記號印ヲ捺捺シ市公債證券信託財産表示簿ニ相當記

號ヲ捺捺ス

市公債證券信託財産表示ニ關スル件

制定 昭四、七、二市長決定

市公債證券信託財産表示ニ關スル件



入ヲ爲シタル上證券表面ノ欄外ニ左記ノ通り記入シ市長印ヲ捺捺スルモノトス

記

信託財産 昭和 年月 日 大阪市長 印

二 信託財産ナルコトノ表示抹消ノ請求ヲ受ケタルトキハ市公債證書契印簿及市公債證書番號簿ニ附シタル記號印ヲ(備簿)ノ印ヲ以テ抹消シ市公債證券信託財産表示簿ニ相當記入ヲ爲シタル上前ニ證券欄外ニ押捺シタル信託財産表示並市長印ハ朱線ニテ抹消シ更ニ同欄外ニ左記ノ通り記入シ市長印ヲ捺捺スルモノトス

記

表示抹消 昭和 年月 日 大阪市長 印

三 取扱手數料ハ信託財産表示及同抹消毎ニ證券壹通ニ付金參拾錢ヲ徴ス

四 市公債證券信託財産表示簿、同信託表示請求書並表示抹消請求書ノ書式別紙ノ通り(別紙省略)

〔大例一三號〕

### 第四章 會計

#### 第一節 豫算及決算

##### 豫算及決算規程

制定 昭一、三、二二 六一  
最近改正 昭一五、六 二九、四

豫算及決算規程左ノ通制定シ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

##### 第一章 豫算ノ編成

第一條 各局、部、課長ハ其ノ所管ニ係ル毎年度歳入出豫算調書(第一號様式)ヲ調製シ前年度九月末日迄ニ之ヲ理財局長ニ送付スベシ  
理事長並商科大學長及商科大學高等商業部長(以下學長ト稱ス)ハ其ノ所管ニ係ル前項ノ規定ニ依ル調書ヲ調製シ前年度九月十五日迄ニ主管局部長ニ、區長ハ其ノ所管ニ係ル前項ノ規定ニ依ル調書及毎年度市稅豫算資料調書(第二號様式)ヲ調製シ同日迄ニ理財局長ニ送付スベシ  
前二項ノ規定ニ依ル豫算調書ニハ左ノ書類ヲ添付スベシ  
一 前年度豫算ニ對スル比較増減説明書(第三號様式及第四號様式)  
二 豫算附記欄内ニ詳記シ得サルモノニ關スル參考書(第五號様式)  
三 現在人員並現在給調(第六號様式)

〔大例一三號〕

四 其ノ他參考トナルヘキ調書

第二條 歳入出豫算調書ニ記載スヘキ豫算額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一 種別、員數及單位金額ヲ基礎トシテ豫算額ヲ定ムル場合ニ於テハ種別、員數及單位金額ノ確定セルモノハ之ニ依リ確定セサルモノハ種別及員數ニ付テハ其ノ實績ヲ、單位金額ニ付テハ其ノ時價ヲ參酌シテ之ヲ定ム

二 法令又ハ別段ノ議決若ハ契約等ニ依リ定アルモノハ其ノ金額、前各號ノ規定ニ依リ難キ事由アルモノハ最近三年度決算平均額、其ノ平均額ニ依リ難キモノハ適當ノ方法ニ依リ定メタル金額但シ後段ノ場合ニ於テハ計算ノ基ク所ヲ明瞭ニスベシ

第三條 歳入出豫算調書ノ種目金額ニ圓位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ左ノ各號ノ規定ニ依リ取捨スベシ

一 歳入豫算ニ在リテハ之ヲ切捨ツベシ  
二 歳出豫算ニ在リテハ其ノ端數五十錢以上ナルトキハ之ヲ一圓ニ繰上ケ五十錢未滿ナルトキハ切捨ツベシ  
三 第一號及前號後段ノ場合ニ於テ特別ノ必要アルモノハ其ノ端數ヲ一圓ニ繰上ケルコトヲ得

第四條 理財局長歳入出豫算調書及資料調書ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ科目及種目ノ分別並金額算出ノ基礎等ニ付適正ナリト否ヲ審査シ其ノ必要アリト認ムルモノニ付前年度十一月末日迄ニ毎年度歳入出豫算案ヲ編成シ市長ノ決裁ヲ受クベシ

第五條 歳入出豫算ノ追加又ハ更正ヲ要スルトキハ其ノ都度所管ノ局、



部、課、區長ハ追加豫算調書(第七號様式)又ハ更正豫算調書(第八號様式)ヲ調製シ之ヲ理財局長ニ送付スヘシ  
解長及學長ハ其ノ所管ニ係ル前項ノ規定ニ依ル調書ヲ調製シ所管局、部長ニ送付スヘシ  
第一條第三項第三號乃至第四號、第二條及第三條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第一項及第二項ノ規定ニ依ル追加又ハ更正豫算調書ニハ豫算ノ追加又ハ更正ヲ必要トスル詳細ナル説明ヲ附記スヘシ  
第六條、理財局長ハ前條ノ規定ニ依ル追加又ハ更正豫算調書ヲ審査シ其ノ必要アリト認ムルトキハ歳入追加又ハ更正豫算案ヲ編成シ市長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二章 豫算ノ執行

第七條 歳入出豫算成立シタルトキハ其ノ都度各局、部、課、解長及學長ニ對シ其ノ所管ノ收支豫算ヲ定メ之ヲ令達ス  
區役所所屬ノ豫算ハ前項ノ規定ニ依ル令達豫算ノ範圍内ニ於テ區長ニ對シ市長之ヲ配付ス  
前二項ノ規定ニ依ル令達又ハ配付ヲ爲ス場合ニ於テハ必要ニ依リ豫算金額ノ全部又ハ一部ヲ留保スルコトアルヘシ  
第八條 各局、部、課、解長及學長ハ專決規程及別ニ定ムルモノヲ除クノ外豫算執行ニ關シテハ理財局長ヲ經テ市長ノ決裁ヲ受クヘシ  
豫備費ノ補充又ハ種目ノ流用ニ付テハ前項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於テハ理由ヲ詳記シ豫算取調書(第九號様式)ヲ添付スヘシ  
豫算附記ノ流用ニ付テハ理財局長ニ合議スヘシ此ノ場合ニ於テハ前項

後段ノ規定ヲ準用ス

第九條 豫備費ノ補充又ハ種目ノ流用ニ依リ豫算執行ヲ爲シタル場合ニ於テ剩餘ヲ生シタルトキハ直ニ剩餘額整理通知書(第十號様式)ニ依リ理財局長ニ報告スヘシ  
第十條 収支命令書ノ發行ハ市長ノ名ヲ以テ各局、部、課、解長及學長ニ於テ之ヲ爲スヘシ  
理財局長ニ於テ取扱ヒタル物品賣買、工事其ノ他ノ請負契約及用地買収ニ基ク収支命令書ハ理財局長之ヲ發行シ主管局部、課、解長及學長ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ  
第十一條 收支ニ關ル稟議案ノ金額及費目ノ文字ハ之ヲ改竄スヘカラズ

第十二條 豫算ノ執行ニ付テハ豫算差引簿(第十一號様式及第十二號様式)ニ依リ之ヲ整理スヘシ但シ特別ノ事由ニ因リ之ニ依リ難キトキハ考査部長ニ合議スヘシ

第十三條 理財局物品出納吏所管ノ物品ニ關ル不用品賣却代ノ收入及專決規程ニ定ムルモノヲ除クノ外普通經濟所屬ノ物品購入、賣却、工事其ノ他請負等ニ關スル違約金ノ收入ハ理財局長ニ於テ之ヲ整理スヘシ

第十四條 各局、部、課、解、區長及學長ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ毎月末日現在收支計算書(第十三號様式及第十四號様式)ヲ調製シ翌月十日迄ニ理財局長ニ送付スヘシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

一 普通經濟ニ在リテハ其ノ令達又ハ配付ヲ受ケタル豫算ニ限リ調製スヘシ  
二 特別經濟ニ在リテハ其ノ全收支ニ付主管局、部、課、解長及學長ニ於テ調製スヘシ  
理財局長ハ前項第一號ノ規定ニ依リ計算書ヲ豫算科目別ニ整理シ第二號ノ規定ニ依リ計算書ト共ニ之ヲ審査ノ上市長ノ閱覽ニ供スヘシ  
第十五條 各局、部、課、解長及學長ハ其ノ所管ニ屬スル繼續費ノ繰越計算書調製資料(第十五號様式)ヲ作成シ毎年四月十日迄ニ之ヲ理財局長ニ送付スヘシ  
理財局長ハ前項ノ規定ニ依リ繼續費繰越計算書ヲ調製シ之ヲ市長ニ提出スヘシ  
第十六條 各局、部、課、解長及學長ハ毎年度出納閉鎖期後二月以内ニ繼續費繰越調書(第十六號様式)ヲ調製シ之ヲ理財局長ニ送付スヘシ  
理財局長ハ前項ノ規定ニ依リ繰越豫算令達ノ手續ヲ執ルヘシ  
第十七條 出納閉鎖期日ニ於ケル繰替金、組替金及繰越金ノ整理ハ理財局長之ヲ爲スコトヲ得但シ電氣局ニ於ケル經濟相互間ノ繰替金及組替金並各經濟ノ繰越金ノ整理ハ電氣局長之ヲ爲スヘシ  
第十八條 出納閉鎖期日ニ於ケル豫備費戻入ノ手續ハ市收入役及市副收入役之ヲ爲スヘシ

第三章 決算ノ調製

第十九條 區收入役ハ毎年度歳入歳出決算書ヲ調製シ翌年度六月十日迄

一 區長ヲ經テ之ヲ市收入役ニ提出スヘシ  
第二十條 市收入役及市副收入役ハ市制第四百二十二條ノ規定ニ依リ毎年度歳入歳出決算書ヲ調製シ理財局長ヲ經テ之ヲ市長ニ提出スヘシ  
第二十一條 理財局長前條ノ規定ニ依リ決算書ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ寫本ヲ各局、部、課長ニ送付スヘシ  
第二十二條 第一條ノ規定ニ依リ豫算調書ヲ調製シタル各局、部、課長ハ決算説明調書(第十七號様式)ヲ調製シ前條ノ規定ニ依リ決算書ト照査ノ上八月末日迄ニ之ヲ理財局長ニ送付スヘシ  
第二十三條 解長、學長及區長ハ令達又ハ配付ヲ受ケタル豫算書ニ付執行情形結果ヲ第十七號様式ニ依リ七月末日限り各所管局部長ニ報告スヘシ

附則

第二十四條 理財局長ハ各局、部、課長提出ノ決算説明調書ニ付キ審査ヲ遂ケ科目別ニ整理シ決算書ト共ニ之ヲ市長ニ提出スヘシ  
左ノ規定ハ之ヲ廢止ス  
昭和二年達第七三號歳入出豫算編成手續  
大正十四年達第三四號收支規程  
昭和二年達第五〇號歳入豫算ノ一部ニ對スル豫算整理ニ關スル件  
大正十四年達第三九號豫備費補充、種目流用決議金額剩餘整理方ノ件  
大正十五年達第二六號當該年度出納閉鎖期ニ於ケル繰替金、組替金、繰越金、豫備費ノ整理ニ關スル件



昭和何年度大阪府大(大阪府)市(大阪府)特別豫算何費(何局、部、課、寮、區役所)

歳入(出)

經常(臨時)部……〔歳出ニシテ經常、臨時ノ區別ヲ設クルノ必要アルモノニ限ル〕

科 款	項 目	豫 算		原 算		附 記
		額	種 目	額	種 目	
一何々		一〇〇,〇〇〇	豫算年度	一〇八,〇〇〇	前年度	
		八〇,〇〇〇	額度	八〇,〇〇〇	原算額度	増
		一〇〇,〇〇〇	圓	一〇八,〇〇〇	圓	△
		八〇,〇〇〇		八〇,〇〇〇		圓
		一何々		四五,〇〇〇		〇
		二何々		三〇,〇〇〇		五,〇〇〇
		(何々)		五,〇〇〇		〇
		二何々		二〇,〇〇〇		二,〇〇〇
		(何々)		一八,〇〇〇		二,〇〇〇
		一何々		一〇,〇〇〇		△
		一何々		一〇,〇〇〇		△
		二何々		〇		一〇,〇〇〇
		(何々)		〇		一〇,〇〇〇
		一何々		〇		一〇,〇〇〇

(何々)

經常(臨時)部計	五五〇,〇〇〇	〇	五〇,〇〇〇	△	五〇,〇〇〇
歳入(出)合計	一,五〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇

備考

- 一 種目ノ下ノ附記欄ニハ種別ニ從ヒ員數、單價及金額ヲ記載シ計算ノ基ヲ明ナラシムヘシ但シ複雑ニシテ其ノ詳細ヲ附記ニ記載シ難キモノニ在リテハ其ノ概略ヲ記シ例示ノ如ク「参考書何丁」ト記載スヘシ
- 二 附記々載事項中参考書ノ計金額ニ相當スル金額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ此ヲ切捨テ計上スヘシ
- 三 前年度ニ在リテ本年度ニ在ラサル款、項又ハ種目アルトキハ款ハ其ノ欄最後ニ項又ハ種目ハ所屬項又ハ種目欄最後ニ例示ノ如ク括弧ヲ附シ記載スヘシ
- 四 普通經濟ノ本調書ハ歳入出共各款毎ニ別紙ヲ以テ調製スヘシ但シ市稅ノ款ニ限リ本調書ノ調製ヲ要セス

第二號樣式

昭和何年度市稅豫算資料調書

(何區役所)

種別	(一) 地租	同上ノ内市稅ヲ課セザル地租額	市稅ヲ課シ得ル稅額	同上人員
宅地	圓	圓	圓	人
其他				
計				

(二) 特別地稅

種別	烟	貨	貸	價	格	稅	額	同上人員
當區所轄	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	人
同 上								
內 課								
當區所轄外								
稅務署決定								
市稅課								
然ラサル								
モノ								
當區所轄外								
稅務署決定								
市稅課								
計								
稅額合								







- ルモノニ付調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スヘシ
- (五) 取引所營業稅
- 一 稅額ハ前々年度分調定濟額ヲ調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スヘシ
- (六) 釷產稅
- 一 稅額ハ前年度七月末日現在ノ營業所數ニ屬スルモノノ前々年度徵收額ニ付調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スヘシ
- (七) 府稅營業稅
- 一 課目中内譯細別等アルモノハ其ノ細別毎ニ計上スヘシ
- 二 稅額中收入金額ニ依ルモノハ前年度第一期分調定濟額ニ依リ其ノ他ハ前年度七月末日現在ニ依リ各其ノ年額ヲ調査計上スヘシ
- (八) 府稅雜種稅
- 一 府稅營業稅ニ準シ調査計上スヘシ

- (九) 府稅家屋稅
- 一 前年度課稅賃價格ヲ調査計上スヘシ
- (十) 特別稅坪數割
- 一 坪數ハ前年度七月末日現在ヲ調査シ一坪未満ノ端數ヲ切捨テ計上スヘシ
- (十一) 特別稅軌道稅
- 一 軌條ノ種別及延長ハ前年度七月末日現在ヲ調査シ一米未満ノ端數ヲ切捨テ計上スヘシ
- (十二)
- 一 稅制ノ改正其ノ他ノ爲前各項ニ依リ難キモノハ最近ノ事績ニ準據シ區長ニ於テ適當ト認ムル見込豫算額ヲ掲ケテ其ノ說明ヲ附記スヘシ

第三號樣式

昭和前年度大阪府大阪 市歳入出豫算比較増減說明書		歳入(出)		經常(臨時)部	
科目及種目	第何款何	第何項何	對前年度豫算増△減額	事	由
	一何	一何	△	三〇〇圓	
	二何	二何	△	三〇〇	
	經常(臨時)部計		△	三〇〇	
	歳入(出)合計		△	七、〇〇〇	

市歳入出豫算比較増減說明書

昭和前年度大阪府大阪 市歳出豫算比較増減說明書		歳入(出)		經常(臨時)部	
科目及種目	第何款何	第何項何	對前年度豫算増△減額	事	由
	一何	一何	△	五、〇〇〇	何々ニ由ル(増減理由ヲ簡潔明瞭ニ記入スヘシ)
	二何	二何	△	二〇〇	.....
	經常(臨時)部計		△	五、〇〇〇	
	歳入(出)合計		△	七、〇〇〇	

備考

- 一 前年度ニ在リテ本年度ニ在ラサル款、項又ハ種目アルトキハ第一號樣式ニ準シ之ヲ掲記スヘシ
- 二 普通經濟ノ本說明ハ歳入出共各款毎ニ調製スヘシ

第四號樣式

昭和前年度大阪府大阪 市歳出豫算比較増減說明書		歳入(出)		經常(臨時)部	
科目及種目	第何款何	第何項何	對前年度豫算増△減額	事	由
	一何	一何	△	五、〇〇〇	何々ニ由ル(増減理由ヲ簡潔明瞭ニ記入スヘシ)
	二何	二何	△	二〇〇	.....
	經常(臨時)部計		△	五、〇〇〇	
	歳入(出)合計		△	七、〇〇〇	

市歳出豫算比較増減說明書







種別員	數	單位	金額	計	金額
(一)何	*				
(イ)何	*				
何	*				
何	*				
(ロ)何	*				
何	*				
何	*				
(二)何	*				
(イ)何	*				
合計					

備考

一 種目ノ計金額ニ壹錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨テ計上スヘシ  
 二 種目及種別ヲ尙細目ニ區分スルノ必要アルモノニ限リ(一)(二)及(イ)(ロ)ノ如ク記載スヘシ

第六號様式

職名氏	名給	料	額	年	所	要	額	摘	要
何々費 (款又ハ項) 現在人員現在給調 (何月何日現在)									

主	事	何	某	年	二、四〇〇〇〇	二、四〇〇〇〇
計	何	何	人	年平均		
書	記	何	某	月	10000	1,200,000
計	何	何	人	月平均		
事務員	何	何	某	日	2000	730,000
計	何	何	人	日平均		
何	*	*				

備考

一 本調書ハ豫算調書調製ノ現在ニ於テ調製スヘシ

第九類 財務 第四章 會計



- 二 職名ノ異ル毎ニ合計ヲ爲シ平均給料額ヲ記載スヘシ
- 三 常備雜役ニ限リ人名別ノ記載ヲ要セス合計ノミ掲記スヘシ

歳入(出)合計	昭和何年度大阪府(大阪府) 市歳入出追加豫算調書			昭和何年度大阪府(大阪府) 市歳入出追加豫算調書		
	經常(臨時)部	豫算	追加	豫算	追加	既算
科	款	項目	種目	種目	種目	種目
八何	何	何	何	何	何	何
五何	何	何	何	何	何	何
經常(臨時)部	合計	合計	合計	合計	合計	合計
歳入(出)合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計

説明

此ノ追加ヲ要スル所以ハ何々ニ由ル

歳入(出)合計	昭和何年度大阪府(大阪府) 市歳入出追加豫算調書			昭和何年度大阪府(大阪府) 市歳入出追加豫算調書		
	經常(臨時)部	豫算	追加	豫算	追加	既算
科	款	項目	種目	種目	種目	種目
六何	何	何	何	何	何	何
四何	何	何	何	何	何	何
經常(臨時)部	合計	合計	合計	合計	合計	合計
歳入(出)合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計























十三ノ二 市長ノ指定シタ統制物資購入費  
 十四 部、課、廳又ハ商科大學(商科大學高等商業部ヲ含ム)ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額三百圓以内ノ經費  
 第八條 左ノ經費ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得  
 一 官公署ニ對スル委託工事費  
 二 前號ノ外概算拂ニ非サレハ處理シ難キ經費  
 第九條 左ノ經費ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得  
 一 外國留學費  
 二 海外視察費  
 三 渡切旅費  
 四 事業用地ノ取得ニ伴フ地上物件移轉料補償金  
 五 官公署ニ對シテ支拂フヘキ經費  
 六 前各號ノ外前金拂ニ非サレハ處理シ難キ經費  
 第十條 事務管理上緊急已ムヲ得サル小額ノ經費ハ市職員ニ於テ一時立替拂ヲ爲スコトヲ得  
 第十一條 豫備費ノ支出ハ左ノ區分ニ依ル  
 一 豫算超過ノ費用ニ充ツルモノハ當該豫算科目ニ補充スルコト  
 二 豫算外ノ費用ニ充ツルモノハ市長ノ定メタル整理科目ニ充當スルコト

第十二條 國稅、府稅其ノ他歲入歳出外現金及有價證券ノ取扱ニ關シテハ別段ノ規定アルモノノ外第四條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス  
 第十三條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム  
 附則  
 本規程ハ昭和十一年度分ヨリ之ヲ施行ス  
 左ノ規定ハ昭和十年度分限リ之ヲ廢止ス  
 大正十一年大阪府告示第四十八號大阪府會計規程第一條乃至第七條及第

會計規程施行細則

十七條 明治四十二年大阪府告示第三十號郵便振替貯金ニ依ル收納規程  
 大正十三年六月二十三日市會議決大阪府會計現金預入ニ關スル件  
 昭和六年大阪府告示第二百二十二號大阪府納付金小切手使用規程  
 制 定 昭一、三、二 告示一三〇  
 最近改正 昭一八、九 告示 三一〇  
 大阪市會計規程施行細則左ノ通相定ム  
 第一章 通則

第一條 大阪市會計規程(以下會計規程ト稱ス)第三條ノ規定ニ依ル一時繰替金ハ其ノ現金所屬年度ノ出納閉鎖期日迄ニ繰戻ヲ完了スヘシ  
 會計規程第三條第一項ノ規定ニ依リ利子ヲ計算スヘキ一時繰替金ハ繰替ノ際之ヲ指定ス  
 一時繰替金ノ利子ハ市長ノ定ムル利率ニ依リ繰替ヲ爲シタル日ヨリ繰戻ヲ爲シタル日迄之ヲ計算ス  
 第二條 郵便振替貯金ニ依ル受拂ノ通知ヲ受ケタルトキハ相當帳簿ニ其ノ收支ヲ登記スヘシ  
 前項ノ規定ニ依ル通知票記載ノ現在高ハ通知ヲ受ケタル日ノ現金ト看做ス  
 第三條 振替命令書(第七號様式)ニ依リ收支ヲ整理スル事項左ノ如シ  
 一 所屬會計及所屬年度ノ整理  
 二 豫算科目ノ誤謬ノ訂正  
 三 市會ノ議決ヲ經タル豫算科目ノ各項ノ金額流用  
 四 豫算費ノ支出及其ノ不用額ノ戻入  
 〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

五 甲乙會計間又ハ同一會計間ニ於ケル收支ノ整理  
 六 第十四條第一項第二號、第三號及第十五條第一號、第二號ノ規定ニ依ル翌年度歳出相當科目ヘノ振替  
 七 基本財産及蓄積金ノ歳入編入  
 八 歳出ヨリ基本財産又ハ蓄積金ニ蓄積若ハ繰展  
 九 一時取扱金ヨリ歳入相當科目ヘノ振替  
 十 歳計剩餘金ノ翌年度歳入又ハ基本財産ヘノ編入  
 十一 一時繰替金ノ繰替及其ノ繰展  
 十二 前各號ノ外特ニ市長ノ指定スルモノ  
 第十四條 更正命令書(第八號様式)ニ依リ收支ノ更正ヲ爲スヘキ事項左ノ如シ  
 一 資金前渡及概算拂ノ精算  
 二 支出命令執行前ニ於ケル債主ノ異動其ノ他ノ訂正並執行取消  
 三 前各號ノ外特ニ市長ノ指定スルモノ  
 第十五條 區長ハ本市歳出豫算執行及歳入還付ニ要スル資金ヲ市歳入金ヨリ一時繰替ヲ爲スヘシ  
 市歳入金前項ノ規定ニ依ル一時繰替ヲ爲スニ足ラサルトキハ區長ハ經費資金ノ一時繰替ヲ市歳入役ニ請求スヘシ  
 區長ハ第一項ノ規定ニ依ル繰替拂ニ對シテハ三月毎ニ振替書(第十號及第十一號様式)ヲ翌期ノ五日迄ニ、出納閉鎖期迄ノモノニ付テハ其ノ期日迄ニ市歳入役ニ提出スヘシ  
 第二章 收入  
 第六條 收入命令書ハ徵稅令書、納額告知書(第一號様式)、納付書(第二號及第三號様式)、拂込書(第四號様式)及左ノ書類ヲ以テ之ニ充ツ  
 一 市有給吏員ノ納付金ニ付テハ其ノ金額ヲ記載シタル給料支出命令書  
 二 振替又ハ更正ノ爲受入ルルモノニ付テハ其ノ振替命令書又ハ更正命令書  
 第九類 財務 第四章 會計

第七條 納額告知書ハ局、部、課、廳、區、商科大學長及商科大學高等商業部長(以下主管部課長ト稱ス)之ヲ調製シ納入ニ交付スヘシ  
 納付書ハ主管部課長ニ於テ調製シ認印ノ上之ヲ納入ニ交付スヘシ  
 拂込書ノ發行ハ納付書ニ準ス  
 第八條 左ノ各號ノ收入ハ主管部課長之ヲ收受スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ拂込書ニ依リ即日若ハ翌日收入役(副收入役、區收入役ヲ含ム以下同シ)ニ拂込ムヘシ但シ第四號中郊外學園ノ收入、第六號中病院及熱帶病研究所ニ於ケル瓦斯料金、産院及乳兒院ニ於ケル瓶代、豫防相談所ノ收入、尿尿汲取手數料、第八號及第十三號ノ收入ハ數日若ハ一月分ヲ取纏メ拂込ムコトヲ得  
 一 電氣軌道乘車料、乘合自動車乘車料、電車及自動車內並乘車切符  
 廣告料、電燈電熱電氣扇及電力ニ關スル收入、電氣科學館收入、運輸現業員公舍寄宿舍及電氣局病院收入  
 二 港灣設備使用條例ニ依ル使用料及保稅地域使用料  
 三 公園特殊施設收入  
 四 學校授業料及生徒製作品賣却代、幼稚園保育料、運動場、音樂隊、聖德館、美術館及郊外學園ノ收入  
 五 寄宿寮、寮舍、宿泊料、浴場、託兒所、住宅、共同住宅、質舖、機械技術訓練所、興亞拓植訓練道場及授産事業收入並生業資本融通資金運用收入  
 六 病院、熱帶病研究所、産院、乳兒院、健康相談所、豫防相談所、保健所、生活科學研究所、齋場及靈園收入、汚物委託搬出及處分並胞衣汚物取扱ニ關スル收入、尿尿汲取手數料、消毒手數料及傳染病消毒費用追徵金  
 七 中央卸賣市場收入、公設市場使用料、櫻宮市場使用料、工業研究所收入、機械工業指導所收入、公會堂收入、觀光艇收入、大阪市産業振興資金運用收入、屠場及家畜市場收入  
 八 電話使用ニ關スル收入



- 九 收入證紙發賣ニ依ル收入
- 十 上下水道使用料、下水道敷使用料、溝渠敷使用料其ノ他上下水道事業ニ伴フ收入
- 十一 所屬健康保險被保險者ノ納付スル保險料
- 十二 職員貸付資金貸付ニ關スル收入
- 十三 本市發行印刷物發賣ニ依ル收入
- 第九條 收入役ニ於テ現金ノ收入ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク市長又ハ區長ニ通知スヘシ
- 第十條 區長ハ其ノ收入金中國稅其ノ他市ニ送付ヲ要セサルモノヲ除ク外區收入役ヲシテ指定ノ期日ニ送付書(第九號様式)ヲ添ヘ之ヲ市收入役ニ送付セシムヘシ
- 前項ノ送納ハ經濟別概算送納トシ由納閉鎖期日ニ第五條第三項ノ規定ニ依リ振替書ニ依リ正當收入科目ヘ精算スヘシ
- 第十一條 區收入役ハ毎月分ノ收入報告書(第十二號様式)ヲ翌月五日迄ニ又由納閉鎖期迄ノモノニ付テハ其ノ期日迄ニ市收入役ニ提出スヘシ
- 第十二條 市現金取扱人ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ預金利子ヲ納入スヘシ
  - 一 定期預金 満期當日納入スルモノトス
  - 二 通知預金及公金殘高 一月、四月、七月、十月ノ各十五日迄ニ其ノ前三分ヲ納入スルモノトス但シ通知預金殘高零ト爲リタルトキハ其ノ日迄ノ分ヲ當日納入スヘシ
- 市現金取扱人ハ前項第二號本文ノ場合ニ於テハ利子納付月ノ三日迄ニ又同號但書ノ場合ニ於テハ納入ノ當日ニ其ノ計算書 第十三號及第十四號様式)ヲ市收入役ニ提出スヘシ
- 區收入役前項ノ規定ニ依リ公金殘高利子計算書ヲ提出ヲ受ケタルトキハ認印ノ上同月五日迄ニ市收入役ニ送付スヘシ

第三章 支出

第十三條 支出命令書(第五號及第六號様式)ノ當該豫算ノ種目毎ニ之ヲ

〔大例一三號〕

- 發行スヘシ但シ同一債主ニシテ豫算科目ノ同一項内ニ屬スルモノニ付テハ數種目ヲ列記シ之ヲ發行スルコトヲ得
- 振替命令書又ハ更正命令書ヲ以テ支出命令ニ充ツルモノニ付テハ前項ノ例ニ依ル
- 過誤納ニ係ル税金還付ノ支出命令書ニ付テハ本稅及之ニ基ク附加稅並特別稅等ノ稅目ヲ列記シテ發行スルコトヲ得
- 第十三條ノ二 會計規程第七條第十三號ノ二ニ依リ資金前渡ヲ爲シ得ル經費左ノ如シ
  - 一 市民局ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額一千六百圓以内ノ給食材料及間食材料購入費
  - 二 興亞植植訓練道場ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額三千圓以内ノ給食材料購入費並一廉一千圓以内ノ農事訓練用種苗、家畜、肥料、器具、工作材料及油類購入費
  - 三 機械技術訓練所ニ於テ直接支拂ヲ要スル一廉一千圓以内ノ訓練用材料購入費
  - 四 授産場ニ於テ直接支拂ヲ要スル一廉五百圓以内ノ事業用器具及油類購入費
  - 五 保健局ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額千圓以内ノ藥品購入費
  - 六 少年保養所ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額三千圓以内ノ給食材料及總金額五百圓以内ノ藥品購入費及總金額三百圓以内ノ衛生材料購入費
  - 七 削除
  - 八 南市民病院ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額八百圓以内ノ藥品購入費及總金額六百圓以内ノ衛生材料購入費
  - 九 北市民病院ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額四千圓以内ノ給食材料及總金額五百圓以内ノ藥品購入費及總金額三百圓以内ノ衛生材料購入費

〔大例一三號〕

- 九ノ二 上町市民病院ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額二千圓以内ノ賄材料購入費、總金額四百圓以内ノ藥品購入費及總金額二百圓以内ノ衛生材料購入費
- 十 桃山病院ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額二千圓以内ノ藥品購入費、總金額千圓以内ノ衛生材料購入費及總金額五百圓以内ノ研究用動物飼料購入費
- 十一 動物園ニ於テ直接支拂ヲ要スル一月ノ總金額六千圓以内ノ動物飼料購入費
- 第十四條 資金前渡ヲ受ケタル者ハ左ノ區分ニ依リ精算ヲ爲スヘシ
  - 一 會計規程第七條第六號、第八號乃至第八號ノ三、第十號及第十二號乃至第十四號ノ規定ニ該當スルモノハ毎月分ノ精算書ヲ翌月五日迄ニ提出スヘシ但シ資金前渡ヲ受ケタル者月ノ中途ニ於テ更迭シタルトキハ其ノ際之ヲ爲スヘシ
  - 二 市公債元利支拂ノ基金ニ屬スルモノハ契約其ノ他特ニ定ムル方法ニ依ル此ノ場合ニ於テハ其ノ年度ノ出納閉鎖期日迄ノ精算殘額又ハ精算未了額ヲ翌年度ノ相當歳出ニ振替ヲ爲スコトヲ得
  - 三 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲ニ必要ナル經費等ニシテ其ノ年度ノ出納閉鎖期日迄ニ精算ヲ了シ難キモノハ其ノ期日迄ニ之ヲ翌年度ノ相當歳出ニ振替ヲ爲スヘシ
  - 四 前各號ノ規定ニ該當セサルモノハ其ノ用務終了後五日以内ニ精算書ヲ提出シ之ト同時ニ精算殘高ヲ返納スヘシ
- 會計規程第七條第十一號及第十二號ノ規定ニ依リ資金前渡ヲ受ケタル者ハ年度經過後一月間其ノ支出ヲ爲スコトヲ得
- 第一項第一號ノ規定ニ該當スルモノノ毎月分精算殘金ハ順次翌月ニ繰越シ使用シ最終ノ月分ニ屬スル精算殘金ハ直ニ之ヲ返納スヘシ
- 住宅及寮舍使用保證金ノ還付ニ關スル精算ニ付テハ三月分ニ限リ二十

- 五日ヲ以テ締切り二十八日迄ニ精算書ヲ提出スヘシ
- 第十五條 概算書ヲ受ケタル者ハ左ノ區分ニ依リ精算ヲ爲スヘシ
  - 一 市公債元利支拂ノ手數料ニ係ルモノハ前條第一項第二號ノ例ニ依ル
  - 二 訴訟費等ニシテ其ノ年度ノ出納閉鎖期日迄ニ精算ヲ爲シ難キモノハ前條第一項第三號ノ例ニ依ル
  - 三 前二號ノ規定ニ該當セサルモノハ前條第一項第四號ノ例ニ依ル
  - 第十六條 立替拂ヲ爲シタル者ハ用務終了後直ニ其ノ旨主管部課長ニ報告シ遲滞ナク之カ支拂請求ノ手續ヲ爲スヘシ
  - 第十七條 第十四條及第十五條ノ規定ニ依リ精算書及前條ノ規定ニ依リ立替拂ノ請求書ニハ證據書類ヲ添付スヘシ但シ汽車、汽船等公定ノ標準アル場合又ハ之ヲ徵シ難キモノニシテ市長ノ承認ヲ經タルモノハ此ノ限ニ在ラス
  - 第十八條 翌年度五月三十一日迄ニ支拂ヲ了セサル支出命令ハ之ヲ無効トス此ノ場合ニ於テハ支出命令書欄内ニ執行不能ノ捺印ヲ爲シ直ニ收入役ヨリ主管部課長ニ返戻スヘシ
  - 第十九條 會計規程第五條ノ規定ニ依リ使用スルコトヲ得ヘキ小切手ハ大阪手形交換所組合銀行又ハ之ニ代理交換ノ委託ヲ爲シタル銀行ヲ支拂人トシ大阪市ヲ支拂地ト定メタル無記名式又ハ記名所持人拂ノモノニ限ル
  - 第二十條 前條ノ規定ニ依ル小切手ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ使用スルコトヲ得ス



- 一 小切手金額ノ納付金額ニ超過セルモノ
- 二 小切手金額ノ納付金額ニ達セザルモノ
- 三 振出ノ日ヨリ起算シ五日ヲ經過セルモノ
- 四 納付者ノ振出ニ非サルモノ

第二十二條 郵便振替貯金ノ拂込ニ依リ納付ニ付テハ小切手ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十三條 納付ノ爲使用シタル小切手ニシテ其ノ小切手金額ノ全部又ハ一部ニ付支拂ナカリシトキハ其ノ小切手ハ之ヲ納付人ニ還付ス此ノ場合ニ於テハ先ニ交付シタル領收證書ハ其ノ效力ヲ生セス

第二十四條 財産賣却代及物品賣却代ノ納付ニ付小切手ヲ使用セントスル者アルトキハ小切手支拂人ノ支拂保證ヲ求ムヘシ但シ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 支拂人小切手金額ノ支拂ヲ爲サリシトキハ市現金取扱人ハ小切手法第三十九條ノ規定ニ依リ支拂拒絕ノ證明ヲ爲サシメタル後其ノ支拂ナカリシ金額ヲ現金出納簿記載ノ收入金額ヨリ控除シ當該小切手ヲ遲滞ナク收入役ニ提出スヘシ

第二十六條 收入役前項ノ規定ニ依リ小切手ノ提出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク納付者ニ對シ小切手ノ支拂ナカリシ旨及其ノ小切手ノ還付ヲ請求スヘキ旨ヲ通知シ(第十六號様式)且其ノ旨ヲ主官部課長ニ報告スヘシ

第二十七條 市現金取扱人トノ契約期間ハ本市會計年度ニ依リ

第二十八條 市現金取扱人ハ其ノ取扱ニ係ル現金及有價證券ノ受拂ニ付市役所、電氣局、區役所毎ニ本市ノ定メタル現金出納簿ニ日々收支殘高ヲ掲記シ調印ノ上之ヲ本市トノ間ニ交換スヘシ

第二十九條 區收入役ハ前項ノ規定ニ依リ現金出納簿ノ殘高(第十五號様式)ヲ毎日區長、市收入役及理財局長ニ報告スヘシ

第三十條 歲計外現金及有價證券ノ收支ノ取扱ニ關シテハ本細則ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 市公金收納取扱店ノ收納取扱ニ付テハ市現金取扱人ニ關スル規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依リ通知書ハ使丁又ハ配達證明郵便ヲ以テ送達スヘシ

收入役第一項ノ規定ニ依リ小切手ヲ還付シタルトキハ領收證書ヲ徵スヘシ還付シ得サルトキハ之ヲ保存スヘシ

收入役ハ不渡小切手整理簿(第十七號様式)ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

第二十六條 主官部課長前條第二項ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ更ニ徵稅令書、納額告知書又ハ納付書ヲ發シ收納ノ手續ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ小切手ノ不渡ニ因リ再發スル旨ヲ記載スヘシ

第五章 雜則

第二十七條 市現金取扱人トノ契約期間ハ本市會計年度ニ依リ

第二十八條 市現金取扱人ハ其ノ取扱ニ係ル現金及有價證券ノ受拂ニ付市役所、電氣局、區役所毎ニ本市ノ定メタル現金出納簿ニ日々收支殘高ヲ掲記シ調印ノ上之ヲ本市トノ間ニ交換スヘシ

第二十九條 區收入役ハ前項ノ規定ニ依リ現金出納簿ノ殘高(第十五號様式)ヲ毎日區長、市收入役及理財局長ニ報告スヘシ

第三十條 歲計外現金及有價證券ノ收支ノ取扱ニ關シテハ本細則ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 市公金收納取扱店ノ收納取扱ニ付テハ市現金取扱人ニ關スル規定ヲ準用ス

第一號様式 (納額告知書)

符原		納額告知書	
振替口座 金時替	一金	昭和 年度	款
加入者	大阪 市役	項	種目
受附 日印	股納	受附 日印	股納
金額	口數	日計	
萬千百十圓十錢			

右昭和 年 月 日限り郵便振替貯金ニ依リ當市役所ニ納付セラルヘシ但シ直接市役所又ハ市公金收納取扱店ニ納付スルコトヲ得

昭 和 年 月 日

大阪市長 氏 名

右本日收入了セリ

昭 和 年 度	款	項	種目
一 金	大阪 市收	入 役	氏 名
但	大阪 市收	入 役	氏 名
受附 日印	受附 日印	受附 日印	受附 日印
金額	口數	日計	
萬千百十圓十錢			

右本日收入了セリ

大阪市收入役 氏 名

領收證書

昭 和 年 度	款	項	種目
一 金	大阪 市收	入 役	氏 名
但	大阪 市收	入 役	氏 名
受附 日印	受附 日印	受附 日印	受附 日印
金額	口數	日計	
萬千百十圓十錢			

右領收此ノ領收證書ハ市現金取扱人、市公金收納取扱店、郵便局又ハ貯金局ノ受附日印ノ捺捺ハ交換計算了シタル後ニ非レハ本領收證書ノ效力ヲ生セス

大阪市收入役 氏 名







第四號様式 (拂込書)

振替口座 金貯替振	昭和 年 月 日 収入金	納
加入者 市阪太 役収入		
受日 入附		
口 數	金 額	
日 計	萬 千 百 十 圓 十 銭	

加入者 大阪市収入役	昭和 年 月 日 収入金	納
但 一 金		
右拂込候也		
第 昭 和 年 度 號	款 項	種 目
受日 入附	日 入 附	振替貯金口座番號

昭 和 年 度	款 項	種 目
但 一 金		
昭 和 年 月 日 収入金		
右領收		
一 此ノ領收證書ハ市現金取扱人、市公金收納 取扱店、郵便局又ハ貯金局ノ受入日附印ノ押 捺ニ依リ其ノ效力ヲ生ス但シ小切手使用ノ場 合ハ交換計算ヲ了シタル後ニ非レハ本領收證 書ノ效力ヲ生セス		
大阪市収入役 氏 名		
受日 入附	日 入 附	振替貯金口座番號

第五號様式 (藍色刷) 支田命令書 (請求書)

支田命令書	昭和 年 月 日 發行	納
昭和 年 度 第 幾 出 第 幾 號		
款 項	種 目	種 目
本署ノ金額支出ス可シ		
大阪市長 氏 名		
収入役	司 計 係 長	審 査 係
右請求候也		
昭和 年 月 日		
大阪市長氏名殿		

支拂案内希望ノ方ハ支拂案内業書ヲ作り本書ト共ニ差出サレタシ  
 代取金ハ本書ニ押捺セル請求入ノ印章ト同一印章ヲ押捺セル受取證書ヲ持參スル者ニ支拂フ  
 受取金ハ本書ニ押捺セル請求入ノ印章ト同一印章ヲ押捺セル受取證書ヲ持參スル者ニ支拂フ  
 代取金ハ本書ニ押捺セル請求入ノ印章ト同一印章ヲ押捺セル受取證書ヲ持參スル者ニ支拂フ  
 請求書並受取證書ノ用紙ハ各人ニ於テ調製セラル、モ差支ナシ但シ當所々定ノ様式ニヨルコト

- 備考
- 一 本書ハ同一債主ニ對シ當該豫算ノ項毎ニ調製ス
  - 二 支田金額ハ種目毎ニ記載シ最上欄ニ合計金額ヲ記載ス此ノ場合合計金額ノ種目欄ハ空白ノ儘トス一種目ノトキハ最上欄ノミニ記載スヘシ
  - 三 資金前渡又ハ概算拂ニ係ルモノアルトキハ「支田命令書」トアル左方ヘ「資金前渡」又ハ「概算拂」ト又臨時部ニ屬スルモノハ年度經濟名欄ノ左方ヘ「臨時部」ト太横文字(約二號活字大)ノ長サ三五ミリメートル幅八ミリメートルノ赤色印章ヲ押捺ス
  - 四 支拂定日アルモノハ發行年月日ノ右方ヘ徑二四ミリメートルノ圓形内ニアラビヤ數字ヲ以テ其ノ期日ヲ表示シタル印章ヲ押捺ス但シ出帳拂其ノ他ヲ區分シタル印章ヲ押捺更スルモ差支ナシ
  - 五 命令書番號(支第 號)ハ上ニ各局部課ノ頭字ヲ冠シ局部課毎ニ之ヲ附ス
  - 六 本書ハ全紙ノ大サヲ縦二五八ミリメートル横一九七ミリメートルトシ右方ニ綴代トシテ輪廓ヨリ三〇ミリメートルノ餘白ヲ存ス
  - 七 本書ノ各欄ハ必要ニ應シ用紙規格規程ノ定ムル所ニ依リ變更シテ調製スルコトヲ得
  - 八 區役所及電氣局主管ニ屬スルモノニ付テハ本書ヲ準用ス











振替書				(貸)
何年度何々				庶務課長
款	金	額		庶務係長
本書ノ通替振支出スヘシ		圓		
市収入役氏名				係員
司計係長	審査	資金照査	豫算照査	
記簿番號	科	目	金	額
	何々(款)			圓
	何々(項)			
	何々(項)			
	又ハ	何々概算送納金		
上記何々ハ下記何々ヨリ何々タルニヨリ何々相成度候也				
年月日				
大阪市何區長 氏 名				
大阪市収入役 氏 名殿				
經濟	名	金	額	
何年度何々			圓	

第十一様式 (振替書)

備考

三二一 印刷本 其ノ他ハ 第八號様式ニ準ス

振替書				(借)
何年度何々				庶務課長
款	金	額		庶務係長
本書ノ通振替収入スヘシ		圓		
市収入役氏名				係員
司計係長	審査	記簿		
記簿番號	科	目	金	額
	何々(款)			圓
	何々(項)			
	何々(項)			
	又ハ	何々概算送納金		
上記何々ヲ下記何々ニ何々タルニヨリ何々相成度候也				
年月日				
大阪市何區長 氏 名				
大阪市収入役 氏 名殿				
經濟	名	金	額	
何年度何々			圓	



昭和何年度何年月分收入報告書

科 目	收 入			納 入			残 額
	前月迄累計	本 月 分	合 計	前月迄累計	本 月 分	合 計	
何々(經濟名)							
何々(款)							
何々(項)							
何々(經濟名)							
何々(款)							
何々(項)							

上記ノ通ニ付此段及報告候也

昭和 年 月 日

大阪市收入役 氏 名 股 名 股

何區收入役 氏 名 股

第十二號様式(收入報告書)

第十三號様式(市現金利子計算書)

昭和年月分市現金利子計算書		大阪市現金取扱人		備 考
昭和 年 月 日	現金残額 (百圓未満ノ 端數ニハ 子ヲ附セズ)	利子ヲ附ス ヘキ金額	利 子 付 百圓 = (日歩)	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
計				

大阪市 收入役 氏 名 股

昭和 年 月 日 提出

備考 本書ハ全紙ノ大サヲ縦二五八ミリメートル横一九五ミリメートルトス



第十四號様式(預金利息計算書)

預金利息計算書

大阪市収入役 氏 名 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日  
(銀行名及印)  
昭和 年 月 日

昭和 年 月 日	引出高	預り高	差引預り残高	日數	積 數	利 息

備考 第十三號様式備考ハ本書ニ之ヲ準用ス

第十五號様式(現金残高表)

現金残高表  
昭和 年 月 日

摘 要	収入高		支拂高		残 高		
	圓	圓	圓	圓	現金	圓	
市現金取扱人					現金		
直接取扱					小切		
郵便振替貯金=依ル取扱							
残 高 合 計	合 計 高						
	内 譯	市 費 歳 入					
		都市計畫事業費 歳 入					
		市 歳 出 用					
		區 特 別 會 計 歳 入 歳 出 外					
本日支拂中 月 日							
收入小切手不渡 高							

大阪市 區収入役 氏 名

備考 一 本書ハ全紙ノ大サヲ縦一二八ミリメートル横一七八ミリメートル  
二 印刷ハ黒色トス

第十六號様式

小切手不渡通知  
一小切手記號番號手形金額何程也

振出人 氏 名  
振出人 氏 名  
支拂人 氏 名

但シ何年度何々納付ノ爲使用ノ分  
右小切手ハ呈示期間内ニ支拂ヲ請求シタルニ支拂ナカリシニ因リ該  
小切手還付方至急請求相成度及通知候也

市(區)役所(又ハ電氣局)

第十七號様式

整理簿

記號 番號	不 渡		備 考
	月 日	月 日	

第九類 財務 第四章 會計

不 渡 小 切 手

納 入 住 所	氏 名	納 付 ノ 目 的		振 出 日	仕 拂 先
		年 度 期	科 目 金 額		



會計事務取扱規程

會計事務取扱規程左ノ通相定メ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
會計事務取扱規程  
最近改正 昭二二、三、二六  
制 定 昭一、三、二六

- 第一條 會計事務ノ取扱ニ關シテハ別ニ定ムルモノノ外本規程ニ依ル
- 第二條 納付書、拂込書、請求書、仕譯書及精算書ニハ各主管局部、課、解、區、學長(以下主管部課長ト稱ス)ニ於テ認印スヘシ  
主管部課長事故アルトキハ特定ノ者ヲシテ之ヲ代理セシムルコトヲ得  
以下各本條ニ於ケル主管部課長ノ認印又ハ證印ニ付亦同シ  
主管部課長ハ豫メ自己ノ印鑑並代理者ノ職氏名及印鑑ヲ收入役(區ニ在リテハ區收入役以下同シ)ニ通知スヘシ  
改印又ハ代理者ノ變更アリタルトキ亦同シ
- 第三條 收支命令書(振替命令書及更正命令書ヲ含ム以下同シ)ノ金額ハ特ニ之ヲ明瞭ニ記載スヘシ  
收支命令書ノ豫算科目ノ表示ニハ鮮明ナル朱印ヲ用ヒ錯誤ヲ生セシメサル様留意スヘシ
- 第四條 收支命令書ノ金額及費目ハ之ヲ塗抹、改竄又ハ訂正スヘカラス
- 第五條 請求書ノ債主名ハ成ルヘク自書セシムヘシ  
一 請求書ノ記載事項ヲ訂正シタルトキハ債主ヲシテ之ニ認印セシメ  
二 請求書ノ訂正シタルトキハ債主認印ノ外主管部課長ハ欄外ニ其ノ旨ヲ記入シ之ニ證印スヘシ

【大例一三號】

- 三 請求書ノ印鑑ハ之ヲ明瞭ニ押捺セシメ誤捺改捺アリタルトキハ主管部課長ハ欄外ニ其ノ旨ヲ記入シ之ニ證印スヘシ
- 四 ゴム印等押捺毎ニ其ノ印影ヲ異ニスル虞アル印章ハ成ルヘク之ヲ使用セシムヘカラス
- 五 委任狀又ハ印鑑照合ノ證印及戶籍謄本等關係書類ノ添付ヲ省略スル場合ノ證印ハ主管部課長之ヲ爲スヘシ
- 六 仕譯書ノ主要金額及債主名ヲ訂正シタルトキハ欄外ニ其ノ旨ヲ記入シ主管部課長之ニ認印スヘシ但シ内譯金額及内譯債主名ヲ訂正シタルトキハ取扱者ノ認印ヲ以テ足ル
- 七 用途ハ之ヲ詳記スヘシ
- 第五條 電話料、電力料、水道使用料、公課等納入告知書、納額告知書、納稅告知書等ニ依ル支拂金ニ付テハ必ズ仕譯書ヲ添付シ告知書類ニ記入又ハ捺印等ヲ爲スヘカラス
- 第六條 支出命令書發行後ニ於テ債權者ノ代理人又ハ法人代表者ノ變更アリタルトキハ當該命令書ニ其ノ旨ヲ記入シ主管部課長之ニ證印スヘシ
- 第七條 支出費目及支給日ヲ同シスル本市吏員及雇傭員並之ニ準スヘキ者ノ諸給與金ノ支出ハ特別ノ事由アルモノノ外勤務所屬別ノ集合命令書ニ依ルヘシ
- 第八條 給料其ノ他ノ諸給與金ニシテ支拂定日アル支出命令書ハ本廳及區役所拂ニ在リテハ其ノ三日前、出張拂ニ在リテハ其ノ四日前ノ正午迄ニ必ズ會計課(區役所ニ在リテハ會計係以下同シ)ニ送付スヘシ
- 第九條 急ヲ要スル支出命令書ニハ希望ノ概要ヲ記シタル赤色ノ付箋ヲ

上部右端ニ貼付スヘシ

支出命令書ニ證憑書其ノ他ノ關係書類ヲ添付スル場合ハ右下ニテ取揃

第十條 年度經過後ニ於ケル豫算執行ニ關スル各種命令書ハ翌年度五月十日迄ニ會計課ニ回付スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限

第十一條 特別ノ事由アルモノノ外本市吏員及雇傭員並之ニ準スヘキ者ノ給料其ノ他ノ諸給與金受領方ニ關シテハ各局部、課、解、區、學校ニ於テ代理者ヲ選定シ之ニ委任シテ受領ニ關スル一切ノ事務ヲ取扱ハ

第十二條 前條ノ規定ニ依ル受任者現金受領後一月以内ニ交付ヲ了セサルモノアルトキハ直ニ之ヲ定額ニ戻入スヘシ

第十三條 給料其ノ他ノ諸給與金ノ分配上必要トスル金額ハ左記様式ニ依リ支拂前日正午迄ニ(拂込書アルモノハ之ト共ニ)之ヲ收入役ニ請求

第十四條 收入役ハ支拂ノ際受取人ノ提出スル受取證書ノ印鑑ニシテ他

ニ照合スヘキモノナキトキハ市、區、町、村長ノ印鑑證明書ヲ徵スヘシ但シ收入役ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認ムルトキハ主管部課長ニ於テ其ノ相違ナキコトヲ證明シタルトキニ限り印鑑證明書ヲ徵セサルコトヲ得

受取金種別表

種別	摘要	金額
仕譯書金額		圓
(朱書)納付金	被保險者保險料被納付書	
現金受取高		

種別	摘要	金額
百圓札		圓
拾圓札		
五圓札		
五拾錢銀貨		
拾錢白銅貨		
五錢白銅貨		
一錢銅貨		
計		

受任者印

部 課 係

【大例一三號】

第十五條 休職者ノ給料、退職料及遺族扶助料等受領ノ爲必要ナル印鑑  
第十五條ノ二 會計事務取扱上用フヘキアラビア數字ノ記入ハ別表ノ例ニ依ル

第十六條 電氣局主管ニ屬スル會計事務ニ付テハ本規程ヲ準用ス  
明治四十三年訓令會第六號市吏員及諸職員給與金支拂方取扱順序ハ之ヲ廢止ス



備考 仕譯書金額ハ遺族扶助料條例ニ依リ納付金ヲ控除セシ給料額ノ合計ヲ示ス

別表



收支命令印ヲ使用セサル件

支田、更正及振替各命令書ノ市長收支命令印省略ノ件 從來支田命令書、更正命令書及振替命令書ノ發行ニ際シテハ市長名ニ市長收支命令印ヲ捺捺相成居候處來九二月一日以降事務簡捷ヲ計ル爲メ之カ捺印ヲ省略スルコトニ決定相成候條依命此段及通牒候也

資金前渡ニ關スル件

不良住宅地區居住者立退移轉補償費支拂資金ハ金五千圓ヲ限リ社會部長ニ前渡スルコトヲ得ルモノトス

國庫出納金端數計算法ニ關スル事務取扱

國庫出納金端數計算法ニ關スル事務取扱方左ノ通相定ム 國庫出納金端數計算法ニ關スル事務取扱方

- 第一條 法律第一條ノ收入金トハ徵稅令書、納額告知書及納付書、仕拂金トハ請求書及仕譯書ニ於ケル各一通ノ金額ヲ謂フ但シ其ノ一通ニ數人ニ係ル收入金又ハ仕拂金ノ列記スルトキハ之ヲ各人毎ニ一通ト看做ス
第二條 納額告知書、納付書、様式及納入順序第四項ニ依リ主務課長ノ收受スル收入金ハ各納入ニ對スル各種目ノ金額ヲ前條ノ收入金トス年給者ノ給料ハ月割又ハ日割支給額ヲ前條ノ仕拂金トス物品購入費却規則第十二條第一項但書ニ依リ既納物品ノ代價仕拂額ニ付テモ亦同シ
第三條 收支計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツヘシ
第四條 收入金又ハ仕拂金ニシテ數種目ニ區分整理ヲ要スルモノアル場合ニ於テ其ノ種目ノ金額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ハ之ヲ適宜取捨シ各種目ノ金額ヲ錢位ニ止メ總額ニ符合セシムヘシ
第五條 追徵又ハ返納ヲ要スル場合ニ於テハ左ニ掲クルモノヲ追徵又ハ返納額トス
一 追徵ニ付テハ正當收納スヘキ額ヨリ最初收納シタル額ヲ控除シタル殘額

【大例一三號】

【大例一三號】

Table with 2 columns: 大阪特第一番, 大阪市東區收入役, 大阪特第二番, 大阪市西區收入役, 大阪特第三番, 大阪市南區收入役, 大阪特第四番, 大阪市北區收入役, 大阪特第五番, 大阪市副收入役, 大阪特第六番, 大阪市天王寺區收入役, 大阪特第七番, 大阪市浪速區收入役, 大阪特第八番, 大阪市港區收入役, 大阪特第九番, 大阪市此花區收入役, 大阪特第十番, 大阪市福島區收入役, 大阪特第十一番, 大阪市西淀川區收入役, 大阪特第十二番, 大阪市大淀區收入役, 大阪特第十三番, 大阪市東成區收入役, 大阪特第十四番, 大阪市城東區收入役, 大阪特第十五番, 大阪市旭區收入役, 大阪特第十六番, 大阪市阿倍野區收入役, 大阪特第十七番, 大阪市東住吉區收入役, 大阪特第十八番, 大阪市住吉區收入役, 大阪特第十九番, 大阪市東住吉區收入役, 大阪特第二十番, 大阪市西成區收入役, 大阪特第二十一番, 大阪市西區收入役, 大阪特第二十二番, 大阪市都島區收入役, 大阪特第二十三番, 大阪市都島區收入役, 大阪特第二十四番, 大阪市生野區收入役

郵便振替貯金加入口座ニ表示スヘキ名義

- 第一項第一號、第二項第二號ノ正當收納スヘキ額及第一項第二號第二項第一號ノ正當仕拂フヘキ額ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨テ其ノ金額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢ト爲スヘシ
第六條 大正五年大藏省令第二號指定ノ國稅ニ對スル附加稅ノ課稅標準額ハ法律第二條第一項ニ依リ算定スヘシ
第七條 地租附加稅ノ年額ハ法律第三條ニ依リ其ノ分納額ハ法律第一條ニ依リ各之ヲ定ムヘシ
第八條 各經濟相互ニ又ハ同一經濟ノ歳出ヨリ歳入ニ組替ヲ要スルモノアルトキハ此ノ取扱方ニ準スヘシ
第九條 歳入出外ノ受入金又ハ拂出金ハ法律第一條ノ收入金又ハ仕拂金ニ該當セズ

制定 昭四四、一〇、一告示 六一 最近改正 昭一八、四 告示 一〇一



公金外現金取扱規程

制定 昭一六、一、九 最近改正 昭一七、六、一 通一〇八ノ一七

公金外現金取扱規程左ノ通相定メ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

公金外現金取扱規程

第一條 公金外現金ノ取扱ハ別段ノ定アルモノノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本規程ニ於テ公金外現金トハ本市、區ノ會計ニ屬スルモノ並法令ニ依リ其ノ事務ヲ委任セラレタル國、府其ノ他公共團體ノ會計ニ屬スルモノヲ除クノ外本市職員カ取扱フ一切ノ現金(預金、有價證券ヲ含ム)ヲ謂フ

第三條 公金外現金計理ノ爲メ局、部、課、廳、電氣局部、區長(以下部課長ト稱ス)ハ收支整理者及出納取扱者ヲ設クヘシ

第四條 收支整理者ハ出納取扱者ト相兼スルコトヲ得ス

第五條 收支整理者ハ收支整理簿ヲ備ヘ收支ノ狀況ヲ明ニスヘシ

出納取扱者ハ公金外現金ノ種類別ニ之カ保管ノ狀況ヲ明ニスヘシ

第六條 收入領收書用紙ハ控付トシ部課長其ノ用紙綴及用紙一通毎ニ各通番號ヲ附シテ之ヲ調整シ收支整理者ノ請求ニ依リ之ヲ交付スヘシ

第七條 部課長必要ト認ムルトキハ會費徵收掛員又ハ寄附募集者ヲ設クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收支整理者ハ會費徵收掛員又ハ寄附募集者ニ收入領收書ヲ送付スヘシ此ノ場合ニ於テ收入領收書ノ交付ヲ受ケタル者ハ

前項ノ領收書及書損ノ領收書並領收書控ハ收支整理者之ヲ存置スヘシ

第八條 收支整理者ハ前項ノ規定ニ依リノ外徵收臺帳ヲ備ヘ一人別ニ收入ノ狀況ヲ明ニスヘシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第八條 支出ハ出納取扱者收支整理者ヨリ所定ノ手續ヲ經タル支出傳票

第九條 資金前渡又ハ概算拂ヲ受ケタル者ハ用務終了後直ニ精算書ヲ以テ精算スヘシ

第十條 收支關係文書ノ保存期限ハ五年以上トス

第十一條 部課長ハ少クトモ一年一回年度途中ニ於テ收支ノ狀況ヲ検査スヘシ

第十二條 收支整理者ハ毎年度末ニ收支計算書ヲ作成シ出納取扱者ヲ經テ部課長ニ之ヲ提出スヘシ

第十三條 部課長公金外現金ヲ取扱ハントスルトキハ考査部長ニ合議スヘシ其ノ取扱ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨直ニ考査部長ニ通知スヘシ

第十四條 部課長本規程ニ依リ處理シ難キ事項アリト認ムルトキハ考査部長ニ合議ノ上市長ノ承認ヲ受ケ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則 本規程施行ノ際現ニ取扱ニ係ル公金外現金ニ付テハ部課長昭和十六年四月三十日迄ニ監査部長ヲ經テ市長ニ報告スヘシ

前項ノ報告アリタルトキハ第十三條ノ規定ニ依リ許可アリタルモノト看做ス

第一號様式

第九類 財務 第四章 會計

公金外現金	收入傳票	目
款	項	目
出納	審査	係員
取扱者	係員	記録
一金	但	
昭和	年	月
日		
右金額收入シタリ		

第二號様式

收入通知票

一金

但

内

年

月

日

收入候也

出納取扱者

氏

名印

收支整理者

氏

名殿







昭和四年大阪市告示第九十四號收入證紙ヲ以テ納付スヘキ手數料指定ノ件ハ之ヲ廢止ス

收入證紙規程施行細則

制定 大五、一、二六達 一 最近改正 昭一五、九、 告示五四三

大阪市收入證紙規程施行手續左ノ通相定メ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市收入證紙規程施行細則

- 第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル手數料ハ大阪市收入證紙規程第一條第六號ノ規定ニ依ル收入證紙ヲ以テ之ヲ徵收ス
- 一 大阪市立桃山病院條例第七條及熱帶病研究所條例第五條ノ規定ニ依ル診斷書、檢案書及證明書ノ交付又ハ病的材料檢査手數料
- 二 大阪市立性病相談所條例第四條ノ規定ニ依ル診斷書、檢案書、證明書及處方箋交付手數料
- 三 大阪州市稅條例第五十五條第二項ノ規定ニ依ル自轉車試乘鑑札下付手數料及同條例第六十一條第四項ノ規定ニ依ル自轉車副鑑札再下付手數料
- 第一條ノ二 收入證紙ヲ以テ手數料ヲ徵收セントスルトキハ其ノ收入證紙ヲ左ノ書類ニ貼付セシムヘシ
  - 一 請求書アルモノニシテ別ニ謄本、抄本又ハ證明書類ヲ調製シ交付スルモノハ其ノ請求書
  - 二 請求書ノ副本アルモノニシテ其ノ正本ニ證明文ヲ記シテ交付スルモノハ其ノ副本

モノハ其ノ副本

- 三 入學手數料ニ在リテハ入學願書
- 四 前三號ニ該當セサルモノニシテ特ニ調書ヲ作ルモノハ其ノ調書、調書ヲ作ラサルモノハ第一號樣式ノ整理簿
- 第二條 收入證紙ヲ貼付シタル書類ハ左ノ吏員又ハ學校職員之ヲ檢閱シ書類ノ紙面ト貼付シタル證紙ノ彩紋トニ懸ケ黒肉ヲ用ヒテ消印ヲ押捺スヘシ
  - 一 市役所及電氣局ニ於テハ主管係長
  - 二 病院ニ於テハ事務長又ハ之ニ準スヘキ者
  - 三 産院、乳兒院、豫防相談所、健康相談所及熱帶病研究所ニ於テハ其ノ長
  - 四 區役所ニ於テハ主管係長
  - 五 削除
  - 六 學校ニ於テハ學校長
- 第三條 收入證紙ハ左ノ吏員又ハ學校職員ニ於テ之ヲ發賣スヘシ
  - 一 市役所ニ於テハ會計課長其ノ他市長ニ於テ指名シタル吏員
  - 一ノ二 電氣局ニ於テハ電氣局會計課長
  - 二 病院、産院、乳兒院、豫防相談所、健康相談所、熱帶病研究所ニ於テハ市長ノ指名シタル吏員
  - 三 區役所ニ於テハ會計係長
  - 四 學校ニ於テハ首席書記又ハ首席教諭
- 第四條 前條ノ吏員又ハ學校職員ハ第二號樣式ノ收入證紙及發賣代金出納簿ヲ備ヘ其ノ出納ヲ整理スヘシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

- 第五條 第三條ノ吏員又ハ學校職員ハ每一月ノ需用見込額ヲ限度トシ隨時理財局長ニ收入證紙ノ交付ヲ請求スヘシ
- 第六條 第三條ノ吏員又ハ學校職員ニ於テ保管中護謨糊固著、損傷汚染等ノ爲發賣シ難キ等ノ爲發賣シ難キニ至リタル收入證紙ハ其ノ事由ヲ具シ之ヲ理財局長ニ返納スヘシ
- 第七條 收入證紙ハ理財局長ニ於テ其ノ出納保管ノ責ニ任スヘシ但シ第五條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル收入證紙ハ第三條ノ吏員又ハ學校職員ニ於テ其ノ保管ノ責ニ任スヘシ
- 第八條 收入證紙ノ原紙ハ理財局長ニ於テ之ヲ保管スヘシ
- 第九條 理財局長ハ第三號樣式ノ收入證紙出納簿ヲ備ヘ其ノ出納ヲ整理スヘシ
- 第十條 理財局長ニ於テ保管中護謨糊固著、損傷汚染等ノ爲發賣シ難キニ至リタル收入證紙及第六條ニ依リ返納ヲ受ケタル收入證紙ハ毎年一回若ハ數回之ヲ燒却スヘシ
- 第十一條 理財局長及第三條ノ吏員又ハ學校職員交替シタルトキハ其ノ保管ニ係ル收入證紙ノ引繼ヲ了シ其ノ年月日ヲ出納簿ニ記載シ雙方署名捺印スヘシ
  - 前任者死亡其ノ他ノ事故ノ爲引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ市役所、電氣局、病院、産院、乳兒院、豫防相談所、健康相談所、熱帶病研究所及學校ニ於テハ市長、區役所ニ於テハ區長引繼ヲ爲スヘキ吏員又ハ學校職員ヲ命ジ之カ引繼ヲ爲サシムヘシ
- 第十二條 考査部長ハ毎年度一回以上係員ヲシテ理財局長及第三條ノ吏員又ハ學校職員ノ帳簿及現品ヲ檢査セシムヘシ理財局長及第三條ノ吏員

昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		年月日	證紙貼付欄	料金請求要項	取扱者印	請求者住所氏名
係長	員	係長	員	係長	員					



備考

- 一 整理簿ハ各年度毎ニ戶籍法ニ依ル口頭請求整理簿寄留法ニ依ル口頭請求整理簿手数料條例ニ依ル口頭請求整理簿ノ三種ニ分級スヘシ但シ事務分掌ノ都合ニヨリ各整理簿數冊備フルモ妨ナシ
- 二 請求事項欄ニハ後日證左トナルヘキ事項ヲ簡單ニ記入シ件數、回數、枚數等料金計算ノ基礎タル數ヲ附記スヘシ
- 三 證紙ハ可成枚數少キモノヲ用ヒシメ貼付欄下部ヨリ貼付シ五枚以上ニ互ルモノアルトキハ數行ヲ用フヘシ
- 四 消印ハ證紙ノ上端ニ於テ裏紙ニ懸ル様ニ押捺シ二枚以上アルモノハ接續線上兩證紙ニ懸ケ最上ノ證紙ノミ裏紙ニ懸ケテ押捺スヘシ
- 五 本簿ハ消印ニ便ナラシムル爲美濃半截用紙ヲ用ヒ調製スヘシ

第二號様式

圓 殘 枚	發代 收入 額	賣金 額	拂込 支 出 額	現 金 保 管 額	
					受 枚

貳 拾 錢			參 拾 錢			五 拾 錢			壹 圓			參 圓			五 圓		
受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚

〔大例一三號〕

年 月 日 昭和 年 月 日	摘 要	五 錢			拾 錢			拾 五 錢		
		受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚

備考  
一 本簿ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ一會計年度トシ

參 圓			五 圓			備 考
受 枚	拂 枚	殘 枚	受 枚	拂 枚	殘 枚	

第三號様式

- 一 其ノ出納ヲ整理シ連年引續使用スヘシ
- 二 毎日ノ發賣ニ依ル拂高ハ日計ヲ記入シ殘高ニハ主務課長又ハ學校長之ニ認印スヘシ
- 三 第六條ニ依リ理財局長ニ返納シタル數ハ拂ノ欄ニ記載シ仍其ノ事由ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 四 殘數ノ欄ニハ受拂アリシ日ノ現在殘高ヲ記載スヘシ
- 五 本簿ニハ毎月月計及累計ヲ附スヘシ
- 六 毎年度末ノ殘數ハ翌年度ニ繰越シ之ヲ其ノ翌年度初日ノ受ノ欄ニ編入シ其ノ摘要欄ニ「前年度ヨリ繰越」ト記載スヘシ

〔大例一三號〕



圓			壹			拾			錢			錢			錢		
受	拂	殘	受	拂	殘	受	拂	殘	受	拂	殘	受	拂	殘	受	拂	殘
枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚

年	月	日	摘要	拾			錢		
				受	拂	殘	受	拂	殘
昭和	月	日		枚	枚	枚	枚	枚	枚

備考

- 一 本簿ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ一會計年度トシ其ノ出納ヲ整理シ連年引續使用スヘシ
- 二 受ノ欄ニハ新規調製及第六條ニ依リ返納ヲ受ケタルモノヲ記載シ仍其ノ事由ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 三 拂ノ欄ニハ發賣吏員又ハ職員ヘノ交付及第十一條ニ依リ燒却ヲ爲シタルモノヲ記載シ仍其ノ事由ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 四 殘ノ欄ニハ受拂アリシ日ノ現在殘高ヲ記載スヘシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第三節 資金會計

用地資金規程

制 定 昭二三、五、五通告三二四  
最近改正 昭一五、四、告示一八三

本市會ノ議決ヲ經用地資金規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス、

用地資金規程

- 第一條 金七百萬圓ヲ以テ本資金ヲ設置スルモノトス
- 第二條 市長ハ小學校及豫算其ノ他ノ議決ニ依リ決定シタル事業ノ用ニ供スル爲本資金ヲ以テ必要ト認ムル土地ノ買收整理ヲ爲スコトヲ得之ト一團ヲ爲シ又ハ之ト近接スル土地ニシテ市長ニ於テ同時ニ買收スルヲ適當又ハ有利ト認ムルモノニ付亦同シ
- 第三條 本資金ノ管理運用ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

用地資金規程施行細則

制 定 昭一三、五、五通告三二四  
最近改正 昭一五、四、通告一五九

- 用地資金規程施行細則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス、
- 第一條 本資金ハ理財局長之ヲ管理ス但シ現金ハ收入役之ヲ保管ス
- 第二條 本資金ノ支拂額ハ當該事業ノ屬スル豫算ヨリ支出シ得ルニ至リタルトキハ遲滯ナク本資金ニ戻入スヘシ

收入證紙ノ形式

制 定 大二三、二告示二二

大正五年三月大阪市告示第二十五號大阪市收入證紙ノ形式左ノ通改正ス

- 一 收入證紙ハ五錢、拾錢、拾五錢、貳拾錢、參拾錢、五拾錢、壹圓、參圓、五圓ノ九種トス
- 二 收入證紙ノ形式左ノ如シ  
縱七分五厘

相當金額ヲ記入ス

- |        |   |        |
|--------|---|--------|
| 五錢淡綠色、 | 拾 | 錢淡紫色、  |
| 拾五錢空色、 | 貳 | 拾錢赤茶色、 |
| 參拾錢樺色、 | 五 | 拾錢紺色、  |
| 壹圓赤色、  | 參 | 圓青鼠色、  |
| 五圓淡紅色、 |   |        |



分二寸一横

附則

従前發行ノ收入證紙ハ當分ノ内有效トス



















































一 購入後直ニ贈與又ハ給與スル物品  
二 儀式、祭典等ノ爲一時使用ノ物品  
三 田張先ニ於テ購入シ直ニ消費スル物品

第十四條 生産品、撤去品其ノ他之ニ準スルモノニシテ保管ノ要アル物品ハ見積價格ヲ附シ物品納付書ニ依リ物品出納更ニ之ヲ納付スヘシ

第十五條 物品ノ保管換ヲ爲サントスルトキハ關係物品出納更ハ部課長ノ承認ヲ受ケ接受ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 物品ノ交付ヲ受ケントスルトキハ物品取扱主任ヲ置キタル場所ニ在リテハ物品取扱主任ヨリ、其ノ他ノ場所ニ在リテハ係員ヨリ物品請求書ヲ關係物品出納更ニ差出スヘシ

物品取扱主任又ハ係員ハ日常使用ノ物品ニ付テハ一月以内ノ所要數量、工事又ハ作業ノ爲使用ノ物品ニ付テハ必要ノ數量ヲ見積リ請求スルコトヲ得但シ日常使用ノ物品ニシテ特別ノ事由アルモノニ付テハ一月以上ノ數量ノ見積リ請求スルコトヲ得

物品出納更前二項ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査ノ上物品ヲ交付スヘシ

第十七條 物品出納更ハ前條第二項ノ請求ニ依リ交付シタル物品中郵便切手、郵便葉書、收入印紙、乗車船券其ノ他之ニ準スルモノ及部課長ニ於テ精算ノ必要アリト認ムル物品ニ付定期又ハ隨時ニ精算書ヲ送付ヲ受ケ之ヲ審査スヘシ

第十八條 不用品又ハ毀損ノ爲使用ニ耐ヘサル物品ハ物品返納書ニ依リ現品ヲ關係物品出納更ニ返付スヘシ但シ現品ノ授受不便ナルモノニ付テハ物品出納更前二項ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査ノ上物品ヲ交付スヘシ

第十九條 別ニ定ムル備品ニシテ毀損ノ爲使用ニ堪ヘサルモノアルトキハ物品取扱主任又ハ係員ハ備品除却請求書ニ依リ其ノ除却ヲ請求スルコトヲ得但シ相當價值アリト認ムルモノニ付テハ前條第一項ノ例ニ依ル

物品出納更前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ヲ除却スヘシ

第二十條 物品出納更其ノ保管ニ係ル物品中不用品又ハ毀損ノ爲使用ニ耐ヘサル物品ニシテ處分ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ部課長ニ其ノ處分ノ請求ヲ爲スヘシ

部課長前項ノ物品其ノ他ノ不用品ヲ處分セントスルトキハ總テ考査部長ニ合議ノ上其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 部課長必要ト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ル物品ヲ請負工事又ハ調達品ノ材料トシテ使用セシメ其ノ代價ヲ補足スルノ目的ヲ以テ之ヲ請負人又ハ調達ニ支給スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 貯藏物品及共同物品ハ物品出納更又ハ物品取扱主任、其ノ他ノ物品ハ物品出納更又ハ物品取扱主任ヨリ其ノ交付ヲ受ケタル者之ヲ保管スヘシ

前項ニ依リ保管ノ責アル者故意又ハ怠慢ニ因リ保管ノ物品ヲ亡失又ハ

末尾ニ記載シ雙方署名捺印スヘシ

前任者死亡其ノ他ノ事故ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ部課長ハ他ノ吏員又ハ職員ヲシテ引繼ヲ爲サシムヘシ

第二十七條 特別ノ事由ニ因リ本規程ニ依リ難キモノニ付テハ部課長ハ考査部長ニ合議ノ上市長ノ承認ヲ受ケ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十七條ノ二 本市ニ於テ保管ノ義務アル物品ニシテ法令ニ別段ノ規定ナキモノニ付テハ本規程ヲ準用ス

附則

第二十八條 大正四年達第一號物品取扱規程及同年達第二號物品取扱規程施行細則ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 本規程施行ノ際物品出納更、物品分任出納更又ハ物品取扱主任ノ任ニアル者ハ本規程ニ依ル物品出納更、物品分任出納更又ハ物品取扱主任ヲ命セラレタルモノト看做ス

第三十條 本規程ニ依ル帳簿及憑書ハ別紙第一號乃至第九號様式ニ準シ之ヲ調製スヘシ但シ現在品ハ其ノ調製ニ至ル迄之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ不合ノモノアルトキハ第二十二條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十五條 市長ハ検査員ヲシテ隨時物品整理ノ狀況ヲ検査セシム

第二十六條 物品出納更又ハ物品取扱主任更替シタルトキハ前任者ハ速ニ其ノ事務及保管ニ係ル物品ノ引繼ヲ了シ其ノ願未及年月日ヲ帳簿ノ

第九類 財務 第四章 會計

テハ物品出納更ト協議ノ上適當ノ措置ヲ爲スコトヲ得  
記帳ヲ終リタル帳簿ハ物品取扱主任又ハ係員ノ請求ニ依リ物品出納更之ヲ備品臺帳ヨリ削除スルコトヲ得

第十九條 別ニ定ムル備品ニシテ毀損ノ爲使用ニ堪ヘサルモノアルトキハ物品取扱主任又ハ係員ハ備品除却請求書ニ依リ其ノ除却ヲ請求スルコトヲ得但シ相當價值アリト認ムルモノニ付テハ前條第一項ノ例ニ依ル

物品出納更前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ヲ除却スヘシ

第二十條 物品出納更其ノ保管ニ係ル物品中不用品又ハ毀損ノ爲使用ニ耐ヘサル物品ニシテ處分ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ部課長ニ其ノ處分ノ請求ヲ爲スヘシ

部課長前項ノ物品其ノ他ノ不用品ヲ處分セントスルトキハ總テ考査部長ニ合議ノ上其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 部課長必要ト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ル物品ヲ請負工事又ハ調達品ノ材料トシテ使用セシメ其ノ代價ヲ補足スルノ目的ヲ以テ之ヲ請負人又ハ調達ニ支給スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 貯藏物品及共同物品ハ物品出納更又ハ物品取扱主任、其ノ他ノ物品ハ物品出納更又ハ物品取扱主任ヨリ其ノ交付ヲ受ケタル者之ヲ保管スヘシ

前項ニ依リ保管ノ責アル者故意又ハ怠慢ニ因リ保管ノ物品ヲ亡失又ハ

末尾ニ記載シ雙方署名捺印スヘシ

前任者死亡其ノ他ノ事故ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ部課長ハ他ノ吏員又ハ職員ヲシテ引繼ヲ爲サシムヘシ

第二十七條 特別ノ事由ニ因リ本規程ニ依リ難キモノニ付テハ部課長ハ考査部長ニ合議ノ上市長ノ承認ヲ受ケ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十七條ノ二 本市ニ於テ保管ノ義務アル物品ニシテ法令ニ別段ノ規定ナキモノニ付テハ本規程ヲ準用ス

附則

第二十八條 大正四年達第一號物品取扱規程及同年達第二號物品取扱規程施行細則ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 本規程施行ノ際物品出納更、物品分任出納更又ハ物品取扱主任ノ任ニアル者ハ本規程ニ依ル物品出納更、物品分任出納更又ハ物品取扱主任ヲ命セラレタルモノト看做ス

第三十條 本規程ニ依ル帳簿及憑書ハ別紙第一號乃至第九號様式ニ準シ之ヲ調製スヘシ但シ現在品ハ其ノ調製ニ至ル迄之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ不合ノモノアルトキハ第二十二條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十五條 市長ハ検査員ヲシテ隨時物品整理ノ狀況ヲ検査セシム

第二十六條 物品出納更又ハ物品取扱主任更替シタルトキハ前任者ハ速ニ其ノ事務及保管ニ係ル物品ノ引繼ヲ了シ其ノ願未及年月日ヲ帳簿ノ

第九類 財務 第四章 會計

八四七



物 品 交 付 書					
第 號					
品 目	形 狀 寸 法	數 量	單 價	合 價	
費 目	摘 要				
上記物品交付ス 昭和 年 月 日 何局部(課)物品出納吏					

注 意

工事又ハ作業ノ爲使用ノ物品ヲ交付スル場合ヲ除クノ外本書ハ之ヲ省略スルコトヲ得

物 品 請 求 及 領 收 書					
第 號					
局 部 長	課 長	係主任			
品 目	形 狀 寸 法	數 量	單 價	合 價	
費 目	用 途 其ノ他				
	所要期日				
上記物品請求ス 昭和 年 月 日 何局部(課)物品取扱主任(係員)					
物 品 出 納 吏	係 員	記 簿			
上記物品領收ス 昭和 年 月 日 何局部(課)物品取扱主任(係員)					

注 意

本書ニハ一品一葉ヲ限リ記載スヘシ



物品出納吏	係員	記簿
-------	----	----

精算書(自昭和 年 月)又(昭和 年 月分)  
昭和 年 月 日

何局部(課)物品取扱主任(係員)

品目	種別	單價	總數	部		課		係主任	
				長	主任	長	主任	長	主任
				當期中高	當期中高	當期中高	當期中高	差引	殘高
				受	數	量	價	數	量

注意 品目又ハ種別欄ニ於テ單價ノ明ナルモノニ付テハ單價及合價欄ノ記入ヲ省略スルコトヲ得

【大例一三號】

【大例一三號】

様式號碼

物品返納書			
第 號	物品	課長	係主任
局部長	目	形狀寸法	數量
			單價
			合價
費目	交付ヲ受ケタル日	昭和 年 月 日	
	返納ノ事由其ノ他		

一切取

返納物品領收書			
第 號	品目	形狀寸法	數量
			費目

注意 物品納付書ハ本様式ニ準シ之ヲ調製スヘシ







第七號様式 (消耗品及材料出納簿)

費目		品目		單位呼稱		受入		拂出		現在		備考
年月日	證憑番	摘要	單價	數量	合價	數量	合價	數量	合價	備		

注意 1 拂先ヨリ返納アリタルトキハ拂出欄ニ朱書スヘシ  
 2 其ノ他ノ事項ニ付テハ第六號様式注意1乃至6ニ掲ケル所ニ準ス  
 第八號様式 (雜品類出納簿)

費目

品目

單位呼稱

年月日	證憑番	摘要	受入	交付	現在		供用内		備考
					現供用	貯藏計	現	計	

注意 1 物品出納簿ニ返納シタルトキハ受入欄ニ朱書スヘシ  
 2 除却又ハ亡失ノ處分アリタル場合ニ於テハ貯藏物品ニ付テハ受入欄ニ、供用物品ニ付テハ受入及交付欄ニ朱書スヘシ  
 3 其ノ他ノ事項ニ付テハ第六號様式ニ掲ケル所ニ準ス

第九號様式 (消耗品及材料整理簿)

費目

品目

單位呼稱

年月日	證憑番	摘要	受入	拂出	拂先受領印	殘備	備考

注意 1 拂先受領印ハ別ニ之ヲ徴スルコトヲ得  
 2 其ノ他ノ事項ニ付テハ第七號様式ニ掲ケル所ニ同シ

物品會計規程ニ依ル消耗品及備品ノ目

昭和七年達第一五五號物品會計規程第三條第二號ニ依リ消耗品ト看做シタル物品並同規程第十九條ニ依ル備品ノ品目左ノ如シ  
 物品會計規程第三條第二號ニ依リ消耗品ト看做シタル物品  
 (五十音順)

頭字	品目	摘要
ア	アスベスト板	燃焼用、皿型ノモノヲ含ム
ウ	上敷疊	船舶用
エ	餌猪口掛	



カ

環  
 カード表紙  
 カセ紙  
 龜ノ子タワシ  
 金網  
 懐爐  
 乾電池  
 合鉛護膜布  
 カテーテル類  
 硝子製品  
 (ア)アンブーラ  
 (イ)色硝子板  
 (ウ)ウールガラス  
 (オ)オアエクト用硝子壺  
 オベクト染色皿  
 オアエクトガラス  
 オストワルドピスコシ  
 メーター  
 (カ)硝子板

用紙類又ハ書類綴止用  
 切遣用又ハ燃焼臺用  
 鋳力製  
 切遣用  
 護膜製各種  
 特殊硝子製品ヲ除ク  
 試験用

硝子棒  
 硝子圓筒  
 硝子槽  
 硝子蒸發器  
 洗腸器  
 乾板  
 加里球  
 活栓  
 カバーガラス  
 (管)ブリー氏管  
 アタプター管  
 鹽化カルシウム管  
 遠心力沈澱用硝子管  
 エナ硝子管  
 溫度調節用硝子管  
 オストワルド粘庶測定  
 用硝子管  
 硝子管  
 還元管

試験用  
 切遣用

キルダ―蒸餾管  
 球管  
 球付管  
 吸入器嘴管  
 吸血硝子管  
 供水管  
 口金付硝子管  
 コック付硝子管  
 試験管  
 蛇管  
 吹管  
 玉付硝子管  
 沈澱管  
 T字管  
 二重硝子管  
 燃焼管  
 ネスラ管  
 酸酵管

石英及エナ硝子製ノモノヲ  
 除ク

培養管  
 秤量管  
 分餾管  
 (ヘ)ヘル氏分餾管  
 密封管  
 毛細管  
 毛細管付硝子管  
 ヤング分餾管  
 U字管  
 漏斗管  
 漏斗型硝子管  
 Y字管  
 (キ)吸入器嘴管コック  
 凝集反應板  
 (ク)結晶皿  
 檢尿コック  
 (サ)サイフォン  
 (シ)シャトー  
 (ス)スライドガラス



(タ) 蛋 白 計 探 農 器	各 種
(チ) 注 射 器	各種 但シ標本瓶、瓦斯洗 滌瓶、癩醉用點滴瓶、チエ ロイジン瓶、貯水瓶、噴水 瓶、蓄尿瓶、マルクツソ 氏瓶、振盪瓶及漏瓶ヲ除ク
(テ) テツキガラス	各 種
(ト) 時 計 皿	度量衡法ノ適用ヲ受ケルモ ノヲ除ク
(ニ) 瓶 類	各種 但シメスフラスコ、 石英フラスコ、銅價測定用 三ツロフラスコ及卓上フ スコヲ除ク
(ホ) ホイルオプエクト ガラス	

ホロイオプエクト ガラス	各 種
(ミ) 耳用洗滌銃	各種
(ユ) 有孔攪拌棒	切 遣 用
(レ) レトルト	各種
(ロ) 漏斗類	各種
護 護 管	各種
護 護 管 挾	各種
骨 筆	各種
黒板拭	各種
水 割	各種
三角架	各種
サ ラ エ	各種
試 視 力 表	各種
試 驗 管 挾 子	各種
自 動 車 用 電 球	各種
眞 鍮 針	各種

指 囊	粘 土 製
白 血	研 究 用
ス リ ッ プ	治 療 用
素 焼 板	ク ロ ー ス 表 紙 ヲ 含 ム 但 シ ル イ ス リ ー フ 式 ノ モ ノ ヲ 除 ク
セ ー ム 皮	毛 バ タ キ ヲ 含 ム
セ リ ー ト	
線 鋸	
ダ シ 袋	
帳 簿 表 紙	
チ タ	
塵 拂	
地 下 足 袋	
注 射 針	陶 磁 器 製
鐵 筆	作 業 用
動物飼養針	
荷車引肩	
箸	
白金線	切 遣 用
パール虫	

柄 杓	工 事 又 ハ 作 業 用 及 手 洗 用 木 製 小 型 ノ モ ノ 各 種 但 シ 許 可 證、證 明 證 ノ 類 ヲ 除 ク
札 類	護 謄 製 各 種
ア ー ジ ー 類	普 通 品
ハ ン 軸	護 謄 製
ハ ッ サ リ ウ ム	切 遣 用
防 水 レ ザ ー	
縫 合 針	覆 ナ シ ノ 「バ ラ」
巻 尺	癩 醉 用 マ ス ク ヲ 除 ク
マ ス グ	耳 鼻 用
綿 棒	
メリヤス手袋	
モ ツ プ	土 砂 運 搬 用
モ ツ コ	金 屬 製 ノ モ ノ ヲ 除 ク
坩 堝	切 遣 用 及 用 八 十 耗 以 下 ノ モ ノ 但 シ 金 屬 製 品 ヲ 除 ク
ロ ー プ	

物品會計規程第十九條ニ依ル備品 (五十音順)



頭字	品目	摘要
ア	油 差	鐵力又ハ銅薄板製
	油 入	船垢替用
	アガ 汲	各種但シ金屬製ノモノヲ除ク
イ	印 類	陶磁器製
	色 見 皿	
	イルリガートル	
	印刷用練肉石	
ウ	伊 菰	葬儀所式場用
	植 木 鉢	船舶用ノモノヲ除ク
	上 敷 疊	
	鬱血療法用吸角	
エ	受 馬	
	繪之具皿	磁陶器製
	煙 突	ストーブ用鐵板製
	エンゲルホルン電球	
	エボナイト洗滌管	

頭字	品目	摘要
カ	汚物 面	鐵板製
	汚物 罐	患者寢具用
	活 字	タイプライター活字及護謄
	活 字	活字ヲ含ム
	籠 類	各 種
	笠 類	竹 皮 製
	金 鹽	銅製及眞鍮製ノモノヲ除ク
	紙 筒	研究用但シ豆罈子及豆罈管
	磚 子	ヲ除ク
	懷中電燈	電池及電球ヲ除キタル部分
	硝子製品	消耗品ト看做シタルモノ及
	カテーター類	レントゲン管球其ノ他特ニ
	洗腸器	高價ナルモノヲ除キタル總
		テノ硝子製品
		金屬製各種
		護謄製

頭字	品目	摘要
カ	カツペー	各種但シ安全鉗子ヲ除ク
	眼 帶	
	針 子	
	環 狀 帶	
	飾 物 覆	布 製
	錐 槌	
キ	木 槌	
	金魚玩具	
	靴 拭	棕 栢 製
	空 氣 枕	セルロイド製
	驅 血 帶	陶磁器製
	藥 吞	鐵 製
	下 駄 札	厚 紙 製
	携帶書類盤	
	護謄手袋	
	護謄長靴	
	水 枕	
	膏藥 壺	護謄製

頭字	品目	摘要
産	黑鉛電極	
	工 具 袋	
	香 爐	
	コック帽	
	作 業 服	
シ	盆 挾	
	書 類	
	尺 度	
	職 員 錄	
	敷 布	
	如 露	
	磁 製 管	
	消 毒 盤	
	消 毒 鉢	
	種 痘 針	
	蒸 發 皿	
	蒸 餾 水 壺	
		陶磁器製
		各種
		不用ニ歸シタルモノ
		患者寢具用
		亞鉛引鐵板製
		贈與又ハ給與スルモノヲ除ク
		被服規程ノ適用ヲ受クルモノヲ除ク
		居 場 用
		陶 器 製



ソ	雜巾押棒	鑷子	瀬戸物食器	錢ボテ	洗面器	水器	スケラー	スプリーロ	スプリー	水槽	砂皿	摺鉢	吸取紙挾	硯石	スタムプ臺	白木三寶	七輪	尿管	止血護管
---	------	----	-------	-----	-----	----	------	-------	------	----	----	----	------	----	-------	------	----	----	------

鐵製ヲ除ク  
鐵製  
珙瑯製  
二連球ヲ含ム  
エボナイト製  
陶器製  
珙瑯製  
各種  
雜巾ト分離シ得ルモノ

タ	ソケット	痰壺	打臚器	打診器	竹鐵砲	竹製唧筒	竹筒	竹製唧筒	グイヤモンドペン	タガネ	タシヒン	打診用覆布	樽	茶碗	茶盆	茶入	帳簿用紙挾	塵取	塵除眼鏡
---	------	----	-----	-----	-----	------	----	------	----------	-----	------	-------	---	----	----	----	-------	----	------

陶磁器製  
保育用  
同  
船垢替用  
丸チヌ、平チヌヲ含ム  
木製  
屠場用  
胞衣汚物取扱用汚水容器  
コーヒ茶碗ヲ含ム  
鐵板製  
自動自轉車用及コンクリート

テ	注意燈	提灯	チセル	茶濃	手洗鉢(水鉢)	電話番號簿	砥石類	陶器流シ	土鍋	土瓶	長柄塵拂	中取棒	肉池	乳鉢	擔桶	擔棒
---	-----	----	-----	----	---------	-------	-----	------	----	----	------	-----	----	----	----	----

用セメントヲ除ク  
道路其ノ他危險防止用、棗  
ランプヲ含ム  
購入品ニシテ不用ニ歸シタ  
ルモノ  
各種、油砥石ヲ含ム  
陶磁器製  
天井其ノ他掃除用  
金屬製及瑠璃製ノモノヲ除ク  
汚物汲取其ノ他作業用

ネ	粘土	鋸齒	糊板	鬚盤	刷毛類	刷毛印	灰皿	バケツ	バケツ	旗	鼻洗滌器	培養基入レ	灰取	筆洗	火鉢	火挾	病衣	柄杓
---	----	----	----	----	-----	-----	----	-----	-----	---	------	-------	----	----	----	----	----	----

絲鋸齒  
珙瑯製  
各種、ブラッシュヲ含ム  
檢収用  
陶磁器製  
土工用  
磁製又ハ珙瑯製  
兒童遊戯用ニ貸與スルモノ、  
手旗ヲ含ム  
護膜製  
亞鉛引鐵板製  
陶磁器製  
同  
工事又ハ作業用及手洗用ノ



秤量器	モノヲ除ク
平土器	亞鉛引鐵板製、セメントモ ルタル、砂及砂利秤量用 陶器製
札類	木製小型ノモノ及許可證、 證明證ノ類ヲ除ク カーボン紙複寫用
鍍力板	金屬製各種 展場作業用
鍍力罐	
風呂敷	
アージュ類	
篩	
紅鉢	
ベルト	
便器	挿込式ノモノ 陶器製
瓶子	各種但シ防火用ノモノヲ除ク
ホース類	兒童遊戯用ニ貸與スルモノ
防水前掛	
帽子	
ポリチエール球	

ボール	測量用
巻尺	覆ナシノ「バラ」ヲ除ク
癡醉用マスク	
マレット	
抹香入	木製
水入	陶磁器製
水呑	珫瑯製
水甕(水壺)	
蓑	蓑製
綿棒	耳鼻用ノモノヲ除ク
自立鍍	
飯蒸	珫瑯製
メス	各種
メガホン	珫瑯製
藥罐	
夜警燈(提燈)	
湯タンポ	
鍍接用眼鏡	鍍力製又ハ陶磁器製
リレー棒	兒童遊戯用ニ貸與スルモノ

〔大例一三號〕

ロープ	周八十耗以上ノモノ但シ金 屬製品ヲ除ク
漏斗	陶磁器製

物品取扱ニ關スル件

制定 昭八、四、一五 監乙七五

物品取扱ニ關スル件

今回物品會計規程制定相成候ハ全ク物品取扱ノ公正並事務簡捷ノ趣旨ニ  
出テタルモノニ有之候ニ付テハ此ノ趣旨ニ依リ規程ノ運用ヲ誤ラサル様  
御注意可相成ハ勿論ニ候處特ニ左記各項ニ御留意相成度依命此段及通牒  
候也

記

- 一 物品ノ出納、受渡、保管並使用ニ關シテハ苟モ濫費不經濟ニ涉ラサ  
ル様注意スヘシ
- 二 貯藏物品及共同物品以外ノ物品ト雖必ス責任者ヲ定メ之カ保管ノ任  
ニ當ラシムヘシ
- 三 物品出納吏物品ヲ交付セントスルトキハ當該物品ノ請求ニ付形式上  
並實質上ノ審査ヲ爲シ其ノ必要ナル所以ヲ確認シタル後之ヲ爲スヘシ
- 四 從來備品ニ屬シタル物品ニシテ新ニ消耗品ト看做シタルモノ及除却  
處分ニ付スルコトヲ得ヘキ備品ノ交付ニ當リテハ特ニ前項ノ審査ヲ嚴  
重ニスヘシ

- 五 從來備品ニ屬シタル物品ニシテ新ニ消耗品ト看做シタルモノニ付既  
ニ之ヲ備品トシテ豫算ニ計上シタル向ハ昭和八年度ニ限り備品ノ取扱  
ヲ爲スコトヲ妨ケス
- 六 備品ノ除却請求ニ對シテハ物品出納吏ハ當該備品カ第十九條ニ依リ  
定ムルモノナルコト、正當ノ事由ニ因リ毀損シ且使用ニ堪ヘサルモノ  
ナルコト及返納ノ價値ナキモノナルコトヲ嚴査シタル後其ノ手續ヲ爲  
スヘシ
- 七 備品ニシテ除却處分ニ付シタルモノ及消耗品ニシテ使用済トナリタ  
ルモノト雖猶多少ノ價値ヲ有スルモノニ付テハ賣却其ノ他適當ノ處分  
ヲ爲スヘシ

工事材料中請負人ニ交付後破損滅失ノ責  
任ヲ免除スルノ件

制定 大二、二七、西市長決定  
最近改正 昭二、三、市長決定

工事又ハ作業ノ請負ニ當リ之ニ使用スル爲現品ヲ以テ交付シタル材料ノ  
使用及保全ノ責任ハ全然請負人ニ歸スヘク契約ヲ締結シタルモノト雖モ  
其ノ材料ノ性質上作業又ハ取扱ニ當リ若干ノ破損滅失ヲ免レサルモノニ  
シテ當該請負人ノ行爲上別段指摘スヘキ過失ナキ場合ニ限り左ノ範圍内  
ノ破損滅失ニ對シテハ都市計畫部長限リ其ノ責任ヲ免除スルコトヲ得ル  
モノトス

- 一 歩道用コンクリートブロック 百分ノ參
- 一 下水用膠泥管 百分ノ貳



一 鋪裝用木塊

百分ノ貳

器具貸渡方

本市備付天幕其他器具ノ使用ヲ田願スルモノアルトキハ市參事會ニ於テ  
差支ナキトキニ限り相當使用料ヲ徵シ又ハ使用料ヲ徵セスシテ特ニ其ノ  
使用ヲ許可スルコトヲ得

證券類廢棄處分規程

制 定 昭一、三、二二番 六四  
最近改正 昭一七、六 通二〇八ノ一九  
本市發行證券類廢棄處分規程左ノ通相定メ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ  
施行ス

本市發行證券類廢棄處分規程

- 第一條 左ノ證券類ノ廢棄處分ニ付テハ本規程ニ依ル  
一 本市發行ノ各種公債及利札ノ内償還濟ノモノニシテ時效期間ヲ經  
過シタルモノトス
- 二 本市發行ノ各種公債ノ豫備證券及見本券(文書整理規程ニ依ル見  
本券ヲ除ク)並豫備利札及見本利札ニシテ不用ニ歸シタルモノ
- 三 本市發行ノ各種公債ノ刷損紙
- 四 本市發行ノ各種收入證紙ノ内謄誤糊固著、損傷汚染等ノ爲發賣シ  
難キニ至リタルモノ並其ノ刷損紙
- 五 本市路面電車、高速鐵道及乘合自動車ノ各種乘車券ニシテ不用ニ

不用土砂處理規程

制 定 昭一、三、二二番 一四五  
不用土砂處理規程左ノ通相定メ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
不用土砂處理規程

- 第一條 本市工事ニ因リ生シタル不用土砂ノ處理ハ別ニ定ムルモノノ外  
本規程ニ依ル
- 第二條 河川浚渫土砂ハ本市直營工事ニ無償使用ス但シ遠距離ノ爲運搬  
ニ多額ノ費用ヲ要スルトキ其ノ他必要アリト認ムルトキハ有償ト爲ス

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

コトヲ得

第三條 本市直營工事業上必要ナラサル河川浚渫土砂ハ左ノ各號ニ依リ下  
付田願者ニ之ヲ交付ス

- 一 下付土砂ハ有償トス但シ土砂處理上困難ヲ生シ浚渫工事進捗ニ支  
障アリト認ムル場合ハ無償ト爲スコトヲ得
- 二 下付土砂ハ浚渫現場又ハ適當ナル河岸地ニ於テ交付ス
- 三 下付土砂ノ處理費用(棧橋設置、受船設備及投込並擔揚入夫賃等)  
ハ田願者ノ負擔トス但シ必要ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 四 下付土砂送付中ト雖田願者ニ不都合ノ所爲アリト認ムルトキ又ハ  
本市ニ於テ必要ヲ生シタルトキハ交付ヲ中止シ又ハ下付許可ヲ取消  
スコトアルヘシ
- 五 下付土砂交付際ハ田願者ハ直ニ土砂處理用諸設備ヲ撤去スヘ  
シ但シ第三號但書ノ場合ハ此限ニ在ラス
- 六 下付土砂輸揚及船移ノ際川中ヲ填埋セシト認ムルトキハ田願者ノ  
費用ヲ以テ原狀ニ復セシムルコトアルヘシ
- 七 田願者前號ノ義務ヲ怠ルトキハ本市ニ於テ適宜之ヲ施行シ其ノ費  
用ハ田願者ヨリ之ヲ徵收スルモノトス

第四條 前二條ノ規定ハ其ノ他ノ不用土砂ノ處理ニ關シ之ヲ準用ス



# 第五章 經理

## 契約規程

本市會ノ議決ヲ經大阪府契約規程左ノ通相定ム

大阪府契約規程

第一條 本市ニ於テ工事其ノ他ノ請負、物件勞力其ノ他ノ供給、物件ノ賣却貸借等ニ關シ契約ヲ爲サントスルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 請負又ハ購買ノ一般又ハ指名競争入札ニ加入セントスル者ハ左ノ各號ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス但シ市長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ別ニ入札者ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

一 引續キ二年以上當該營業ニ従事スルコト  
二 直接國稅ヲ納付スルコト  
營業ヲ承繼シタル場合ニ於テハ前營業者ノ當該營業ニ従事シタル期間及國稅ノ納付ハ承繼人ニ於テ従事又ハ納付シタルモノト看做スコトヲ得

第三條 市長ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スト認ムル者ハ自己ノ行為ニ因ルト代理人又ハ使用人ノ行為ニ因ルトト問ハス爾後工事請負ニ關シテハ二年間、其ノ他ノ請負、賣買及貸借ニ關シテハ一年間一般又ハ指名競争入札ニ加ハルコトヲ得ス其ノ代理人又ハ使用人ニ付亦同シ  
一 一般又ハ指名競争入札ニ際シ濫ニ價格ヲ競上ケ若ハ競下クルノ目

第九類 財務 第五章 經理

【大例一三號】

的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者

二 一般又ハ指名競争入札ノ加入ヲ妨害シ又ハ競落人ノ契約若ハ其ノ履行ヲ妨害シタル者

三 第十條第二號又ハ第三號ニ該當スル所爲アリタル者及同號第一號又ハ第四號ノ規定ニ依リ契約ヲ解除セラレタル者

四 落札シタル入札ノ取消ヲ爲シタル者又ハ落札ノ通知ヲ受ケ其ノ契約ヲ締結セサル者

五 前各號ノ一ニ該當スト認メラレタル後其ノ加入シ得サル期間未經過ノ者ヲ入札又ハ契約ノ締結若ハ其ノ履行ノ代理人又ハ使用人トシテ使用シタル者

第四條 一般競争入札ニ付スルヲ不利又ハ不適當ト認ムルトキハ指名競争入札ニ付スルコトヲ得

第五條 左ノ場合ニ於ケル賣買、貸借又ハ請負ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 國、公共團體又ハ公益團體ト契約ヲ爲ストキ  
二 外國ニ於テ契約ヲ爲ストキ  
三 土地又ハ家屋ノ購入若ハ借入ノ契約ヲ爲ストキ  
四 特定人ノ外他ニ求メ難キ物件、勞力其ノ他ノ供給ヲ直接ニ受クルトキ

五 直營事業ニ要スル勞力供給及賄方ノ請負契約ヲ爲ストキ  
六 契約締結後之ト關聯シ追加契約ヲ爲スヲ利益ナリト認ムルトキ  
七 一契約ノ見積價格二千圓以下ノ請負又ハ購入ノ契約ヲ爲ストキ  
八 一契約ノ見積價格五百圓以下ノ貸借又ハ賣却ノ契約ヲ爲ストキ



- 九 一般又ハ指名競争入札ニ付スルヲ不利又ハ不適當ト認ムルトキ
- 十 一般又ハ指名競争入札ニ付スルモ入札者ナキトキ若ハ落札セサルトキ
- 第六條 動産ノ賣却ハ雜賣ニ付スルコトヲ得
- 第七條 入札又ハ契約ノ場合ハ市長ノ定ムル所ニ依リ保證金ヲ徵ス  
隨意契約ノ場合ニ於ケル保證金又ハ指名競争入札ノ場合ニ於ケル入札保證金ハ之ヲ徵セサルコトヲ得  
保證金ハ有價證券ヲ以テ代用セシムルコトヲ得其ノ種類及價格ハ市長之ヲ定ム
- 第八條 落札人入札ノ取消ヲ求メ又ハ指定ノ期間内ニ契約ヲ締結セザルトキハ入札保證金ハ本市ノ所得トス
- 第九條 第一號乃至第四號ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ契約保證金ハ本市ノ所得トス請負人又ハ調達人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ契約無効又ハ履行不能ト爲リタル場合亦同シ  
契約保證金ハ契約ニ伴フ一切ノ損害賠償ニモ之ヲ充當スルコトヲ得充當シタル場合ニ於テハ不足金額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
- 第十條 前條ノ規定ニ拘ラス市長必要ト認ムルトキハ保證金ト損害賠償トノ關係ヲ契約ニ於テ定ムルコトヲ得
- 第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ市長ハ契約ヲ解除スルコトヲ得  
一 正當ノ事由ナクシテ契約ヲ履行セス又ハ契約期間内ニ履行ノ見込ナキトキ  
二 契約ノ締結又ハ履行ニ付キ不正ノ行爲アリタルトキ

- 三 契約ノ履行ニ當リ當該係員ノ指揮監督ニ從ハス又ハ其ノ職務執行ヲ妨害シタルトキ
- 四 契約事項ニ違反シタルトキ
- 五 已ムヲ得サル事由ニ因リ契約解除ノ申出アリタルトキ
- 第十一條 前條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ市長ノ選擇ニ從ヒ請負人又ハ調達人ノ費用ヲ以テ既成部分ノ取除又ハ搬入材料若ハ既納物品ノ引取ヲ爲サシメ又ハ市長ニ於テ相當ト認ムル金額ヲ交付シ之ヲ市ノ所得トス
- 第十二條 前項ノ規定ハ契約無効又ハ履行不能ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス
- 第十三條 正當ノ理由ナクシテ債務ノ履行ヲ遲延シタルトキハ市長ノ定ムル所ニ依リ延滞違約金ヲ徵收ス
- 第十四條 指定ノ期間内ニ前項ノ規定ニ依リ延滞違約金ヲ納付セザルトキハ支拂代金ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得
- 第十五條 市長ハ工事ノ既成部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完済前ニ其ノ代價ノ一部又ハ全部ヲ支拂フコトヲ得
- 第十六條 契約ヨリ生スル權利ハ市長ノ承認ヲ經ルニ非ザレハ之ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス
- 第十七條 翌年度當初ニ於テ緊急必要アリト認ムルトキハ年度開始前ト雖契約ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ年度開始後ノ支拂期日ヲ定ムルモノトス
- 第十八條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

本規程ハ昭和十一年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ既ニ契約ヲ締結シタルモ

ノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル  
左ノ規定ハ昭和十年度分限リ之ヲ廢止ス  
大正十一年大阪市告示第四十八號大阪市會計規程第八條乃至第十六條及附則  
明治四十年三月十二日市會議決應芥中有價物選別採取請負ニ關スル隨意契約ノ件  
大正八年三月三十日市會議決公共便所尿尿汲取隨意契約ノ件  
從前ノ規定ニ依リ本規程施行前既ニ入札加入ノ承認ヲ受ケタル者ハ本規程ニ依リ之ヲ爲サレタルモノト看做ス

契約規程施行細則

制定 昭二一、三、一二告示一三八

大阪市契約規程施行細則左ノ通相定ム

大阪市契約規程施行細則

- 第一條 大阪市契約規程(以下規程ト稱ス)第二條第二項ノ規定ニ依リ前營業者ノ當該營業ニ從事シタル期間及國稅ノ納付ヲ承繼人ニ於テ從事又ハ納付シタルモノト看做スヘキ場合左ノ如シ  
一 家督相續又ハ遺產相續アリタルトキ  
二 個人營業者カ會社ヲ設立シ之ニ其ノ營業ヲ讓渡シ其ノ會社ノ代表社員ニ就任シ現ニ其ノ任ニ在ルトキ  
三 合併ニ因リ解散シタル會社ノ代表社員ノ多數カ合併ニ因リ新設セラレタル會社又ハ合併後存續スル會社ノ代表社員ニ就任シ現ニ

其ノ任ニ在ルトキ

- 四 會社カ其ノ組織ヲ變更シ他ノ種類ノ會社ト爲リタルトキ
- 五 其ノ他市長ニ於テ適當ト認ムルトキ
- 第二條 保證金ヲ徵スル場合ハ左ノ割合ニ依リ其ノ額ヲ定ム  
一 入札保證金ハ其ノ事項ノ見積代金ノ百分ノ三以上トス  
二 契約保證金ハ一般競争入札ノ場合ニ在リテハ其ノ事項ノ代金ノ百分ノ十以上トシ其ノ他ノ場合ニ在リテハ百分ノ五以上トス但シ單價契約ノ場合ハ其ノ都度金額ヲ定ム
- 第三條 保證金ハ利子ヲ附セス
- 第四條 一般競争入札ニ加入セントスル者ハ入札ノ前日迄ニ其ノ資格ノ證明書ヲ提出シ加入ノ承認ヲ受クヘシ前ニ提出シタル資格證明書ヲ授用セントスルトキ亦同シ  
代理人ニ依リテ一般又ハ指名競争入札ニ加入セントスル者ハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ提出スヘシ
- 第五條 一般又ハ指名競争入札ヲ爲サントスル者ハ入札書ニ必要事項ヲ記入シ記名捺印ノ上入札保證金ヲ要スルモノニ付テハ其ノ領收證書ヲ添付シ所定時間内ニ入札スヘシ  
前項ノ手續ヲ爲シタル入札書ハ引換、變更又ハ返還セス
- 第六條 一般競争入札ニ付セントスルトキハ其ノ入札期日ノ五日前迄ニ入札ニ必要ナル事項ヲ公告スヘシ但シ急ヲ要スル場合ニ於テハ三日前途之ヲ短縮スルコトヲ得
- 第七條 一般又ハ指名競争入札ニ付シタル目的物件ノ豫定價格ハ封緘ノ儘一定ノ場所ニ備置クヘシ



第七條 一般又ハ指名競争入札ノ開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フ但シ入札人出席セザルトキ又ハ出席者一人ナルトキハ入札ニ關係ナキ吏員ヲシテ之ニ立會ハシムヘシ

- 第八條 左ノ入札ハ之ヲ無効トス
- 一 入札人タル資格ナキ者ノ入札
  - 二 所定ノ日時迄ニ到達セザリシ郵便ニ依ル入札
  - 三 入札保證金所定ノ額ニ達セザル者ノ入札
  - 四 入札人ノ記名捺印ナキ入札
  - 五 同一入札ニ付入札人又ハ其ノ代理人ニ依リ爲サレタル二以上ノ入札

第六條 金額其ノ他主要部分ノ記載不明確ナル入札

第九條 開札ノ結果落札スル者ナキトキハ即時出席入札人ヲシテ再入札ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ入札保證金所定ノ金額ニ達セザルモ妨ナシ

第十條 落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム當該入札人中出席セザル者又ハ抽籤ヲ爲ササル者アルトキハ入札ニ關係ナキ吏員ヲシテ之ニ代リ抽籤ヲ爲サシムヘシ

時宜ニ依リ前項ノ規定ニ拘ラス同價入札人ヲシテ即時再入札ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條末段ノ例ニ依ル

第十一條 落札人契約締結前ニ於テ其ノ取消ヲ申出テタルトキハ更ニ入札ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

- 一 工事請負 未済部分ニ對スル代價ノ千分ノ一但シ未済部分ヲ分ツコト能ハサルモノト認ムルトキハ請負金高ノ千分ノ一
- 二 其ノ他 納付又ハ履行ヲ遅延シタル部分ニ對スル代價ノ千分ノ一

前項ノ規定ニ依ル未済又ハ遅延部分等ハ市長ノ認定ニ依ル市長必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス契約ヲ以テ特ニ違約金ノ額ヲ定ムルコトヲ得

第十七條 完済前代價ノ一部ヲ支拂フ場合ニ於テハ工事ニ付テハ其ノ既成部分ニ對スル代價ノ十分ノ九、物品ニ付テハ其ノ既納部分ニ對スル代價ノ全額ヲ限度トス但シ分立シ得ヘキ性質ノ工事ニ付テハ各個ノ既成部分ニ對スル代價ノ全額迄ヲ支拂フコトヲ得

附則

本細則ハ大阪市契約規程施行ノトキヨリ之ヲ施行ス  
大正十一年告示第七十號大阪市會計規程施行細則第十三條乃至第二十七條ノ規定ハ之ヲ廢止ス

經理事務取扱規程

制定 昭二一、三、一二 最近改正 昭二七、六 遵二〇八ノ二〇 六七

昭和五年達第一三六號經理事務取扱手續左ノ通改正シ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

經理事務取扱規程

第一條 經理事務取扱ニ關シテハ別段ノ定アルモノノ外本規程ニ依ル

前項ノ申出開札後即時ナルトキハ時宜ニ依リ次位入札ヲ以テ落札ト爲スコトヲ得

第十二條 落札人ハ指定期間内ニ契約保證金ヲ納付シ其ノ契約ヲ締結スヘシ

契約締結ニ當リ保證人ヲ立テシムルコトヲ得  
事業請負ノ落札人ハ前各項ノ外仍指定期間内ニ工費内譯明細書其ノ他本市ノ指定スル書類ヲ提出スヘシ  
請負人又ハ調達人ノ記名捺印シタル見積書ヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得

第十三條 入札保證金ハ落札人ニ對シテハ契約締結後其ノ他ノ者ニ對シテハ開札後之ヲ還付ス

第十四條 保證金ハ契約保證金ニ充當スルコトヲ得  
入札保證金ハ其ノ債務履行後之ヲ還付ス但シ契約ヲ以テ保證金ノ全部又ハ一部ヲ留保シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 保證金ヲ取得スル場合ニ於テ有價證券ヲ以テ代用シタル場合ニ於テハ本市ハ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ處分シ清算スルモノトス  
前項ノ處分方法及價格ニ對シテハ何人モ異議ヲ申立ツルコトヲ得  
第十六條 天災事變其ノ他正當ノ事由ニ因リ履行遅延ノ虞アルトキハ請負人又ハ調達人ハ直ニ其ノ事由ヲ届出テ延期ノ承諾ヲ求ムヘシ  
第十七條 規程第十二條ノ規定ニ依ル延滞違約金ハ延滞日數一日ニ付左ノ割合ニ依リ之ヲ徵ス

但シ不動産ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第二條 主管局、部、課、課長契約締結ヲ必要トスルトキハ事業ノ請負(工事等ノ請負)ニ付テハ第一號様式、物件勞力ノ供給(物件勞力等ノ購入及請負)ニ付テハ第二號様式、建築用材料及不用物品ノ賣却ニ付テハ第三號様式ニ依リ理財局長ニ之ヲ請求スヘシ

第三條 前條ノ規定ニ依ル請求ニ付テハ左ノ各號ニ留意スヘシ  
一 契約履行期限ハ通常契約ノ履行ニ必要ナル期間及理財局長ニ於ケル調査、経伺其ノ他ノ處理手續ニ要スル期間ヲ參酌シ短期ニ失セサルコト

二 品質、形状、寸法、設計書、仕様書、明細書、圖面等ハ契約履行上疑義ナキ様式ニテ之ヲ詳記スルコト

三 設計書、仕様書、明細書等ニハ主トシテ工法其ノ他施行方法ヲ記スルモノトシ代金其ノ他對價ノ支拂方法、保證金ノ性質其ノ他ノ權利義務ノ定メ等ニ付テハ必要ナルモノニ付テハ契約附加條項トシテ之ヲ別紙ニ記載スルコト

四 用途ハ當該費目ヨリ支辨ノ當否及實際使用目的ヲ認知シ得ル様之ヲ詳記スルコト  
五 工用材料其ノ他ノ使用品ハ特ニ必要アルモノノ外特殊品ヲ指定セザルコト

第四條 理財局長第二條ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク係員ヲシテ事務處理上必要ナル調査ヲ爲サシムヘシ

第五條 理財局長契約ノ締結ヲ了シタルトキハ事業ノ請負ニ付テハ第一號様式、其ノ他ニ付テハ第五號様式ニ依リ速ニ之ヲ請求局、部、課、課長ニ通知スヘシ但シ小口購買資金又ハ物品購買資金ニ依リ處理スルモノニ付テハ別ノ取扱方法ニ依ルコトヲ得



**第六條** 契約締結後天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ契約ヲ變更セントスルトキハ請求局、部、課、係長ハ當該事項及其ノ事由ヲ詳記シ遲滞ナク理財局長ニ之ヲ請求スヘシ  
契約變更ノ請求又ハ申出ハ履行期前ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

理財局長第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタルトキハ第四條及第五條ノ例ニ依リ之ヲ處理スヘシ

**第七條** 理財局長請負人又ハ調達人其ノ他ヨリ契約ノ變更又ハ解除ノ申出ヲ受ケタルトキハ請求局、部、課、係長ニ關係アル事項ニ付テハ其ノ意見ヲ徵シタル後許可ヲ決シ其ノ結果ハ之ヲ請求局、部、課、係長ニ通知スヘシ

**第八條** 請求局、部、課、係長ニ於テ請負金額一千圓以上ノ竣功工事若ハ購入金額五百圓以上ノ調達物件ノ檢收又ハ賣却價格二百圓以上ノ物件ノ引渡ヲ爲サントスルトキハ檢收又ハ引渡ヲ行フ日ノ前日迄ニ其ノ旨理財局長ニ通知スヘシ

**第九條** 竣功工事又ハ調達物件ノ檢收其ノ他契約ノ履行上必要ト認ムルトキハ理財局長ハ係員ヲシテ隨時之ニ立會セシムルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ立會人ト請求局、部、課、係員トノ意見一致セザルトキハ理財局長ハ請求局、部、課、係長ト協議ノ上之ヲ處理スヘシ

**第十條** 請求局、部、課、係長契約ノ履行ヲ受ケタルトキハ事業ノ請負ニ付テハ第六號様式ノ完成報告書ヲ、其ノ他ニ付テハ第七號様式ノ檢收報告書ヲ作成シ遲滞ナク理財局長ニ回付スヘシ  
請負人、調達人等ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ完成期、納期、檢査又ハ報告ヲ遲延シタルトキハ其ノ事由ヲ、請負人、調達人等ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ遲延シタルトキハ其ノ旨前項ノ規定ニ依

ル報告書ノ摘要欄ニ詳細記載スヘシ  
**第十一條** 請求局、部、課、係長ニ於テハ其ノ請求事項ニ付左ノ各號ノ規定ニ該當スル取扱ヲ爲スコトヲ得ス

一 請負、購買其ノ他ノ請求又ハ供給ヲ受ケヘキ物件ノ選定ニ當リ豫メ當業者其ノ他ト價格ノ協定ヲ爲シ又ハ見積書ヲ徵スル等ノコト  
二 入札ノ結果豫定金額超過ノ爲再調ヲ要スル場合ニ於テ直接當業者ト價格ノ協定ヲ爲シ又ハ其ノ見積書ヲ徵シテ理財局長ニ回付シ若ハ之ヲ理財局長ニ提出セシムルコト

三 設計又ハ仕様ノ變更並減價採用等ニ際シ特ニ急ヲ要スル場合ノ外正規ノ手續ヲ經スシテ當業者ヲシテ之ヲ施行セシメ又ハ豫メ當業者ト價格ノ協定ヲ爲シタル後其ノ變更若ハ採用等ヲ請求シ又ハ當業者ヲシテ之カ願出ヲ爲サシムルコト

**第十二條** 請負又ハ供給等ノ入札又ハ見積金額力請求局、部、課、係長ニ豫定金額ニ比シ超過額百分ノ五ニ滿タサル場合ニ於テ豫算執行上支障ナキトキハ理財局長ハ當該契約ヲ締結スルコトヲ得  
請求局、部、課、係長前項ノ規定ニ依ル取扱ニ支障アルトキハ豫メ請求書ニ豫定金額超過執行不能ノ旨朱記スヘシ

**第十三條** 理財局長入札ニ依リ契約ヲ締結シタルトキハ其ノ結果ハ之ヲ市長ニ報告スヘシ

**第十四條** 電氣局及港灣局ニ於ケル經理事務ノ取扱ニ關シテハ本規程ヲ準用ス  
區役所ニ於ケル經理事務ノ取扱ニ關シテハ本規程ヲ適用セス

附則  
從前ノ第一號、第四號、第六號及第八號様式ニ依ル用紙ハ現在品ニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得

事業請負請求書

第一號様式 (182mm x 262mm)

請求第	號	昭和	年	月	日	算額	豫定	達推	令	出	提出	圖
主管	局部長	課長	係長	係員	記簿							
合	局部長	課長	係長	係員	記簿							
議	局部長	課長	係長	係員	記簿							
事業名稱												
費	契約後		日									
	負期	功期	昭和	年	月	日						
	著月	手日	昭和	年	月	日						
目	添	付	仕	書	明	細	書	圖	面			
	費	類	様	枚	細	枚	枚	枚	枚			
摘要												
理財局長	調度課長	係長	係員	記簿								



不用物件賣却請求書

注管	局部長	課長	係長	係員	
合議	考査部長	檢査課長	係長	係員	
請求番	號	請月	求日	昭和 年 月 日	
收入科目	引期		取限		
	物所		在地		
物件名	品質形狀 寸法	數量	單價	合價	賣却理由
			圓	圓	
計					
摘要					
理財	調度	用品係長	係員		
局長	課長	契約係長	係員		

第三號樣式 (182mm x 263mm) (複寫式)  
別途考査部へ合議濟ノモノハ摘要欄へ其ノ旨記載スヘシ

〔大例二三號〕

物品購買請求書

局部長	課長	係長	係員	記簿
	課長	係長	係員	記簿
請求番	號	昭和 年 月 日 請求	令推定豫算殘額	圓
費目	納品期限	昭和 年 月 日		
	納品期間	契約後 日以内		
	納場	入所		
	用途			
品目	品質形狀 寸法	數量	豫單 定價	同合價
			圓	圓
計				
理財局長	調度課長	係長	係員	
		係長	係員	

備考 1 供給入力同一營業ノ種目ニ屬スルモノト認メ得ルモノノ外一葉一品記載ノコト  
2 物品購買資金ヲ運用處理スルモノハ一葉一品記載ノコト



物品購買契約通知書

第五號樣式 甲

(182mm x 262mm) (複寫式)

調發第	號	昭和	年	月	日	大阪市役所 理財局調度課
請求第	號	納期	昭和	年	月	日限
		納地				
		納人				
品目	品質形狀寸法	數量	摘要			
曩 = 提出ノ見積金額 = テ購入致候間上記納期迄 = 無相違納品相成度						

〔大例一三號〕

事業請負契約通知書

第四號樣式 (182mm x 262mm)

調發乙第	號	昭和	年	月	日	理財局調度課			
事業名稱									
費目	請負金額	圓							
	請負人住所氏名								
契約月日	昭和	年	月	日	請負期限	昭和	年	月	日
保證金預期間	竣功検査済後	間	著手月日	昭和	年	月	日		
摘要									
主管	局部長	課長	係長	係員	記簿				

〔大例一三號〕



事業請負完成報告書 昭和 年 月 日

局部長	課長	係長	係員	記簿
	課長	係長	係員	記簿
事業名稱				
費目	番號	調發乙 第 號		
		請負金額	豫理金	整額
		請金	負額	價
		精金	算額	
		差增額	引減	
請負人	期限	昭和 年 月 日		
調度課立會員	完了(竣功) 月日	昭和 年 月 日		
調度課立會員	完了(竣功) 檢查月日	昭和 年 月 日		
摘要				
理財局長	調度課長	係長	係員	記簿

第六號樣式 (182mm x 262mm)

〔大例一三號〕

物品購買契約通知書

乙

局部長	課長	係長	係員
調發 第 號	昭和 年 月 日 理財局調度課		
請求 番號 第 號	納 期	昭和 年 月 日 限	
費 目	納 地		
	納 入		
品 目	品質形狀寸法	數 量	單 價 合 價
			圓 圓
摘 要			

〔大例一三號〕







保證金取扱規程

制定 昭二一、三、二二告示 一三九  
最近改正 昭一七、六 告示二五、一三五

保證金取扱規程左ノ通相定メ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 本市ニ於ケル保證金ノ取扱ハ別段ノ規定アルモノノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 主管局、部、課、係、區長(以下主管部課長ト稱ス)保證金ヲ徵セントスルトキハ納付書ニ依リ之ヲ納付セシムヘシ
- 第三條 有價證券ヲ以テ現金ニ代用スルモノハ左ノ公債及債券ニシテ利札付無記名式内國貨債ナルコトヲ要ス
  - 一 日本政府發行公債
  - 二 東京、大阪、京都、神戸、横濱、名古屋各市發行ノ市債
  - 三 勸業債券(大券ニ限ル)
  - 四 興業債券
  - 五 拓殖債券(北海道拓殖銀行發行ノモノニ限ル)
  - 六 大阪農工銀行發行ノ農工債券
- 特別ノ事由ニ依リ前項ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ審査部長及收入役ヲ經テ市長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 前項ノ規定ハ區役所ニ之ヲ適用セス
- 第四條 前條ノ規定ニ依ル有價證券ノ換算價格ハ本市公債ニ在リテハ其ノ券面額、其ノ他ノモノニ在リテハ提供當時ノ時價ノ十分ノ九以内トス
- 市價ノ變動ニ因リ保證金額ニ不足ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ補充スルノ必要アリト認ムルトキハ追納セシム
- 第五條 保證金ヲ追徵シ又ハ其ノ一部ヲ還付セントスルトキハ既納保證金額ヲ還付シ追徵ノ場合ニ於テハ既納保證金額ト追徵額トノ合算額ヲ、一部還付ノ場合ニ於テハ還付殘額ヲ納付セシム

- 前項ノ場合ニ於テ保證金ニ付第三者ノ權利存スルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス追徵額ヲ納付セシム又ハ既納保證金ノ一部ヲ還付ス
- 第六條 主管部課長第一號乃至第三號様式ニ依ル保證金又ハ利札還付ノ請求書ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ヲ收入役(副收入役、區收入役ヲ含ム以下同シ)ニ送付スヘシ
- 第七條 收入役前條ノ還付請求書ヲ受ケタルトキハ照査ノ上領收證書ヲ徵シ市現金取扱人ヲシテ當該保證金又ハ利札ノ還付ヲ爲サシムヘシ
- 第七條之二 住宅及寮舎使用保證金ノ還付ニ付テハ第六條及前條ノ規定ニ拘ラス主管部課長ニ於テ之ヲ取扱フコトヲ得
- 第八條 有價證券ノ處分ハ市長ノ決裁ヲ經テ主管部課長之ヲ行フヘシ但シ證券ハ代金ノ納付ト引換ヘシ收入役之ヲ買主ニ引渡スモノトス
- 第九條 保證金ヲ當該債務ニ充當セムトスルトキハ振替命令書ニ依ルヘシ但シ有價證券ヲ賣却シタルトキハ其ノ代金ハ之ヲ一時取扱金トシテ收納ノ上清算スルモノトス
- 第十條 主管部課長ハ第四號及第五號様式ニ依ル保證金受拂簿ヲ備ヘ保證金ノ收支ヲ整理スヘシ
- 第十一條 主管部課長ハ毎年三月三十一日現在ニ依リ其ノ屬スル年度内ニ於ケル保證金ノ收支計算書(第六號様式)ヲ調製シ四月三十日迄ニ收入役ニ提出スヘシ
- 副收入役及區收入役ハ前項ノ收支計算書ヲ市收入役ニ提出スヘシ
- 市收入役ハ前二項ノ收支計算書ヲ取纏メ總計算書ヲ附シテ市長ノ閱覽ニ供スヘシ
- 第十二條 入札保證金ノ收支ニ關シテハ前各條ノ規定ニ拘ラス第七號及第八號様式ニ依リ主管部課長限リ之ヲ行フコトヲ得但シ港灣局ヲ除クノ外保證金ハ市現金取扱人ヲシテ之ヲ保管セシムヘシ此ノ場合ニ於テハ入札執行ノ日時及還付ニ必要ナル認印ハ收入役ヲ經テ市現金取扱人ニ通知シ置クヘシ
- 第十三條 受益者負擔金分納擔保トシテ提供セシメタル銀行又ハ信託會

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

社ノ定期預金證書及金錢信託證書ノ取扱ニ付テハ第二條、第五條乃至第七條、第十條及第十一條ノ規定ヲ準用ス

第十四條 大阪市會計規程(第九條)ノ規定ニ依ル擔保トシテ收納スル有價證券ノ種類及其ノ取扱ニ關シテハ本規程ヲ適用セス

附則

左ノ規定ハ之ヲ廢止ス

昭和七年達第九二號保證金取扱手續

昭和八年大阪市告示第三百十八號市吏員及雇傭員身元保證金ニ代用スヘキ有價證券ノ種類及價格ニ關スル件

第一號様式

現金		昭和 年 月 日 發行		出納係	
収入役	司計長	審査	照合	局長	係長
但 一金		保證金還付請求書		課長	係長
右還付相成度請求候也		昭和 年 月 日		係員	係員
大阪市長 殿		昭和 年 月 日 納入		履行照合	係員
				簿記	係員
				印鑑照合	係員
				委任照合	係員
				備考	係員
				(還付條件其)	係員
				還付條件	係員
				成就月日	係員
				保留期間	係員
				昭和 年 月 日	係員



第 號		還付請求書		昭和 年 月 日發行		證券													
收入役	出納係長	審査	保護預番號	出納係	局長	課長	係長	係員	履行照合	記簿	印鑑照合	委任照合	係員	係員	備考	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	
																			但
右還付相成度請求候也		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿	
利		利		利		利		利		利		利		利		利		利	

〔大例一三號〕

第 號		還付請求書		昭和 年 月 日發行		利札											
收入役	出納係長	審査	保護預番號	出納係	局長	課長	係長	係員	記簿	印鑑照合	委任照合	係員	備考	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	
																	但
右還付相成度請求候也		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿		昭和 年 月 日		大阪市長 殿		昭和 年 月 日	
利		利		利		利		利		利		利		利		利	

〔大例一三號〕







電氣局廣告取扱規程

制 定 昭 五、三、三一告示 七一  
最近改正 昭二、三 告示 三三  
本市會ノ議決ヲ經電氣局廣告取扱規程左ノ通相定メ昭和五年四月一日ヨ  
リ之ヲ施行ス

電氣局廣告取扱規程

- 第一條 本市ハ本規程ニ依リ一定ノ料金ヲ徵シテ廣告ノ引受ヲ爲ス
- 第二條 廣告料金ハ前納トス但シ請負契約ニ依ルモノハ其ノ契約ノ條項ニ從フ
- 第三條 廣告ノ意匠、字句及仕様ニ關シテハ本市ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス
- 第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル廣告ハ之ヲ承認セス
  - 一 公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スト認ムルモノ
  - 二 美觀ヲ害スト認ムルモノ
  - 三 他人ニ對シ不快ノ感ヲ與フト認ムルモノ
- 第五條 廣告ヲ掲載スヘキ箇所左ノ如シ
  - 一 電車
  - 二 乗合自動車
  - 三 電車及乗合自動車ノ乗車券
  - 四 電車驛及待合所
  - 五 電柱
  - 六 電氣科學館

第六條 廣告掲載契約期間ハ一年以内トス但シ電柱廣告ニ限リ三年以内トス

第七條 承認ヲ受ケタル廣告ノ權利ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

第八條 市長必要ト認ムルトキハ廣告取扱請負人ヲ定メ廣告ニ關スル一切ノ事項ヲ請負ハシメ又ハ廣告取次人ヲ定メ廣告ノ勸誘並取次ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 廣告料金其ノ他本規程施行ニ關シ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

附 則

大正三年三月三十日市會議決電車内及乗車切符ニ廣告掲載ニ關スル條項、大正四年十二月二十五日市會議決電柱廣告取扱ノ件及大正五年三月二十九日市會議決電柱廣告直接取扱ノ件ハ其ノ效力ヲ失フ

〔大例一三號〕

第十類 防 衛



# 第十類 防衛

## 隣組防空指導要綱

制定 昭一六、一、三〇 告示 四三  
最近改正 昭一八、四 告示 一四五

大阪市隣組防空指導要綱左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 第一章 總則

第一條 本要綱ハ大阪市民ノ組織スル隣組ノ行フベキ防空業務（以下單ニ隣組防空ト稱ス）ニ付其ノ育成指導上必要ナル事項ヲ規定ス

第二條 本要綱ニ隣組ト稱スルハ大阪市町會規程ニ定ムル隣組ヲ謂フ

第二章 指導組織

第三條 隣組防空ノ育成指導ハ市長之ヲ統括ス區内ノ隣組防空ノ育成指導ハ市長ノ定ムル所ニ依リ區長之ヲ實施ス

第四條 隣組ノ防空指導研究協議ノタメ市並區ニ隣組防空指導委員會ヲ設置ス

第五條 市隣組防空指導委員會ハ市長ノ委囑又ハ任命スル左ノ者ヲ以テ組織ス

- 一 委員長 一名
- 一 委員 若干名

大阪市助役

第十類 防衛

〔大例一三號〕

二 副委員長 一名

防衛部長

三 委員 若干名

(一) 中部軍司令部防空主任參謀

(二) 大阪師團司令部防空主任參謀

(三) 大阪警備府防空主務參謀

(四) 大阪府警防課長

(五) 大阪市區長 一名

(六) 大阪市内警察署長 一名

(七) 大阪市内消防署長 一名

(八) 大阪市内町會聯合會長 二名

(九) 大阪市内警防團長 二名

(十) 大阪府救護並防毒指導員 各一名

(十一) 大阪府保健局保健課長 各一名

(十二) 大阪府警防部指導課長並計畫課長

(十三) 大阪府警防部指導課長並計畫課長

(十四) 其他學識經驗アル者

委員ノ任期ハ二年トス但(一)(二)(三)(四)(十一)(十二)(十三)ノ委員ハ此ノ限リニアラズ

第六條 區隣組防空指導委員會ハ市長ノ委囑又ハ任命スル左ノ者ヲ以テ組織ス

- 一 委員長 一名
- 一 委員 若干名



第十類 防衛

二 副委員長 長

市民課長

三 委員

若干名

(一) 区内警察、消防署長

(二) 区内町會聯合會長

(三) 区内警防團長

(四) 区内各警察管區大阪府救護並防毒指導員

(五) 防衛係長

(六) 其他學識經驗アル者

第七條 隣組防空ノ育成並訓練ノ指導ノタメ區ニ區防空指導員、町會ニ隣組防空指導員ヲ置ク

區防空指導員ハ其ノ区内ニ於ケル隣組防空指導員ノ指導ニ當ルモノトシ隣組防空指導員ハソノ町會内ノ隣組防空ノ指導ニ當ルモノトス

區防空指導員ハ左ノ者ヨリ市長之ヲ委嘱又ハ任命ス

(一) 區吏員

(二) 警察署消防署警防主任

(三) 大阪府救護並防毒指導員

(四) 町會聯合會防衛部長

(五) 其他學識經驗アル者

隣組防空指導員ハ左ノ者ヨリ區長之ヲ委嘱ス

(一) 町會會長

(二) 警防團幹部

(三) 町會防護部長

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

(四) 町會役員其他適當ナルモノ

第三章 指導方針

第八條 隣組防空ノ指導項目ハ概テ左ノ如シ

(一) 防空精神ノ涵養ニ關スル事項

(二) 防空知識ノ普及徹底ニ關スル事項

(三) 防空設備資材ノ整備ニ關スル事項

(四) 防空訓練ノ實施ニ關スル事項

(五) 其ノ他防空ニ關シ必要ナル事項

第九條 防空精神ノ涵養ニ關シテハ空襲ノ當初ハ勿論ソノ災害ノ渦中ニアリテ敢闘以テ災害ノ防止輕減ニ從事セントスル自主自衛ノ旺盛ナル意識ト沈勇忍耐ノ氣象トヲ助長強化スルト共ニ自衛防空ノ完遂ハ即チ一面國力扶持ノ重要ナル要素ナルコトヲ知得セシムルヲ主眼トシテ指導スルモノトス

第十條 防空知識ノ普及徹底ニ關シテハ自衛防空完遂ノ爲メ警報傳達、燈火管制、防火、防毒、救護、待避等必要事項ノ修得ニ萬全ヲ期スルト共ニ特ニ空襲ノ實相及防空一般ヲ正識セシムル如ク指導スルモノトス

第十一條 防空設備資材整備ニ關シテハ當該隣組地域内ニ於ケル人員ノ多寡建物ノ狀態水利ノ狀況等防空地理ノ實狀ニ即シテ自衛防空遂行上必要ナルモノニ付其ノ種類用途ヲ考慮シテ各家庭毎ニ或ハ隣組共同シテ整備セシムルモノトス

第十二條 防空訓練ニ際シテハ有事ノ際ニ於ケル迅速圓滑ナル協同動作ト有效適切ナル防護技術トヲ體得セシムルヲ主眼トシテ指導スルモノトス

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

防火改修補助規程

制定昭二八、一、二二 告示一〇

大阪市防火改修補助規程

第一條 本市ハ防火改修ニ要スル費用ヲ負擔スル建物ノ所有者及市長ノ認定シタル防火改修ヲ目的トスル建物所有者ノ組合ニ對シ防空法(以下法ト稱ス)第十六條第一項ノ規定ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本規定ノ定ムル所ニ依リ補助金ヲ交付ス

第二條 防火改修ニ要スル費用ハ市長之ヲ査定シ左ノ各號ニ依リ補助金額ヲ決定ス

一 防火改修規則(以下規則ト稱ス)第二條第一號ノ規定ニ該當スル建物ニ付テハ防火改修ニ要スル費用ノ二分ノ一以内但シ學校、病院、診療所等公共ノ用ニ供スル建物ニ付テハ其ノ三分ノ二以内

二 規則第二條第二號ノ規定ニ該當スル建物ニシテ規則第九條ニ依リ組合ニ於テ施行スル場合ハ防火改修ニ要スル費用ノ三分ノ二以内

第三條 工事施行ニ際シ建物所有者正當ノ事由ナク之ガ完成ヲ遲延シ若ハ本市ノ指示ニ從ハザル爲法第五條ノ三ノ規定ニ依リ市長ニ於テ工事ヲ施行シタル場合ニ於テハ前條補助金ノ二分ノ一以内ヲ減額スルコトアルベシ規則第九條ノ規定ニ依リ街廓毎ニ一郡トシテ工事ヲ施行スル場合建物所有者組合ニ加入セズ單獨施行ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第四條 補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

第十類 防衛

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

補助金ハ改修工事竣工検査完了後之ヲ交付ス但シ市長必要ト認

防火改修補助規程施行細則

制定昭二八、一、二二 告示一一



第十類 防衛

大阪市防火改修補助規程施行細則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市防火改修補助規程施行細則

第一條 大阪市防火改修補助規程(以下規程ト稱ス)第二條ニ定ムル補助ヲ爲スベキ改修費ノ範圍左ノ如シ

一 規程第二條第一號ニ該當スル建物ハ床面積一坪三十圓以內

二 規程第二條第二號ニ該當スル建物ハ要改修面積一坪當十五圓以內

第二條 規程第四條ノ規定ニ依リ補助金ノ一部ニ代ヘ工事材料ヲ交付シタル場合ノ精算ハ購入原價ニ依ル但シ本市ニ於テ工事材料ヲ保管スル場合ノ保管費用並ニ保管中ノ損傷又ハ減耗ニ因リテ生ズル費用ハ通常生ズベキモノニ限り之ヲ算入スルコトアルベシ

第三條 防火改修規則第九條ニ依リ街廓毎ニ一群トシテ工事ヲ施行スル場合ハ建物所有者ハ一又ハ數街廓ヲ單位トシテ防火改修組合(以下組合ト稱ス)ヲ組織スベシ

第四條 前條ノ規定ニ依ル組合ヲ組織シタルトキハ組合長ハ設立届(第一號様式)ニ左ノ書類ヲ添ヘ提出スベシ

一 組合員名簿(第二號様式)

二 組合規約(第三號様式)

三 組合員ノ所有建物ノ配置ヲ示セル圖面

四 其ノ他必要ト認ムル事項

建物ノ占有者又ハ管理人ニシテ建物所有者ノ承諾ヲ得防火改修工事ヲ爲ス者ハ建物所有者ノ委任狀ヲ添付スベシ

第五條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ工事着手前補助申請書(第四號様式)ニ防火改修認可書寫ヲ添ヘ市長ニ提出スベシ

第六條 補助金又ハ工事材料ノ前渡ヲ受ケントスル者ハ補助金前渡申請書(第五號様式)ヲ市長ニ提出スベシ

第七條 市長補助金ノ交付ヲ決定シタルトキハ申請者ニ之ヲ指令ス

第八條 工事ニ着手シタルトキハ工事着手届(第六號様式)ヲ市長ニ提出スベシ

第九條 工事竣工シタルトキハ工事精算書ヲ添ヘ工事竣工届(第六號様式)ヲ提出スベシ

第十條 設計ノ變更ヲ爲サントスルトキハ設計變更申請書(第七號様式)ヲ提出シ市長ノ承認ヲ受ケベシ

第十一條 組合員又ハ組合役員ニ異動アリタルトキハ組合長ハ遲滞ナク建物賣却等ニ因ル異動ノ場合ハ譲受人ノ改修費支辨承諾書ヲ添付スベシ

第十二條 本細則ニ依リ提出スベキ申請書、届書等ハ各三通トス

第一號様式

防火改修組合設立届	署進達印
大阪府知事 殿	住所
組合長	電話 番
	〔府受付印〕
	〔署受付印〕
	〔市受付印〕

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

届出事項	位置	區	町	丁目	自	至	番地
提出日	昭和	年	月	日			

第二號様式

組合員名簿				
種別	住	所	氏名	印
組合長				
幹事				
組合員				

第三號様式

防火改修組合規約

第一條 本組合ハ大阪市防火改修規程施行細則第三條ニ依リ木造建物(鐵骨木造ヲ含ム)ノ防火改修事業ヲ施行スルヲ以テ目的トス

第十類 防衛

第二條 本組合ハ 防火改修組合ト稱ス

第三條 本組合ノ區域左ノ如シ

第四條 本組合ノ事務所ハ之ヲ 大阪市 區 町 丁目 番地 方ニ置ク

第五條 本組合ハ區域内ニ於ケル防火改修ヲ要スル木造建物所有者ヲ以テ組織ス

第六條 組合員ハ各自ノ所有建物改修ニ要スル費用ヲ負擔スルモノトス

第七條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長 一名

幹事 若干名

組合長及幹事ハ組合員タルコトヲ要ス

第八條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合ニ屬スル事務ヲ掌理ス其ノ事務概ネ左ノ如シ

一 防火改修工事ノ設計、工事監督及請負契約ノ締結ニ關スル事項

二 補助金交付ノ申請並ニ受領ニ關スル事項

三 總會ノ招集並ニ決議事項ノ執行ニ關スル事項

四 官公署トノ連絡ニ關スル事項

五 其ノ他防火改修事業遂行ニ必要ナル事項

第九條 幹事ハ組合長ヲ輔佐シ庶務會計ニ從事ス



第十類 防衛

組合長事故アルトキハ豫メ組合長ノ指名シタル幹事其ノ職務ヲ代行ス  
 第十條 組合員ハ組合長ニ對シ防火改修事業ノ施行ニ關スル一切ノ權限ヲ委任スルモノトス

第十一條 本組合ニ總會ヲ置キ組合長之ガ議長トナル  
 總會ノ議決事項左ノ如シ

- 一 役員ノ選任及解任ニ關スル事項
- 二 收支豫算及決算ニ關スル事項
- 三 組合規約ノ改正其ノ他議長ニ於テ重要ト認ムル事項

第十二條 左ニ掲グル事項ニ關シテハ市長ノ指示ヲ受クルモノトス  
 一 改修工事ノ設計並ニ工事監督ニ關スル事項  
 二 請負契約ノ締結ニ關スル事項  
 三 組合員ノ負擔金並ニ其ノ清算ニ關スル事項  
 四 組合規約ノ改正其ノ他改修工事施行ニ關スル重要ナル事項

第十三條 總會ハ組合員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ  
 議事ハ出席組合員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル但シ役員ノ選任及解任ニ關スル事項ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十四條 組合長ハ改修工事竣工シタルトキハ大阪府知事及市長ノ檢査ヲ受クルモノトス  
 第十五條 組合員ハ本事業終了ニ至ル迄区域内所有建物ニ對シ事業ノ施行ヲ阻害スベキ増築、改修又ハ物權ノ設定若ハ移轉ヲ爲サザルモノトス

第十六條 本組合ハ竣工檢査ヲ終ヘ清算事務ヲ完了シタルトキ之ヲ解散ス  
 第四號様式

木造建物防火改修補助申請書

建物ノ所在又ハ組合名	
建物所有者又ハ組合長住所氏名	
改修工事施工者住所氏名	
起工豫定期日	昭和 年 月 日
竣工豫定期日	昭和 年 月 日

右防火改修致度候ニ付大阪市木造建物防火改修補助規程ニ依リ補助金下付相成度關係書類並ニ圖面相添及申請候也

昭和 年 月 日

住所

申請者

第五號様式

防火改修補助金工事材料前渡申請書

建物ノ所在又ハ組合名	
建物所有者又ハ組合長住所氏名	

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第六號様式

工事施行者住所氏名	
工事着手日	
竣工豫定期日	
工事出来形割合	

右改修工事出来形ニ對シ補助金下付相成度工事出来形明細書並ニ補助指令寫相添ヘ及申請候也

昭和 年 月 日

住所

申請者

大阪市長 殿

防火改修工事着手届

大阪府知事 殿	届出人	住所	電話 番
---------	-----	----	------

建物ノ所在又ハ組合名

第十類 防衛

第七號様式

工事施工者住所氏名	
認可年月日	昭和 年 月 日
竣工着手日	昭和 年 月 日
認可番號	
提出日	昭和 年 月 日

〔府受付印〕

〔署受付印〕

〔市受付印〕

防火改修設計變更申請書

設計變更理由	
設計者住所	
位 置	區 町 丁目 番地
認可年月日	昭和 年 月 日
認可番號	
提出日	昭和 年 月 日

大阪府知事 殿

組合長 住所

電話 番



戰時災害保護事務取扱規程

制定昭二八、一一、四 連四一五

戰時災害保護事務取扱規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

戰時災害保護事務取扱規程

第一條 戰時災害保護法(以下法ト稱ス)ニ依ル事務ノ取扱ハ別段ノ定アルモノノ外本規程ニ依ル

第二條 區長戰時災害ニ因リ危害ヲ受ケタル者アルトキハ其ノ狀況ヲ第一號様式ニ依リ市長ニ速報シ、更ニ各被害者ニ付詳細調査ノ上第二號様式一及ビ二ノ調査ヲ提出スベシ

第三條 區長戰時災害ニ因リ危害ヲ受ケタル者アル場合ニ於テ事態急迫ニシテ市長ノ指示ヲ承ケルノ暇ナシト認ムルトキハ假設住宅ノ建設、被服器具ノ給與又ハ貸與、生活必需品ノ給與ヲ除クノ外直ニ救助ニ關シ必要ナル處置ヲ爲スベシ

第四條 戰時災害保護法施行細則(以下細則ト稱ス)第二條第一項ノ規定ニ依リ救助願ハ之ヲ二通提出セシムベシ

第五條 區長救助ニ關シ特ニ必要アリト認ムルトキハ法第七條乃至第十條ニ定ムル職權ノ發動ヲ市長ニ申請スベシ

區長前項ノ職權發動アリタルトキハ市長ノ指示ヲ承ケ法令ノ定ムルトキハ直ニ進達スベシ

コロニ從ヒ市長ノ職權ニ屬スル事務ヲ處理スベシ

第六條 區長救助ヲ終了シタルトキハ第三號様式ニ依リ其ノ狀況ヲ、前條第二項ノ事務ヲ終了シタルトキハ其ノ内容ヲ直ニ市長ニ報告スベシ

第七條 區長細則第十七條第一項ノ規定ニ依リ實費辨償請求書ヲ受理シタルトキハ審査ノ上意見ヲ具シ直ニ市長ニ進達スベシ

第八條 區長細則第七條又ハ第八條ノ規定ニ依リ救助ノ實施ニ從事又ハ協力スル者之ガ爲傷病ヲ受ケ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ直ニ細則第六條第二項ニ定ムル救助從事者臺帳又ハ細則第十條ノ救助協力者臺帳ニ必要事項ヲ記入シタル上本人又ハ其ノ遺族ニ對シ細則第十八條ニ定ムル危害證明書ノ交付方ヲ市長ニ具申スベシ

第九條 區長細則第二十條第一項ノ規定ニ依リ扶助金支給申請書ヲ受理シタルトキハ審査ノ上意見ヲ具シ直ニ市長ニ進達スベシ

第十條 細則第二十一條ノ規定ニ依リ損失補償請求書ハ管理、使用、收用又ハ保管ノ目的タル施設、土地、家屋又ハ物資ノ所在地區長之ヲ受理シ審査ノ上意見ヲ具シ直ニ市長ニ進達スベシ

第十一條 區長必要アリト認ムルトキハ市長ノ指示ヲ承ケ戰時災害保護法施行規則(以下規則ト稱ス)第九條ノ規定ニ依リ救助ノ實施ニ要スル費用及出頭旅費ヲ一時繰替ヲ辨スベシ

第十二條 區長前條第一項ノ規定ニ依リ支拂ヲ爲シタルトキハ直ニ細則第二十四條ニ定ムル計算書及證據書類各正副二通ヲ市長ニ提出スベシ

【大例一三號】

【大例二三號】

第十三條 區長細則第二十五條ノ規定ニ依リ扶助願書ヲ受理シタルトキハ細則第二十六條第一項ニ定ムル扶助調書及戶籍謄本其ノ他所要書類ヲ添附シ直ニ市長ニ進達スベシ

第十四條 區長一回ノ費用二十圓ヲ超ユル處置、手術其ノ他ノ治療ヲ受ケントスル者又ハ看護若ハ移送ヲ受ケントスル者アルトキハ第四號様式ノ承認願ヲ提出セシムベシ但シ急迫ノ事情アルトキハ其ノ事情止ミタル後遅滞ナク願書ヲ提出セシムベシ

第十五條 區長細則第三十三條第二項ノ規定ニ依リ埋葬費支給願書ヲ受理シタルトキハ審査ノ上直ニ市長ニ進達スベシ

第十六條 區長細則第三十四條ニ定ムル扶助臺帳ヲ備ヘ記載事項ニ異動アル毎ニ加除、訂正スベシ

第十七條 區長細則第三十五條ノ規定ニ依リ届出アリタルトキ又ハ届出

第一號様式

戰時災害被害狀況報告書

第十類 防衛

ナキ場合ト雖モ異動ノ事實ヲ知りタルトキ其ノ他扶助ノ廢止若ハ停止又ハ扶助ノ程度若ハ方法ニ變更ノ必要アリト認ムルトキハ第七號様式ニ依リ市長ニ報告スベシ

第十八條 區長細則第三十八條第一項ノ規定ニ依リ給與金支給申請書ヲ受理シタルトキハ戰時災害保護法施行令(以下令ト稱ス)第九條規則第十四條及同第十八條ニ該當ノ有無ヲ調査シ支給ノ適否ニ關スル意見ヲ具シ第八號様式ニ依リ直ニ市長ニ進達スベシ

第十九條 區長細則第四十條第一項ノ規定ニ依リ給與金支給申請書ヲ受理シタルトキハ令第十條及規則第十六條ニ該當ノ有無ヲ調査シ支給ノ適否ニ關スル意見ヲ具シ第九號様式ニ依リ直ニ市長ニ進達スベシ

第二十條 區長細則第四十三條第一項ノ規定ニ依リ給與金支給申請書ヲ受理シタルトキハ令第十一條、規則第十七條及同第十八條ニ該當ノ有無ヲ調査シ支給ノ適否ニ關スル意見ヲ具シ第十號様式ニ依リ直ニ市長ニ進達スベシ

第二十一條 區長細則第四十五條第一項ノ規定ニ依リ加給申請書ヲ受理シタルトキハ審査ノ上意見ヲ具シ直ニ市長ニ進達スベシ

第二十二條 區長細則第四十六條ノ規定ニ依リ證明書交付申請書ヲ提出アリタルトキハ審査ノ上意見ヲ具シ第十一號様式ニ依リ直ニ市長ニ進達スベシ











第十類 防衛  
第四號様式

一回ノ費用二十圓ヲ超ユル處置手術承認願  
看 護 又 ハ 移 送 承 認 願

初診年月日	醫師	又	ハ	産	ノ	意	見
處置又ハ手術ノ種類	看護ヲ要スル日數	移送年月日	移送區間	移送ノ方法	費用見積額	傷病名	診所産院所在地 醫師産婆氏名印
處置手術料	看護料	移送料	計				

右及御願候也  
年 月 日

大阪市長 殿

第五號様式  
第 號

承認相成リタリ  
月 日

附願出ニ係ル

被扶助者氏名

ノ件

右通知ス

年 月 日

第六號様式

住 所

被扶助者氏名

大阪市長 殿

區長

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

戰時災害保護法第十九條ニ依ル埋葬報告

死者	本籍	氏名
死亡當時ノ住所	危重ヲ受ケタル者トシテノ	
死亡年月日	續柄	埋葬年月日
生前ニ於ケル扶助ノ種類	同上許可年月日及指令番號	同上扶助開始年月日
備考	何々	金 圓 錢也
埋葬費	金 圓 錢也	内譯

右及報告候也

年 月 日

大阪市長 殿

大阪市長 殿

區長

第七號様式

戰時災害保護法ニ依ル扶助異動報告

被扶助者	氏名	住所
危重ヲ受テ扶助許可異動事項(扶助ノ廢止ケタルモ年月日及停止又ハ變更ヲ要スルノ氏名指令番號トキハ其ノ理由)	同上ニ對スル意見	

第十類 防衛

右及報告候也

年 月 日

大阪市長 殿

大阪市長 殿

區長

第八號様式

戰時災害保護法第二十二條ニ依ル給與金支給副申書

現住所	申請者氏名
給與金ノ種類	申請者遺族ナル場合ハ被害者トシテノ續柄
令第九條ニ該當スル事項	
規則第十四條ニ該當スル事項	
規則第十八條ニ該當スル事項	
申請者令第十五條、第十六條、第十七條ニ該當スルトキハ其ノ事實	
支給ノ適否ニ關スル意見	
其ノ他參考トナルベキ事項	

別紙申請書右ノ通及進達候也



第十類 防衛

年月日

大阪市長 殿

大阪市

區長

第九號様式

戰時災害保護法第二十三條ニ依ル給與金支給副申書

申請者氏名	家屋臺帳ニ登録セル賃貸價	所有者ノ遺族ヨリ申請スル場合ハ所有者トノ續柄
	住宅	減失又ハ毀損程度
居住ノ用ニ供スル舟	專門家ノ意見ヲ徵シテ認定セル價格	減失又ハ毀損ノ程度
	家財	減失又ハ毀損ノ程度
世帯構成員	見積價格	摘要
	減失又ハ毀損ノ程度	
令第十條及規則第十六條ニ該當ノ有無	令第十條ニ該當スル事項	
支給ノ適否ニ關スル意見	規則第十七條ニ該當スル事項	
其ノ他參考トナルベキ事項	規則第十八條ニ該當スル事項	

別紙申請書右ノ通及進達候也

大阪市

區長

備考 大阪市長 殿

- 一 家屋臺帳ニ登録セラレザル住宅ニ付テハ類似ノ住宅ノ家屋臺帳ニ登録セラレタル賃貸價格ニ比準シ其ノ住宅ノ情況ニ應ジテ定メタル賃貸價格ヲ記入スルコト
- 二 同一棟内ニ住宅及工場又ハ店舗ヲ存シ其ノ區分認定困難ナルモノニ在リテモ其ノ住宅ノ部分ニ就テノミ給與金ノ支給アルベキニ付調査ニ當リ特ニ留意スルト共ニ摘要ニ右ノ事實及ビ認定理由ヲ詳記スルコト

第十號様式

戰時災害保護法第二十四條ニ依ル給與金支給副申書

現住所	申請者氏名
給與金ノ種類	被害者以外ヨリノ申請ニ係ル時ハ被害者トノ續柄
令第十條ニ該當スル事項	
規則第十七條ニ該當スル事項	
規則第十八條ニ該當スル事項	
申請者令第十五條、第十六條、第十七條ニ該當スルトキハソノ事實	
支給ノ適否ニ關スル意見	
其ノ他參考トナルベキ事項	

別紙申請書右ノ通及進達候也

〔大例一三號〕

年月日

大阪市長 殿

大阪市

區長

第十一號様式

戰時災害ニ依ル危害證明書交付申請書進達ノ件

現住所	申請者遺族ナル場合ハ被害者トノ續柄
申請者氏名	
申請書記載事項ノ確否乃至交付ノ要否ニ關スル意見	
其他參考トナルベキ事項	

別紙申請書右ノ通及進達候也

年月日

大阪市長 殿

大阪市

區長

公衛防護團規程

制定 昭一五、九、二〇 通四一九 最近改正 昭一八、一〇、一三 通三五六

大阪市公衛防護團規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市公衛防護團規程

第十類 防衛

〔大例一三號〕

- 第一條 防空ノ實施其ノ他非常變災ニ際シ市長ノ指定スル聯合又ハ事業所ヲ防護スル爲當該各聯合又ハ事業所ニ防護團ヲ設置ス
- 第二條 防護團ノ名稱ハ當該聯合又ハ事業所名ヲ冠ス
- 第三條 防護團ノ指導、育成ハ防衛部長之ヲ行フ
- 第四條 防護團ニ團長、副團長及必要ノ團員ヲ置ク  
團長及副團長ハ市長、團員ハ所屬長之ヲ命ス  
本團防護團ニ於ケル團員ハ團長總務局長ト協議ノ上所屬長ノ供出スベキ員數ヲ決定シ所屬長ノ推薦ニ依リ團長之ヲ命ズ天滿分聯合及水道局聯合防護團ニ於ケル團員ニ付亦同ジ
- 第五條 團長ハ防護團ノ業務ヲ統理シ團員ヲ指揮統轄ス副團長ハ團長ヲ補佐シ團長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
- 第六條 防護團ハ其ノ規模ノ大小ニ應ジ左ノ班ノ全部又ハ一部若ハ數個ノ班ヲ合併シタル班ヲ設置スヘシ  
庶務班  
警備班  
防火班  
救護班
- 第七條 班ニ班長ヲ置キ團員中ヨリ團長之ヲ命ス  
班長ハ上司ノ命ヲ承ケ班務ヲ掌理シ所屬員ヲ指揮監督ス
- 第八條 各班ノ任務左ノ如シ  
一 團ノ編成及各班ノ統制ニ關スル事項  
二 機材物資ノ管理ニ關スル事項



第十類 防衛

- 三 團員ノ召集、服務及給養ニ關スル事項
- 四 防護計畫及團員ノ教育訓練計畫ニ關スル事項
- 五 防護實施連絡ニ關スル事項
- 六 記録ノ作成其ノ他通信連絡ニ關スル事項
- 七 他ノ班ノ主管ニ屬セサル事項

警備班

- 一 警報、命令及情報ノ傳達ニ關スル事項
- 二 防護監視並構内ノ警備ニ關スル事項
- 三 燈火管制ニ關スル事項
- 四 待避ニ關スル事項
- 五 重要物件ノ保全ニ關スル事項

防火班

- 一 火災防止ニ關スル事項
- 二 消火ニ關スル事項

救護班

- 一 毒瓦斯檢知ニ關スル事項
- 二 消毒、除毒ニ關スル事項
- 三 傷病死者ノ應急手當、救護及收容ニ關スル事項
- 第九條 團長ハ團ノ編成並團員ノ非常召集計畫及防護計畫ヲ定メ毎年三月三十一日迄ニ防衛部長ニ報告スヘシ
- 第十條 防護團ニ必要ナル細則ハ防衛部長ニ合議ノ上團長之ヲ定ム細則ヲ改廢セントスルトキ亦同シ
- 第十一條 緊急ヲ要スル場合ヲ除クノ外防護團ノ業務實施ノ開始及終止

ハ防衛部長之ヲ命ス  
 第十二條 防衛部長ハ團長ニ對シ團ノ防護計畫ノ全部又ハ一部ニ付其ノ訓練ヲ命スルコトアルヘシ  
 第十三條 本規程ニ依ル防護團ノ設置ナキ廳舎又ハ事業所ニ付テハ之ヲ管理スル局、部長各其ノ所屬員ヲシテ防護ノ處置ヲ講セシムヘシ  
 第十四條 本規程ニ依リ難キ廳舎又ハ事業所ノ防護ニ關シテハ防衛部長別ニ之ヲ定ム

公衛防護團資材管理規程

制定 昭二六、一一、二三 第五〇〇

大阪市公衛防護團資材管理規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 大阪市公衛防護團資材管理規程

- 第一條 本規程ニ於テ資材ト稱スルハ本市防空計畫ニ基キ本市公衛防護團(以下單ニ團ト稱ス)ニ配備セラレタル防空用資材(團ニ交付セラレタル經費ニ依リ整備シタルモノヲ含ム)ヲ謂フ
- 第二條 團長ハ資材ノ保管及受渡ニ關スル事務ヲ行ハシムル爲資材取扱主擔者ヲ定ムヘシ
- 團長資材取扱主擔者ヲ任命シタルトキハ其ノ職氏名ヲ市民局物品出納吏(以下單ニ物品出納吏ト稱ス)ニ通知スヘシ其ノ異動アリタルトキ亦同シ
- 第三條 資材ノ受渡ハ證憑書類ニ依リ之ヲ爲スヘシ
- 第四條 資材ノ交付ヲ受ケタル團員ハ常ニ其ノ手ヲ實施シテ資材ノ機能ヲ保全シ有事ニ於ケル使用ニ支障ナキヲ期スヘシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

昭和 年 月 日

何防護團資材取扱主擔者

職氏名 印

市民局物品出納吏 殿

第二號様式

種別	資材ノ使用ノ年月日	使用ノ備付數量	使用數量	殘存數量	備考
----	-----------	---------	------	------	----

本團保管ニ係ル資材右ノ通使用致候條此段及報告候也

昭和 年 月 日

何防護團資材取扱主擔者

職氏名 印

市民局物品出納吏 殿

第三號様式

種別	資材ノ性能用途	數量	備付年月日	檢査結果	備考
----	---------	----	-------	------	----

本團ニ於ケル資材整備ノ狀況右ノ通ニ有之候條此段及報告候也

昭和 年 月 日

何防護團長 氏

名印

大阪市長 殿

第十類 防衛

種別	資材ノ故障(毀損)狀況	故障(毀損)發生ノ年月日	故障(毀損)發生ノ時ノ取扱者	發見ノ時ノ取扱者	備考
----	-------------	--------------	----------------	----------	----

本團保管ニ係ル資材右ノ通故障(毀損)致候條此段及報告候也

第五條 團員資材ニ故障又ハ毀損箇所ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ旨資材取扱主擔者ニ申出ツヘシ

資材取扱主擔者前項ノ申出アリタルトキハ之ヲ修理ヲ行ヒ、修理不適當又ハ不能ト認ムルモノニ付テハ遲滞ナク第一號様式ニ依リ其ノ旨物品出納吏ニ報告シ其ノ指示ヲ受クヘシ

第六條 不用資材又ハ毀損ノ爲使用ニ耐ヘサル資材ノ處分及資材保管ノ責任ニ關シテハ物品會計規程第十八條第一項、第十九條第一項、第二十一條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス

第七條 現品配備ノ消耗品ニシテ使用シタルモノアルトキハ資材取扱主擔者ハ其ノ都度第二號様式ニ依リ物品出納吏ニ之ヲ報告スヘシ但シ時宜ニ依リ數回分ヲ取纏メ一括報告スルコトヲ得

第八條 資材取扱主擔者ハ資材臺帳ヲ備ヘ資材整備ノ狀況ヲ明ニスヘシ

第九條 團長ハ毎年九月末日現在ヲ以テ資材整備ノ狀況ヲ檢査シ、第三號様式ニ依リ其ノ結果ヲ市長ニ報告スヘシ

第十條 市長ハ必要ニ應シ吏員ヲシテ資材管理ノ狀況ヲ檢査セシムルコトアルヘシ

第十一條 資材ノ管理ニ關シテハ本規程ニ依ルノ外市長別ニ指示スルコトアルヘシ

第一號様式



第十一類 教 育



# 第十一類 教育

## 第一章 校園教育

### 第一節 學校及幼稚園

#### 小學校專科教員及補助教員配置標準ニ關スル規定

制定 大正二、二、一教乙 八五  
最近改正 昭一三、九 教乙四一八一

一 小學校專科教員、補助教員配置標準左ノ通相定ム

- 專科教員
  - 尋常科 四學年以上ノ學級數六以上ニ對シ配置ス
    - 六 學級乃至十三學級 一人
    - 十四學級乃至十八學級 二人
    - 十九學級乃至二十四學級 三人
    - 二十五學級以上 四人
  - 高等科
    - 一 學級 半人
  - 二 學級及 三學級 一人(兼務者一ヲ以テ之ニ充ツルコトアルヘシ)
  - 四 學級及 五學級 一人半以內
- 第十一類 教育 第一章 校園教育

- 六 學級及 七學級 二人以內
- 八 學級 二人半以內
- 九 學級及 十學級 三人以內
- 十一學級 三人半以內
- 十二學級及 十三學級 四人以內
- 十四學級 四人半以內
- 十五學級及 十六學級 五人以內
- 十七學級 五人半以內
- 十八學級及 十九學級 六人以內
- 二十學級 六人半以內
- 二十一學級乃至二十三學級 七人以內
- 二十四學級 七人半以內
- 二十五學級及二十六學級 八人以內

#### ○補助教員

各學校 一人

但シ特別ノ事情ニ依リ必要不得已ト認ムルトキハ更ニ一名ヲ増スコトアルヘシ

- 二 各學校ニ於ケル專科定員數、補助定員數ハ每年度始ニ於テ之ヲ指定ス
- 三 各學校專科定員數、補助定員數ハ其ノ定員合計數ノ範圍内ニ於テハ相互ニ増減スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ市ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス
- 四 本規定ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔大例一三號〕











一 青年學校

- 一 參加生徒數
  - 六十人以下 一人又ハ二人
  - 六十一人以上百二十人以下 二人又ハ三人
  - 百二十一人以上二百四十人以下 三人又ハ四人
  - 二百四十一人以上 四人又ハ五人
- 二 參加生徒數
  - 必要アルトキハ右定員ノ外學校長自ラ出場シ全體ノ指揮監督ニ當ル
  - ヘシ尙野外體育訓練實施ニ當リテハ職員ノ外附添員トシテ校醫、使
  - 丁ヲ配置スルコトヲ得
- 三 小學校、幼稚園
  - 一 學級又ハ一組 一人又ハ二人
  - 職員ノ外附添員トシテ校醫、衛生婦及使丁ヲ配置スヘシ

第六條 行事ニ關スル費用ハ生徒、兒童若ハ園兒又ハ其ノ保護者ヨリ徵收スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 青年學校、小學校幼稚園ニ於テ前項但書ノ規定ニ依リ徵收シ得ヘキ費用左ノ如シ
  - 一 青年學校 一人五十錢以內
  - 二 小學校、幼稚園
    - イ、校外教授、園外保育 一入十二錢以內
    - 尋常科第三學年以下ノ兒童又ハ園兒 一入三十五錢以內
    - 尋常科第四學年以上ノ兒童 一入八十錢以內
    - 高等科兒童 一入二圓以內
- 二 修學旅行 一入二圓以內

第七條 小學校ニ於ケル校外教授、幼稚園ニ於ケル園外保育ノ實施ニ當リテハ特ニ左ノ事項ヲ遵守シ教授及監護上遺漏ナキヲ期スヘシ

- 一 豫メ教授事項、監護方法其ノ他必要ナル事項ノ準備ヲ爲シ必要ニ應ジ實地調査ヲ爲スコト
- 二 目的地ノ選定、一團トシテ引率スヘキ兒童又ハ園兒ノ數及監護職員數ノ決定ニ付キテハ兒童又ハ園兒ノ體力、土地ノ狀況、經費其ノ他管理上必要ナル事項ヲ考慮スルコト
- 三 校外教授及園外保育ノ實施ニ際シ校外ニアル時間ハ日出前又ハ日没後ニ互ラサルコト
- 四 質素ヲ旨トシ規律、公德、忍耐其ノ他諸德ノ涵養ニ力メ衛生ニ注意スルコト
- 第八條 青年學校ニ於ケル見學、野外教練又ハ野外體育訓練トシテ實施セル教授及訓練ヲ當該生徒ノ教授及訓練時數ニ算入セントスルコトキハ青年學校ノ教授及訓練ト認メラルル時間ニ限ルモノトス
- 第九條 行事ヲ實施セントスルコトキハ校長又ハ團長ニ於テ別記様式ニ依ル届書又ハ承認申請書ヲ實施ノ日前七日目迄ニ提出スヘシ
- 第十條 行事ノ實施ニ當リ豫定ヲ變更シ又ハ事故アリタルトキハ直ニ報告書ヲ提出スヘシ其ノ急ヲ要スル場合ハ先以テ電話ニテ報告スヘシ
- 第十一條 小學校ニ於テ修學旅行ヲ實施シタルトキハ實施後三日以內ニ其ノ狀ヲ府知事(市長經由)及市長ニ報告スヘシ
- 第十二條 中等學校ニ於ケル行事實施ニ關シ實施スヘキ回数、配置スヘキ監護職員及第六條第一項但書ノ規定ニ依リ徵收シ得ヘキ費用ノ範圍ハ當該學校長ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ
- 第十三條 特別ノ事情ニ依リ本規程ニ依リ難キ事由アルトキハ實施ノ

〔大例一三號〕

日前七日目迄ニ市長ノ承認ヲ受クヘシ  
別記様式

第一例(中等學校)

野外教練  
校外教授  
修學旅行  
夏季施設  
實施届(又ハ承認申請書)

年月日

大阪市立 學校長 氏

名印

大阪市長 殿

左記ニ依リ 實施致度候間及御届候也(御承認相成度申請候也)

- 一 實施ノ趣旨、目的
- 二 目的地及宿泊地
- 三 順路(往路歸路別)
- 四 出發歸校ノ日時
- 五 在籍生徒數並參加生徒豫定數(學年別)及不参加者ノ處置
- 六 監護職員氏名
- 七 經費總額及費途並出處
- 八 設備ノ狀況(夏季施設ニ限ル)
- 九 其ノ他必要ト認ムル事項

第二例(青年學校)

見學  
野外教練  
實施届  
見學又ハ野外教練ノ何レカ一方ノミヲ實施スル場合ハ不要ノ文字ヲ抹消スルコト

年月日

大阪市立 青年學校長 氏

名印

大阪市長 殿

第十一類 教育 第一章 校園教育

左記ニ依リ 實施致度候間及御届候也

- 一 目的地
- 二 參加生徒豫定數

普通科	本科	科	專修科	計
-----	----	---	-----	---

三 順路

往路	歸路
----	----

四 出發及歸校時刻

出發	歸校
月 日 時 分	月 日 時 分

五 見學及野外教練要項並訓練算入時數

科	民	公	身	修
算入時數	算入時數	算入時數	算入時數	算入時數
時間	時間	時間	時間	時間
分	分	分	分	分
科	學	通	普	
算入時數	算入時數	算入時數	算入時數	算入時數
時間	時間	時間	時間	時間
分	分	分	分	分
科	業	職		
算入時數	算入時數	算入時數	算入時數	算入時數
時間	時間	時間	時間	時間
分	分	分	分	分
科	業	職	教	
算入時數	算入時數	算入時數	算入時數	算入時數
時間	時間	時間	時間	時間
分	分	分	分	分

六 監護職員數並手當額



第十一類 教育 第一章 校園教育

學 校 長	名	圓	錢
專任教員又ハ本市立 ノ者	名	圓	錢
其ノ他ノ者	名	圓	錢
計 金	圓	錢	

七 費用見込金(本欄ニハ手當額ヲ合メサルコト)

市 費	生徒ヨリ徴收額 (一人宛 錢)	後援會其ノ他ヨ リ支出額
途 費	途 費	途 費
計 圓 錢	計 圓 錢	計 圓 錢
總 計 金	圓	錢

八 其ノ他

(備考)

- 一 生徒ヨリ費用ヲ徴收スルトキハ其ノ理由ヲ記スヘシ
- 二 第二條但書及第十三條ノ規定ニ依リ承認ヲ要スル場合ハ承認申請書ヲ添付スヘシ

第二例ノ二(青年學校)

野外體育訓練實施屆

年 月 日

大阪市長 殿 大阪市立 青年學校長 氏

名印

左記ニ依リ野外體育訓練實施致候間及御届候也

- 一 訓練ノ種類
- 二 實施ノ趣旨、目的
- 三 實施ノ場所又ハ目的地
- 四 參加生徒豫定數

普 通 科 本	科 專 修 科	計
---------	---------	---

五 順 路

往 路	
歸 路	

六 出發及歸校時刻

出 發	
歸 校	

七 教授及訓練ニ算入スヘキ科目並時數

- 八 監護職員數
- 職員 人
- 校醫 人
- 使丁 人

計 人 九費用金 圓 錢

費 用 別 金 額 費 途	市 費	生徒ヨリ徴收額 (一人宛 錢)	後援會其ノ他ヨリ支 出額
計			

一〇 其ノ他

(備考)

- 一 生徒ヨリ費用ヲ徴收スルトキ又ハ校醫、使丁ノ附添ヲ必要ト  
スルトキハ其ノ理由ヲ記スヘシ
- 二 第二條但書及第十三條ノ規定ニ依リ承認ヲ要スル場合ハ承認  
申請書ヲ添付スヘシ

第三例(小學校)

神宮參拜旅行承認申請書

左記ニ依リ神宮參拜旅行致度候間御承認相成度申請候也

年 月 日

大阪市長 殿 大阪市立 小學校長 氏

名印

第十二類 教育 第一章 校園教育

一 學年學級數及兒童數 第 學年男 簡學級 人

計 女 簡學級 人

二 出發及歸校時刻 出發 月 日 時 分 歸校 月 日 時 分

三 順路 教員男 人 校醫 人 衛生婦 人

女 人 總指揮者

外ニ使丁 人

五 費用見込 總金額金 圓 錢

六 右出途 市 費金 圓 錢

兒童若ハ保護者ヨリ徴收額金 圓 錢 (一人宛 圓 錢)

其ノ他金 圓 錢 ( ヨリ)

七 其ノ他

(備考) 兒童ヨリ費用ヲ徴收スルトキハ其ノ理由ヲ記スヘシ

第四例(小學校、幼稚園)

校外教授 實施屆  
園外保育

年 月 日

大阪市長 殿 大阪市立 小學校長 氏

名印



大阪市長 殿

左記ニ依リ 實施致度候間及御届候也

一 目的地

二 學年學級(又ハ組)數、兒童(又ハ園兒)數

科 學年 男 女 男 女 男 女  
計 組 組 組 組 組 組  
簡學級 簡學級 簡學級 簡學級 簡學級 簡學級  
人 人 人 人 人 人

三 順路

四 出發、歸校時刻 出發 月 日 午前 午後 時 分  
歸校 月 日 午前 午後 時 分

五 監護教員附添人

教員 女 男 人 人  
校園醫、衛生婦 人  
使丁 人  
計 人

六 費用 圓 錢

內 課

要 項	員 數	一人當	計	備 考
市電 ヨリ往復 マテ片道	兒童(園兒) 附添			内 人無賃
汽車 ヨリ往復 マテ片道	兒童(園兒) 附添			内 人無賃
電車 ヨリ往復 マテ片道	兒童(園兒) 附添			内 人無賃

附(數同分)費用請求ノ場合モ任譯書ハ一枚ニ總額記入)申請ノコト

三 兒童又ハ園兒ヨリ費用ヲ徵收スルトキハ其ノ理由ヲ記スルコト

小學校、令中校舍使用ニ關スル件

制定 昭二、一〇、六數乙三三九二  
最近改正 昭六、六 數乙一三六九

今般標記ノ件ニ關シ大阪府學務部長ヨリ別紙ノ通牒有之候ニ就テハ本市、小學校使用、內、規制定相成管ニ有之候ヘ共當分ノ内ハ左記ニ依リ御取扱相成様致度候條右御了知ノ上貴區内各、小學校、長ニ御通達相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 小學校ノ設備ヲ目的外ニ使用セムトスルトキハ使用當日ヲ除キ七日以前ニ願出ツルニアラサレハ之ヲ承認スルコトヲ得ス
  - 二 使用者ハ市長宛ノ別記願書ヲ使用當該學校長ニ提出スルモノトス
  - 三 前號願出アリタルトキハ學校長ハ之ニ意見ヲ具シ直チニ市役所教育部ニ進達スルモノトス
  - 四 使用者ハ電燈及電話ヲ使用シタルトキハ其ノ實費ヲ學校長ニ前納スルモノトス
- 實費徵收標準額ハ本年八月二十四日付教乙第一、八、一九號議員選舉演說會場トシテ市立學校設備使用許可ニ關スル件ノ通牒標準ニヨルモノトス

市 費	其ノ他	兒童(園兒)又ハ保護者徵收金	計	茶 代	同 (使丁)	附添手當(職員)	支拂場所ヲ記スヘシ

七 教授要項

八 其ノ他

(備考)

- 一 校園外教授費内譯員數欄「附添」ニハ監護教員、校園醫、衛生婦、使丁ノ總數ヲ擧グルコト
- 二 資金前渡ヲ受ケントスル場合ハ受取ルヘキ日ヨリ一週間前ニ必ス教育部ニ到達スル日取ヲ以テ校園外教授届ニ任譯書添

〔大例一三號〕

五 學校長ニ於テ徵收シタル徵收金ハ左記ニ依リ夫々處理スルモノトス

- 1、電燈料ハ其ノ使用當月ノ電燈料ヲ支拂スルマテ保管シ置キ支拂スヘキ校費總額中ヨリ徵收金額ヲ控除シテ拂込ミヲナスモノトス
- 2、電話度數料ハ其ノ使用期ノ電話料ヲ支拂スルマテ保管シ置キ支拂スヘキ校費總額中ヨリ徵收金額ヲ控除シテ拂込ミヲナスモノトス

六 實費徵收金ノ出納ニ關スル書類ハ總テ整理保存スルモノトス

(別記)

小學校設備使用願  
年 月 日

使用者住所

團體代表者 氏

名 附

左記ニ依リ何々小學校設備使用致度候條御承認被下度此段及御願候也

記

- 一 使用箇所
- 二 使用月日時
- 三 使用目的(具體的記載ヲ要ス)
- 四 行 事(演題ノ次ニ論旨ノ記載ヲ要ス)
- 五 會衆ノ種類及見込人員
- 六 會費及入場料等ノ有無
- 七 火氣取締方法



第十一類 教育 第一章 校園教育

- 八 臨時設備ノ要否及費用負擔方法
- 九 設備損傷ノ際ニ於ケル賠償方法
- 十 演說講演其ノ他行事中他ヲ攻撃糺彈スルコト絕對ニ無之コトヲ誓約ス萬一本誓約ニ背クノ事實アリト認メラレ爾後其ノ團體ニ對シ校舎使用ヲ許可セラレサル場合アルモ毛頭異議無之旨記載セシムルコト
- 十一 會場整理及後始末方法

(別紙省略)

小學校ヲ中心トスル社會教育事業ノ爲ニ校舎使用ノ件

制定 昭三、一〇、一四教乙二五二六

本月六日付教乙第二、三九二號小學校令中校舎使用ニ關スル件通牒致候處其學校教育會並ニ青年團、在郷軍人會及學校中心社會教化ニ於テ使用スル場合ハ從前ノ例ニ依リ學校長限リ之ヲ取扱ヒ可然候條右御了知ノ上貴區内各小學校長ニ御通達相成度此段及通牒候也

小學校舎目的外使用ニ關スル件

制定 昭三、一、二五教乙二三九

選舉法ニ依リ小學校舎ヲ使用シ得ル期間中ハ客年十月六日教乙第二、三九二號通牒ニ係ル小學校舎使用ノ件ハ之ヲ許可セサル事ト相成候ニ付御了知ノ上可然御取計相成度候也

道テ客年十月十四日教乙第二五二六號通牒ニ係ル校長限リニ於テ許可ノモノハ此ノ限リニ無之候條爲念申添候

郊外學園學則

制定 昭一四、六、八告示三四七  
最近改正 昭一六、一〇、告示五二九

大阪市立郊外學園學則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 總則

- 第一條 郊外學園(以下學園ト稱ス)ハ大阪市立國民學校初等科ニ於ケル身體虛弱ナル兒童ヲ收容シ其ノ體質ヲ改善シ健康ノ増進ヲ圖ルト共ニ國民學校ニ準スル課程ヲ履修セシムルヲ以テ目的トス
- 第二條 學園ノ前項ノ規定ニ依ル虛弱兒童ヲ收容スルノ外本市立國民學校ノ郊外教育ノ際之ヲ使用スルコトアルヘシ
- 第三條 學園ノ在園期間ハ三月トス
- 第四條 學園ノ兒童定員左ノ如シ  
六甲郊外學園 凡百五十名  
助松郊外學園 凡二百五十名  
長谷川郊外學園 凡百 名  
淡路郊外學園 凡百 名
- 第五條 本學則施行ニ關シ必要ナル事項ハ教育局長之ヲ定ム
- 第六條 課程及每週教授時數ハ國民學校令及國民學校令施行規則ノ定ム

[大例一三號]

[大例一三號]

ル所ニ準據ス

第六條 削除

第三章 學期ノ區分及授業ヲ行ハサル日

- 第七條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第八條 學年ヲ分チテ左ノ四學期トス  
第一學期 四月一日ヨリ六月三十日迄  
第二學期 七月一日ヨリ九月三十日迄  
第三學期 十月一日ヨリ十二月三十一日迄  
第四學期 一月一日ヨリ三月三十一日迄
- 第九條 授業ヲ行ハサル日ハ左ノ如シ  
一 日 曜 日  
二 祭日、祝日及一月一日ヨリ一月七日迄  
三 學園創立記念日  
四 各學期末五日間  
五 鎮守例祭日  
六 市長ノ承認ヲ經タル臨時休業日

第四章 入園、退園

- 第十條 入園ハ每學期ノ始メトス
- 第十一條 入園スルコトヲ得ル者ハ本市ニ居住シ左ノ各號ニ該當スル者トス  
一 國民學校初等科第三學年以上ノ兒童ニシテ特ニ健康増進ノ必要アル者  
二 傳染シ易キ疾病ヲ有セサル者

第十一類 教育 第一章 校園教育

三 性行、行狀等ニ付一般兒童ニ惡影響ヲ及ボス虞ナキ者

第十二條 入園志願者ハ保護者ヨリ所定ノ願書ニ所屬學校長ノ學業成績證明書及家庭狀況調査書並所屬學校醫ノ身體檢診調書ヲ添ヘ所屬學校長ヲ經テ市長ニ願出ツヘシ

第十三條 兒童ノ保護者在園期間ノ中途ニ於テ退園セシメントスルトキハ理由ヲ具シ所屬學校長ヲ經テ市長ニ届出スヘシ

第十四條 兒童ハ每學期末ニ於テ所屬學校ニ復歸セシムルモノトス

第十五條 學園ニ宿舍ヲ設置シ兒童全部ヲ收容シテ訓育スルモノトス

第十六條 授業料ハ之ヲ徴收セス

第十七條 兒童寄宿ノ爲ニ要スル實費ハ兒童ノ保護者ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス但シ家庭ノ事情ニ依リ其ノ一部又ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第十八條 操行善良ニシテ學業成績優良ナル者及健康生活實踐成績顯著ナル者ニハ賞狀及賞品ヲ授與スルコトアルヘシ

第十九條 學園長ハ教育上必要ト認ムルトキハ兒童ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得但シ體罰ヲ加フルコトヲ得ス

附則  
昭和三年大阪市告示第二百六十二號大阪市立六甲郊外學園學則ハ之ヲ廢止ス



直轄學校授業料徴收ニ關スル件

制 定 大二、九、二七訓庶五四

直轄學校授業料徴收ニ關スル件
其ノ月(其ノ期)分ノ授業料ヲ其ノ納付スヘキ月ノ末日迄ニ納付セサル者
アルトキハ學校長ニ於テ本職ノ名義ヲ以テ一週間以内ノ納期ヲ指定シタ
ル郵便振替貯金ニ依ル納額告知書ヲ調製シ之ヲ納入ニ交付スヘシ
納額告知書ヲ交付シタル當月ニ於テ仍納付セサル者アルトキハ直ニ其ノ
金額納期及納入ノ住所氏名ヲ本職ニ報告スヘシ報告後二週間内ニ納付ス
ル者アリタルトキ亦同シ

本訓令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス大正二年三月訓令庶第一六
號高等商業學校其他授業料及受験料徴收ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

第二節 獎學

兒童就學獎勵規程

制 定 大十四、三、三一告示五九ノ二

本市會ノ議決ヲ經府知事ノ認可ヲ得大阪府兒童就學獎勵規程左記ノ通相
定ム

大阪府兒童就學獎勵規程

第一條 本市ハ兒童就學獎勵ノ爲メ別段ノ定メアルモノノ外本規程ニヨ
リ補助金其ノ他ノ經費ノ支出ヲ爲スモノトス

第二條 本規程ニヨリ支出スル經費ノ總額ハ毎年市ノ豫算ヲ以テ之ヲ定
ム

第三條 前條ノ爲メニ要スル歳入ハ左記收入ヲ基本トシ其一部ハ市費ヲ
以テ補充スルモノトス

一 大阪府兒童就學獎勵規程ニ基ク交付金

一 指定寄付金

第四條 本規程ニヨリ支出スル經費ノ費途ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 本市小學校、勤勞學校兒童學用品、食費、被服費又ハ其ノ生活費
ノ一部若クハ全部

二 前號ノ外市長ニ於テ兒童就學獎勵上特ニ必要ト認メタル經費

前項費途ノ細目、補助ノ條件ハ市長之ヲ定ム

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔大例一三號〕

獎學規程

制 定 昭二、三、二三告示七一

最近改正 昭一八、三、告示八七

本市會ノ議決ヲ經大阪府獎學規程左ノ通定メ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ
施行ス

大阪府獎學規程

第一條 本市ハ中等以上諸學校ノ修學ニ困難ナル者ニ對シ本規程ノ定ム
ル所ニ依リ獎學費ヲ給與ス

第二條 獎學費ハ獎學基金ヨリ生スル利子及寄附金ヲ以テ之ニ充テ毎年
市豫算ヲ以テ其ノ額ヲ定ム

第三條 給費希望者ハ左ノ各號ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一 本市民ニシテ學費ニ乏シキ者

二 身體強健ナル者

三 學業優秀性行善良ナル者

第四條 給費生ハ市長之ヲ選定ス

第五條 給費額ハ一人ニ付年額三百圓以内ニ於テ市長之ヲ定ム

第六條 給費生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ給費ヲ停止シ若ハ減
額スルコトアルヘシ

一 溢リニ目的ヲ變更シ若ハ廢學シタルトキ

二 學業成績不良ト認メタルトキ

三 操行不良ト認メタルトキ

四 疾病其ノ他ノ事由ニ因リ成績ノ見込ナシト認メタルトキ

五 給費ヲ要セサルニ至リタルトキ

獎學規程施行細則

制 定 昭二、三、二三告示七一

大阪府獎學規程施行細則左ノ通相定メ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大阪府獎學規程施行細則

第一條 給費希望者ノ父兄ハ毎年十一月三十日限希望者ニ關スル左ノ書
類ヲ添ヘ推薦學校長ヲ經テ其ノ旨市長ニ申出ツヘシ

一 學校長ノ推薦書

二 自筆ノ履歷書

三 既往三年間ノ學業成績及性行ニ關スル證明書

四 身體検査書

五 調書(書式第一號)

六 戶籍謄本

七 寫眞(手札形ニシテ田願ノ日前六月以内ニ撮影シタルモノ)

八 給與金要求額並其ノ明細書

第二條 市長ハ委員ヲ設ケ給費希望者ニ付左ニ掲クル事項ヲ審査セシム

一 學力ノ程度

二 身體ノ健否

三 家庭ノ實情

四 志望學校ノ狀況

第三條 給費生ニ選定セラレタル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以



- 丙ニ父兄ノ連署ヲ以テ誓約書(書式第二號)ヲ差出スヘシ
- 第四條 給與金ハ毎年其ノ支給月額ヲ定メ豫メ之ヲ父兄ニ通知ス
- 第五條 給與金ハ毎月二十五日之ヲ支拂フ
- 前項ノ期日休日ニ當ルトキハ繰下トス
- 第六條 給與生ハ左ニ掲クル事項ニ付テハ遲滞ナク之ヲ市長ニ報告スヘシ
  - 一 每學期、每學年ノ成績及賞罰
  - 二 進級及卒業
  - 三 住居ノ異動
  - 四 身分ノ異動其ノ他重要ナル事項
- 第七條 給與生休學、轉學又ハ退學セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ父兄ノ連署ヲ以テ豫メ市長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第八條 前二條ニ定ムル報告書及承認申請書ハ總テ推薦學校長ヲ經由スルコトヲ要ス
- 第九條 推薦學校長及在籍學校長ハ獎學規程第六條ニ定ムル給費停止ノ原因アリト認ムルトキハ其ノ事情ヲ具シ市長ニ之ヲ申告スルコトヲ得

(書式第一號)

調書

本籍

何

年 月 日 生 某

- 一 戸主及家族ノ職業(各人別詳細)
  - 二 戸主及家族ノ財産(同上)
  - 三 戸主及家族ノ納稅額(前年度ニ於ケル營業收益稅、所得稅等市町村納稅證明書)
  - 四 學費支辨ニ困難ナル事由ノ詳細
  - 五 本人將來ノ志望
- 右之通りニ候也
- 年 月 日
- 父 兄 氏 名印
- (書式第二號)
- 誓約書
- 私儀今般 學校ニ於テ修業ノ爲貴市ヨリ獎學金ノ給與ヲ受クルコトニ相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ學業ニ勉勵可任此段誓約仕候也
- 年 月 日
- 本籍 住所 及 本人 氏 名印
- 現住 所 及 本人 氏 名印
- 本籍現住所 族籍及職業 父 兄 氏 名印
- 推薦者 何學校長 氏 名印

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

### 第三節 研究及相談施設

#### 教育研究所規程

制定 昭一五、一〇、三一告示六〇九

大阪市教育研究所規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 本所ハ本市教育ノ伸展ヲ圖ル爲教育ニ關スル諸問題ノ基本的調査研究ヲ爲シ本市立學校幼稚園教職員ノ講習訓練其ノ他必要ナル事業ヲ行フ
- 第二條 調査研究事項ノ概目左ノ如シ
  - 一 教育精神ニ關スル事項
  - 二 教育理論並教育思潮ニ關スル事項
  - 三 教育制度並教育行政ニ關スル事項
  - 四 教授訓練ノ實際ニ關スル事項
  - 五 教職員ノ福利厚生ニ關スル事項
  - 六 教育圖書並教育資料ニ關スル事項
  - 七 其ノ他教育教化ニ關スル事項
- 第三條 調査研究ノ結果ハ文書ヲ以テ教育局長ヲ經之ヲ市長ニ報告スヘシ
- 第四條 講習訓練ノ種別左ノ如シ
  - 一 幼稚園保姆部
  - 二 小學校教員部

- 三 青年學校教員部
- 四 中等學校教員部
- 第五條 講習訓練實施ノ期日、期間及時數並講習訓練科目ハ教育局長之ヲ定ム
- 第六條 一期ノ講習訓練ノ定員ハ各部五十名以内トス但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ
- 第七條 講習料ハ之ヲ徵收セス
- 第八條 所定ノ講習訓練ヲ終了シタル者ニハ考查ヲ行ヒ別記様式ニ依リ修了證書ヲ授與ス
- 第九條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ教育局長之ヲ定ム

附則

昭和十一年大阪市告示第五百七十四號大阪市教員講習所規程ハ之ヲ廢止ス

別記様式

修了證書

氏 名

生年月日

年度 部第 期講習訓練

右者大阪市教育研究所昭和 年 月 日

ヲ修了セリ仍テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

大阪市長 氏 名印



兒童教育相談所規程

制定昭一五、八、一告示四五

大阪市立兒童教育相談所規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市立兒童教育相談所規程

第一條 本所ハ大阪市立小學校幼稚園ノ兒童及幼兒ノ教育效果ノ増進ヲ

圖ルヲ以テ目的トシ左ノ事項ニ付相談、指導及調査研究ヲ爲ス

一 兒童及幼兒ノ智能、性格及環境ニ關スル事項

二 精神及身體ノ疾病、異常、缺陷、薄弱等ニシテ教育ニ關聯スル醫

學的事項

三 身體諸機關ノ機能検査及測定ニ關スル事項

四 教育測定ニ關スル事項

五 進學指導ニ關スル事項

六 職業能力ニ關スル事項

七 優秀智能兒、學業不進兒、薄弱智能兒、身體虛弱兒、身體缺陷等

ニ對スル特別教育ニ關スル事項

八 其ノ他教育效果ノ増進ニ關スル事項

市長必要ト認ムルトキハ本市立小學校幼稚園ノ兒童及幼兒以外ノ者ニ

對シテモ之カ相談、指導ヲ行フコトアルヘシ

第二條 本所ニ於テ相談、指導ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當

スル者ナルコトヲ要ス

一 本市立小學校幼稚園ニ在學又ハ在園スル者及其ノ保護者

二 本市立小學校幼稚園ノ教職員

三 前條第二項ノ規定ニ依リ市長必要ト認ムル者

第三條 本所ニ於テ相談、指導ヲ受ケントスル者ハ市長ノ承認ヲ受ケ

シ此ノ場合ニ於テ學校幼稚園ニ在學又ハ在園スル者ナルトキハ所屬學

校長又ハ幼稚園長ヲ經由スルコトヲ要ス

第四條 本所ノ相談、指導ハ之ヲ無料トス

第五條 市長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ相談、指導ヲ拒否スルコ

トアルヘシ

一 本所ニ於テ相談、指導スヘカラサル者ナルトキ

二 特ニ設置セル他ノ施設ニ於テ相談、指導スヘキ者ナルトキ

三 其ノ他市長相談、指導ノ必要ナシト認ムルトキ

第六條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ教育局長之ヲ定ム

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第二章 社會教育

第一節 文化施設

聖德館條例

制定昭一、一、二二條例一

最近改正 昭一五、四 條例九

本市會ノ議決ヲ經明治天皇記念館條例左ノ通相定ム

聖德館條例

第一條 明治天皇大阪行幸ヲ記念シ市民ノ聖德奉頌並國民精神ノ陶冶ヲ

圖ルヲ以テ本館ノ目的トス

第二條 本館ハ左ノ事業ヲ行フ

一 明治天皇ノ大阪行幸ニ關スル資料ノ陳列

二 歷代天皇ノ大阪ニ關スル資料ノ陳列

三 皇室、皇族ノ大阪ニ關スル資料ノ陳列

四 講演會、講習會、展覽會等ノ開催及活動寫眞ノ映寫

五 其ノ他市長ニ於テ必要ト認ムル事業

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ入館ヲ拒絕シ又ハ退館ヲ命ス

ルコトアルヘシ

一 傳染性疾患アル者又ハ精神ニ異常アリト認ムル者

二 酩酊者

三 不敬ニ互リ又ハ嫌忌スヘキ風體ヲ爲ス者

第十一類 教育 第二章 社會教育

四 他人ニ危險ヲ及ホシ若ハ他人ノ迷惑トナルヘキ物品又ハ動物ノ類

ヲ携帯スル者

五 係員ノ指示ニ從ハサル者

六 其ノ他市長ニ於テ支障アリト認ムル者

第四條 本館ノ講堂及附屬設備ヲ使用セントスル者ハ市長ノ許可ヲ受ケ

ルヘシ

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ使用ヲ許可セズ

一 公安又ハ風俗ヲ紊ス虞アリト認ムルトキ

二 政事又ハ營利ヲ目的トスルモノト認ムルトキ

三 建物又ハ附屬物ヲ毀損スルノ虞アリト認ムルトキ

四 管理上支障アリト認ムルトキ

五 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第六條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ範圍内ニ於テ市長ノ定ムル使用

料ヲ納付スヘシ但シ市長ニ於テ公益上其ノ他必要アリト認ムルトキハ

之ヲ減免スルコトアルヘシ

講堂使用料

一 日 五十圓以内

一 日 三十圓以内

活動寫眞映寫機使用料

一回(三時間以内)十圓以内

第七條 既納ノ使用料ハ之ヲ還付セズ但シ市長特別ノ事由アリト認ムル

トキハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルヘシ

第八條 使用者ハ市長ノ許可ヲ受ケ特別ノ設備ヲ爲スコトヲ得

市長ハ使用者ニ對シ必要ナル設備ヲ命スルコトアルヘシ

使用者前二項ノ規定ニ依リ設備ヲ爲シタルトキハ使用後直ニ之ヲ撤去



シ原狀ニ復スヘシ

使用者前項ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサルトキハ市長ニ於テ之ヲ執行シ其ノ費用ヲ使用者ヨリ徴收ス

第九條 使用者ハ其ノ權利ヲ讓渡シ又ハ他人ヲシテ使用セシムルコトヲ得ス

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ使用ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ使用ヲ制限若ハ停止スルコトアルヘシ

一 本條例ニ違反シ又ハ本條例ニ基ク指示ニ従ハサルトキ

二 第五條ノ事由發生シタルトキ

第十一條 入館者又ハ講堂使用者建物、陳列品、器具又ハ裝置等ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ市長ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ原形ニ復シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ

講堂使用者ハ講堂ニ於テ生シタル一切ノ事故ニ付其ノ責ニ任スルモノトス

第十二條 講堂又ハ附屬設備ノ使用ニ因リ又ハ本條例ニ基ク處分ニ因リ生シタル損害ニ付テハ本市ハ一切其ノ責ニ任セス

第十三條 本條例施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

聖德館條例施行細則

制定 昭二、一、一三 告示二二  
最近改正 昭一五、四、 告示一六四

聖德館條例施行細則左ノ通相定ム

聖德館條例施行細則

第一條 本館ノ觀覽時間左ノ如シ但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ停止スルコトアルヘシ

四月一日ヨリ十月末日迄

午前八時ヨリ午後四時迄

十一月一日ヨリ翌年三月末日迄

午前九時ヨリ午後四時迄

第二條 本館ハ十二月二十九日ヨリ翌年一月五日迄休館ス

前項ノ外市長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ臨時休館スルコトアルヘシ

第三條 聖德館條例(以下條例ト稱ス)第四條ノ規定ニ依リ本館講堂及附屬設備ヲ使用セントスル者ハ使用ノ期日前五日目迄ニ左ノ事項ヲ具シ市長ニ申請スヘシ

一 使用ノ目的  
二 使用ノ日時  
三 入場豫定人員  
四 附屬設備使用ノ範圍及時間  
五 特別ノ設備ヲ爲サントスルトキハ其ノ概要  
六 入館者ヨリ觀覽料其ノ他之ニ類スル金錢徴收ノ有無  
七 使用者ノ住所氏名

第四條 條例第六條ノ規定ニ依ル使用料ヲ定ムルコト左ノ如シ

〔大例一三號〕

本細則ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

圖書館館則

制定 昭二、一、三、 告示一五一

大阪市立圖書館館則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市立圖書館館則

第一章 總則

第一條 本市立圖書館ハ博ク圖書ヲ蒐集シテ公衆ノ閱覽ニ供ス

本館ハ時宜ニ依リ社會教育ニ關スル附帶施設ヲ爲ス

第二條 本館ノ開館時間左ノ如シ但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

四月一日ヨリ十月末日迄

午前八時ヨリ午後十時迄

十一月一日ヨリ翌年三月末日迄

午前九時ヨリ午後九時迄

第三條 本館ノ定期休館日左ノ如シ但シ臨時休館スルコトアルヘシ

一 紀元節

二 天皇節

三 明治節

四 曝書期 九月及十月ノ中約七日間

五 年末年始 十二月二十九日ヨリ翌年一月五日迄

六 掃除日 毎月末日(日曜日又ハ祭日ニ當ルトキハ之ヲ繰上ク)

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入館ヲ許サス

一 七歳未満ノ者

〔大例一三號〕

名稱	使用別		
	晝	夜	晝夜
講堂	五圓	七圓	十圓
附屬設備	暖房 一時間 二圓五十錢		
	活動寫眞 一回(三時間以内) 十圓		
	映寫機 一回(三時間以内) 十圓		

前項晝夜ノ區別ハ左表ニ依ル

區別	期間	
	自三月二十一日至九月二十日	自翌年三月二十日至九月二十一日
晝	自午前八時至午後五時三十分	自午前八時至午後四時三十分
夜	自午後六時三十分至午後十一時	自午後五時三十分至午後十一時
晝	自午前八時至午後十一時	自午前八時至午後十一時

第五條 使用料ハ前納スヘシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ後納セシムルコトアルヘシ

第六條 入館者ハ左記事項ヲ遵守スヘシ

一 脱帽スルコト  
二 所定ノ場所以外ニ於テ飲食又ハ喫煙ヲ爲ササルコト  
三 放歌吟誦其ノ他喧騒ニ涉ラサルコト

四 係員ノ許可ナクシテ陳列品ノ撮影ヲ爲ササルコト  
第七條 館内取締上其ノ他必要ナル事項ハ教育局長之ヲ定ム

附則

第十一類 教育 第二章 社會教育



- 二 傳染性疾患アル者又ハ精神ニ異常アリト認ムル者
- 三 酩酊者
- 四 他人ニ危險ヲ及ホシ若ハ他人ノ迷惑トナルヘキ物品又ハ動物ノ類ヲ拂帶スル者
- 五 其ノ他市長ニ於テ支障アリト認ムル者
- 第五條 本館圖書ノ閱覽ハ無料トス
- 第六條 入館セントスル者ハ受付ニ於テ圖書閱覽證ヲ受取リ住所氏名職業及年齢ヲ記入スヘシ
- 第七條 閱覽又ハ帶出シ得ヘキ圖書ノ冊數ハ一回ニ付兒童ハ一冊、其ノ他ノ者ハ三冊トス
- 第八條 閱覽又ハ帶出中ノ圖書ヲ亡失又ハ汚損シタルトキハ館長ノ指定ニ從ヒ本人又ハ保證人ヲシテ現品又ハ相當ノ代金ヲ以テ之ヲ賠償セシムルコトアルヘシ
- 第九條 圖書閱覽證又ハ圖書帶出票紛失ノ爲本市ニ損害ヲ生ゼシメタルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス
- 第十條 館内ニ於テハ左ノ事項ヲ禁ス
  - 一 放歌、吟詠其ノ他喧騒ニ涉ルコト
  - 二 所定ノ場所以外ニ於テ飲食又ハ喫煙ヲ爲スコト
  - 三 其ノ他市長ノ指示スル事項
- 第十一條 入館者ニシテ館内ノ風紀秩序ヲ紊シ又ハ他人ノ妨害ヲ爲ス者及本館則ニ違反シ又ハ係員ノ指示ニ從ハサル者ハ退館セシムルコトアルヘシ

第二章 館内閱覽

- 第十二條 館内ニテ圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書閱覽證ニ所要事項ヲ記入シ係員ニ差出スヘシ
- 第十三條 閱覽ヲ了シタルトキハ圖書ヲ返却シ圖書閱覽證ニ係員ノ檢印ヲ受クヘシ
- 第三章 館外閱覽
- 第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ所定ノ申込書ニ依リ館長ノ許可ヲ受ケ館外ニテ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得
  - 一 官公署、學校、青年團其ノ他各種團體
  - 二 前號ノ團體代表者ノ保證アル者其ノ他館長ニ於テ身元確實ト認ムル者
- 前項ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ圖書帶出票ヲ交付ス圖書帶出票ノ有効期間ハ發行ノ日ヨリ六月トス
- 第十五條 圖書帶出票ノ交付ヲ受ケタル者圖書ヲ帶出セントスルトキハ所定ノ用紙ニ其ノ指定事項ヲ記入シ圖書帶出票ト共ニ係員ニ差出スヘシ
- 第十六條 左ノ圖書ハ帶出ヲ許サス
  - 一 叢書類
  - 二 字典及辭書類
  - 三 新聞雜誌類
  - 四 其ノ他館長ノ指定シタル圖書
- 第十七條 圖書帶出期間ハ兒童ハ六日以内、其ノ他ノ者ハ十日以内トス但シ第十四條第一項第一號ニ掲ケタル者ハ二月以内トス

〔大例一三號〕

帶出期間ノ最終日休館日ニ相當スルトキハ其ノ翌日圖書ヲ返納スヘシ

大正十年大阪市告示第六十二號圖書館圖書閱覽規程ハ之ヲ廢止ス昭和十一年三月ノ開館時間ハ仍從前ノ例ニ依ル

〔大例一三號〕

美術館條例

制定 昭一、五、二條例四三  
最近改正 昭二、五、條例二二

- 第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ館外閱覽ノ許可ヲ取消シ若ハ制限シ又ハ帶出ヲ停止スルコトアルヘシ
  - 一 帶出シタル圖書ヲ返却ヲ怠リタルトキ
  - 二 帶出中ノ圖書ヲ亡失又ハ汚損シタルトキ
  - 三 館長ニ於テ必要ト認ムルトキ
- 前項ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ爾後館外閱覽ノ許可ヲ爲ササルコトアルヘシ
- 第十九條 圖書帶出票ヲ紛失シタルトキハ速ニ届出ヲ其ノ再交付ヲ請求スヘシ
- 第二十條 圖書帶出票ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ保證人ノ住所及身分ニ異動ヲ生シタル場合ハ直ニ届出ヲヘシ
- 第四章 圖書ノ寄贈及委託
- 第二十一條 本館ハ公衆ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ノ寄贈又ハ委託ニ應スルコトアルヘシ
- 前項圖書ノ送料ハ寄贈者又ハ委託者ノ負擔トス但シ特別ノ場合ニ於テハ本館ニ於テ之ヲ負擔スルコトアルヘシ
- 第二十二條 本館ニ於テ委託ヲ受ケタル圖書ハ別段ノ契約アル場合ヲ除クノ外本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲ爲ス
- 第二十三條 委託ヲ受ケタル圖書ニシテ火災、盜難其ノ他避クヘカラサル天災ニ罹リ滅失又ハ毀損スルコトアルモ本館ハ其ノ責ニ任セス
- 第二十四條 閱覽者心得其ノ他必要ナル細則ハ館長之ヲ定ム

- 本市會ノ議決ヲ經大阪市立美術館條例左ノ通相定ム
- 第一章 大阪市立美術館條例
- 第一條 本館ハ美術及美術工藝ノ助長、獎勵及研究ヲ爲スヲ目的トス
- 第二條 本館ハ左ノ事業ヲ行フ
  - 一 美術品及美術工藝品ノ蒐集、保管及陳列展覧ヲ爲スコト
  - 二 美術及美術工藝ニ關スル圖書ヲ蒐集、保管シ之ヲ閱覽セシムルコト
  - 三 美術及美術工藝ニ關スル講演會、講習會等ヲ開催スルコト
  - 四 美術及美術工藝ノ助長、獎勵又ハ研究ニ關シ本館設備ヲ使用セシムルコト
  - 五 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムル事業
- 第三條 本館ハ美術品及美術工藝品ノ寄贈又ハ委託ヲ受ケ
- 社寺ヨリノ寄託品ニ對シテハ市長別ニ定ムル所ニ依リ補給金ヲ給スルコトアルヘシ
- 第四條 本館ノ陳列品ノ觀覽料一人一回ニ付左ノ如シ



普通觀覽料	十三歲未滿	十 錢	團體觀覽料	學生、生徒、兒童 又ハ軍人ノ團體	其ノ他ノ團體
	十三歲以上	二十 錢		五 錢	

前項ノ規定ニ依ル團體ハ學生、生徒、兒童又ハ軍人ノ團體ニ付テハ三十人以上、其ノ他ノモノニ付テハ五十人以上トス

第五條 特別ノ陳列ヲ爲シタルトキハ其ノ期間ニ限リ市長ハ前條ノ規定ニ依ル觀覽料ノ五倍以內ノ觀覽料ヲ定メ之ヲ徵收スルコトヲ得

第六條 本館ノ陳列品又ハ保管品ニ就キ特別ノ研究ヲ爲サントスル者ハ市長ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ル觀覽料ノ外特別觀覽料トシテ一回一點ニ付五十錢ヲ徵收ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ入館ヲ拒絕シ又ハ退館ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 傳染性疾患アル者又ハ精神ニ異常アリト認ムル者
- 二 酩酊者
- 三 他人ノ嫌疑スヘキ風體ヲ爲ス者
- 四 陳列品ヲ汚損シ又ハ他人ニ危險ヲ及ホシ若ハ他人ノ迷惑トナルヘキ物品又ハ動物ノ類ヲ携帯スル者
- 五 係員ノ指示ニ従ハサル者
- 六 其ノ他市長ニ於テ支障アリト認ムル者

第十二條 使用者ハ市長ノ許可ヲ受ケ特別ノ設備ヲ爲スコトヲ得

市長ハ使用者ニ對シ必要ナル設備ヲ命スルコトアルヘシ

使用者前二項ノ規定ニ依リ設備ヲ爲シタルトキハ使用後直ニ之ヲ撤去シ原形ニ復スヘシ

使用者前項ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セザルトキハ市長ニ於テ之ヲ執行シ其ノ費用ヲ使用者ヨリ徵收ス

第十三條 使用者ハ其ノ權利ヲ讓渡シ又ハ他人ヲシテ使用セシムルコトヲ得ス

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ使用ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ使用ヲ制限若ハ停止スルコトアルヘシ

一 本條例ニ違反シ又ハ本條例ニ基ク指示ニ従ハサルトキ

二 第十條ノ事由發生シタルトキ

第十五條 觀覽料又ハ使用料ハ市長ニ於テ公益上其ノ他必要アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトアルヘシ

第十六條 既納ノ觀覽料又ハ使用料ハ之ヲ還付セス但シ市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルヘシ

第十七條 觀覽者又ハ使用者建物、陳列品、保管品、圖書、器具又ハ裝置等ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ市長ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ原形ニ復シ又ハ其損害ヲ賠償スヘシ

第十八條 本館ニ於テ生シタル一切ノ事故ニ付其ノ責ニ任スルモノトス

第八條 觀覽者ハ市長ノ許可ヲ受ケ本館所藏ノ圖書又閱覽スルコトヲ得

第九條 美術品及美術工藝品ノ展覽會又ハ美術及美術工藝ニ關スル講演會、講習會等ノ開催ノ爲本館展覽會室又ハ講堂ヲ使用セントスル者ハ市長ノ許可ヲ受クヘシ特別ノ必要ニ依リ展覽會室、豫備室及講堂以外ノ館内及構内地ヲ使用セントスルトキ亦同シ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ使用ヲ許可セス

- 一 公安又ハ風俗ヲ紊ス虞アリト認ムルトキ
  - 二 建物又ハ附屬物ヲ毀損スルノ虞アリト認ムルトキ
  - 三 管理上支障アリト認ムルトキ
  - 四 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ
- 第十一條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ範圍内ニ於テ市長ノ定ムル使用料ヲ前納スヘシ但シ市長特別ノ事由アリト認ムルトキハ後納セシムルコトアルヘシ
- 前項但書ノ場合ニ於テ市長必要ト認ムルトキハ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

使用別	使用料
展覽會室	一室一日 一五圓以內
豫備室	一室一日 三圓以內
講堂	一室一日 三〇圓以內
暖房設備	講堂ニ於テ夜間特ニ使用スル場合五圓以內
其ノ他ノ館内及構内地	一坪一日 二〇錢以內

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

ニ付テハ本市ハ一切其ノ責ニ任セス

第十九條 本條例施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

美術館條例施行細則

制定 昭二一、五、二五告示三〇一  
最近改正 昭二二、五、告示二八〇

大阪市立美術館條例施行細則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 觀覽

第一條 本館ノ陳列品ヲ觀覽セントスル者ハ所定ノ觀覽料ヲ納付シ觀覽券ヲ交付ヲ受クヘシ

第二條 左ニ掲クル者ニ對シテハ普通觀覽料ヲ徵收セス

- 一 特別ノ來賓及其ノ關係者
- 二 市長ノ發行セル優待觀覽券ヲ所持スル者
- 三 五年未滿ノ者

第三條 大阪市立美術館條例(以下條例ト稱ス)第六條ノ規定ニ依リ本館陳列品又ハ保管品ノ模寫、模造(拓本ヲ含ム)又ハ攝影其ノ他特別ノ研究ヲ爲サントスル者ハ所定ノ用紙ニ品名、目的、方法、住所及氏名ヲ記入シ館長ニ之ヲ提出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ寄託品ナルトキハ寄託者ノ承諾書ヲ提出スヘシ



第十一類 教育 第二章 社會教育

許可ヲ受ケタル者ハ特別觀覽料ヲ納付シ特別觀覽券ノ交付ヲ受クヘシ  
 特別ノ研究ハ本館係員ノ立會ノ上之ヲ爲スヘシ  
**第四條** 觀覽者ニシテ條例第八條ノ規定ニ依リ本館所藏ノ圖書ヲ閱覽セシトスル者ハ所定ノ用紙ニ圖書名、閱覽ノ目的、住所及氏名ヲ記入シ館長ニ之ヲ提出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

**第五條** 削除

**第二章** 展覽會室、豫備室、講堂其ノ他ノ使用

**第六條** 條例第九條ノ規定ニ依リ本館展覽會室、豫備室、講堂及其ノ他ノ館内並構内地ノ使用許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ市長ニ申請スヘシ

- 一 使用ノ目的及方法
- 二 使用ノ場所
- 三 使用ノ日時又ハ期間
- 四 特別ノ設備ヲ爲サントスルトキハ其ノ概要
- 五 入場豫定人員
- 六 入場料其ノ他之ニ類スル金錢徵收ノ有無
- 七 使用者ノ住所氏名

使用ヲ許可シタルトキハ使用許可書ヲ交付ス

**第七條** 條例第十一條ノ規定ニ依リ使用料ハ一日ニ付左ノ如シ

使用料別	使用	料
第一及第二展覽會室	三、四、五、九、十、十一月、十二月	七、〇〇〇
	一、二、六、七、八	五、六〇〇

其ノ他ノ館内及構内地	堂	
	小講堂	大講堂
一坪	五、〇〇〇	七、〇〇〇
	三、〇〇〇	五、〇〇〇
	〇、二〇〇	〇、〇〇〇

前項晝夜ノ區別ハ左表ニ依ル

區別	期	
	三月二十一日ヨリ九月二十日迄	九月二十一日ヨリ三月二十日迄
晝	午前八時ヨリ午後五時三十分迄	午前八時ヨリ午後四時三十分迄
夜	午後六時三十分ヨリ午後十一時迄	午後三時三十分ヨリ午後十一時迄

展覽會室、豫備室又ハ講堂ノ一部ヲ使用スル場合ト雖使用料ハ全額ヲ徵收ス

展覽會室ヲ引續キ十日以上同一目的ノ爲ニ使用スルトキハ第十一目目ヨリ其ノ使用料三割ヲ減額ス

**第八條** 展覽會室又ハ講堂ヲ使用スル場合ニ於テ看守又ハ切符賣捌、下

第十一類 教育 第二章 社會教育

講堂	室備豫		會 覽 展											
	第一豫備室	第二豫備室	全館	大展覽會室	第一階全部(大展覽會室ヲ除ク)	第二階全部	小室	第八展覽會室	第七展覽會室	第五及第六展覽會室	第一階全部(大展覽會室ヲ除ク)	小室	第四展覽會室	第三展覽會室
晝														
夜														
間														

【大例一三號】

【大例一三號】

足預等ノ設備ノ必要アルトキハ使用者ノ負擔ニ於テ之ヲ設置スヘシ

**第九條** 條例第十六條但書ノ規定ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ使用料ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルヘシ

- 一 不可抗力ニ因リ使用不能ノトキ
- 二 條例第十條第三號及第四號ノ事由ニ基キ條例第十四條ノ規定ニ依リ處分アリタルトキ
- 三 使用期日十日前迄ニ使用許可ノ取消ヲ願出テ相當ノ事由アリト認ムルトキ

**第三章** 寄贈及寄託

**第十條** 本館ニ美術品、美術工藝品、圖書其ノ他美術研究資料ヲ寄贈シ又ハ寄託セントスル者ハ其ノ品目、性質、傳來等ヲ具シ市長ニ申出ツヘシ此ノ場合ニ於テ市長必要ト認ムルトキハ略圖、寫眞其ノ他ノ説明ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

**第十一條** 寄贈又ハ寄託ノ受否ニ付テハ市長鑑査員會ノ意見ヲ徵スルコトアルヘシ

**第十二條** 國寶及本市ヨリ出陳ヲ依頼セル寄託品ハ本市、前二條ノ規定ニ依リ寄贈品及寄託品ハ寄贈者又ハ寄託者其ノ運搬ノ責ニ任ス但シ別段ノ特約ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

**第十三條** 寄贈品又ハ寄託品ヲ受領シタルトキハ受領證書又ハ預證書(別記様式)ヲ交付ス

**第十四條** 寄贈又ハ寄託ノ受否決定前ト雖已ムテ得サル事由アリト認ムルトキハ寄贈又ハ寄託セントスル物品ノ保管ヲ爲スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ假預證ヲ交付ス



受贈又ハ受託ニ決定シタルトキハ假預證ト引換ニ受領證書又ハ預證書ヲ交付ス

第十五條 寄託期間ハ一年以上トス但シ寄託品ノ種類又ハ性質ニ因リ之ヲ短縮スルコトアルヘシ

第十六條 寄託品ノ陳列保管ノ方法ハ市長ノ定ムル所ニ依ル但シ修繕ハ寄託者ノ承認ヲ經テ之ヲ行フ

第十七條 市長ハ寄託品ノ模寫、模造又ハ撮影等ヲ爲シ又ハ之ヲ公刊發賣スルコトアルヘシ但シ別ニ特約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 保管中寄託品ヲ滅失毀損シタルトキハ市長ノ定ムル所ニ依リ本市ノ力賠償ノ責ニ任ヌ但シ天災其ノ他不可抗力ニ因ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 寄託品ノ亡失ニ因リ前條ノ規定ニ依リ損害賠償ヲ爲シタル後其ノ寄託品ヲ發見シタルトキハ本市其ノ所有權ヲ取得スルモノトス但シ市長ハ寄託者ニ之ヲ返還シ賠償額ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第二十條 寄託品ヲ讓渡シタルトキハ遲滞ナク當事者連署ヲ以テ預證書ノ書換ヲ請求スヘシ

第二十一條 預證書記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク届出テ書換ヲ受クヘシ

第二十二條 預證書ヲ紛失シタルトキハ神社ニ在リテハ神職及氏子總代

第五種 年額 六圓  
前項ノ種別ハ館長之ヲ定ム  
市長必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス三十圓以上ノ補給金ヲ給スルコトアルヘシ

第二十八條 補給金ハ毎年三月其ノ會計年度ニ屬スル分ヲ給ス但シ會計年度ノ中途ニ於テ寄託ノ終了スルトキハ其ノ際之ヲ給ス

第二十九條 寄託期間ニ付一年ニ滿タサル端數アルトキハ補給金ハ月割ヲ以テ計算ス此ノ場合一月ニ滿タサル端數ハ一月ト看做ス

第三十條 祭典又ハ法要等ノ爲寄託品ヲ一時返還シタルトキハ寄託期間ヨリ其ノ期間ヲ控除ス但シ其ノ期間三十日ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 本細則施行ニ關シ必要ナル事項ハ館長之ヲ定ム

預證書  
證書番號 昭和 年 第 號  
品目  
數量  
寄託者  
住所  
氏名

Table with columns for address and name.

寄託期間 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日  
第十一類 教育 第二章 社會教育

全員(氏子ナキモノハ信徒總代)、寺院ニ在リテハ住職及檀徒總代全員(檀徒ナキモノハ信徒總代)、内外官公署ニ在リテハ所屬長、法人ニ在リテハ其ノ代表者、其ノ他ニ在リテハ保證人二名連署ヲ以テ遲滞ナク届出テ其ノ權利ヲ立證シテ再交付ヲ請求スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ市長ハ適當ナル方法ニ依リ之ヲ公告シ後三月ヲ經ルモ預證書ヲ發見セサルトキ之ヲ再交付スルモノトス  
再交付シタルトキハ曩ニ交付セル預證書ハ之ヲ無効トス  
第二十三條 寄託品ノ預證書ヲ汚染又ハ毀損シタルトキハ寄託者ニ於テ遲滞ナク其ノ旨届出テ其ノ引換ヲ請求スヘシ  
第二十四條 證書ノ再交付又ハ引換ヲ爲ストキハ其ノ事由ヲ該證書ニ記載ス

第二十五條 寄託品ハ預證書ト引換ニ非サレハ之ヲ返還セズ  
返還請求者ニ對シテハ其ノ正當權限ニ基クモノナルコトノ立證ヲ求ムルコトアルヘシ

第二十六條 寄託期間滿了後五年以内ニ其ノ返還ヲ請求セサルトキハ預證書ハ無効トシ寄託品ハ市長之ヲ處分スルコトヲ得ルモノトス

第四章 補給金  
第二十七條 本市ヨリ出陣ヲ依頼セル社寺ヨリノ寄託品ニ對シテハ條例第三條第二項ノ規定ニ依リ寄託期間中左ノ區別ニ依リ補給金ヲ給ス

第一種 年額 三十圓  
第二種 年額 二十四圓  
第三種 年額 十八圓  
第四種 年額 十二圓

有效期間 昭和 年 月 日限  
右大阪市立美術館使用條例第三條及同施行細則第三章ノ規定ニ依リ寄託相成正ニ預候也  
昭和 年 月 日 市 長

〔大例一三號〕

Table with columns for dates: 年 月 日, 年 月 日, 年 月 日

電氣科學館條例

本市會ノ議決ヲ經大阪市立電氣科學館條例左ノ通相定ム  
大阪市立電氣科學館條例  
第一條 本館ハ電氣其ノ他ノ科學知識及技術ノ普及並ニ向上ヲ圖ル爲左ノ施設ヲ爲ス

- 一 電氣館  
二 天象館



- 三 研究室
- 四 圖書室
- 五 其ノ他

第二條 本館ノ事業左ノ如シ

一 電氣其ノ他ノ科學及技術ニ關スル資料、裝置ノ蒐集、陳列、映畫、映寫、展覽會、講習會及講演會ノ開催、圖書ノ閱覽並ニ刊行物ノ發行

二 天象儀其ノ他ニ依ル天體運行等ノ照寫及展觀並ニ望遠鏡其ノ他ニ依ル天文ノ觀測、研究及指導

三 電氣其ノ他ノ科學及技術ニ關スル各種研究ノ指導並ニ特許權及實用新案權等ノ實施ニ關スル紹介

四 其ノ他市長必要ト認ムル事項

料金	普通觀覽料		回数券	觀覽料
	種別	料金		
電氣館	十	二十錢	十	二十回券
天象館	二十	四十錢	一圓八十錢	三圓四十錢
氣象館	二十五	五十錢	三圓六十錢	六圓八十錢
氣象館共通	二十五	五十錢		

第四條 市長事業上其ノ他必要アリト認ムルトキハ前條觀覽料ノ五割以内ニ於テ臨時割引ヲ爲スコトヲ得

第五條 市長必要アリト認ムルトキハ特ニ日ヲ指定シ第三條ノ規定ニ依

ル普通觀覽料ノ三倍以内ニ於テ特別觀覽料ヲ徵收スルコトヲ得

前項指定日ニ於テハ回数觀覽券ニ依ル觀覽ヲ許サス

第六條 學生、生徒、兒童又ハ軍人ニ在リテハ三十人以上、其ノ他ニ在リテハ五十人以上ノ團體ニ限リ普通觀覽料及特別觀覽料ヲ五割以内ニ於テ割引ス

第七條 市長必要アリト認ムルトキハ電氣館ニ限リ第三條ノ規定ニ依ル普通觀覽料ヲ五割以内ニ於テ割引シテ記名ノ通館券ヲ發行スルコトヲ得

前項通館券ハ記名本人ニ非サレハ使用スルコトヲ得ス

第八條 市長ハ事業上ノ必要其ノ他特別ノ事由アリト認ムル者ニ對シテ優待觀覽券ヲ發行スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ入館ヲ拒絕シ又ハ退館ヲ命スルコトアルヘシ

一 十年未滿ノ小兒ニシテ保護者ノ同伴ナキ者

二 傳染性疾患アル者又ハ精神ニ異常アリト認ムル者

三 酩酊者

四 他人ノ嫌忌スヘキ風體ヲ爲ス者

五 他人ニ危險ヲ及ホシ若ハ他人ノ迷惑トナルヘキ物品又ハ動物ノ類ヲ携帶スル者

六 係員ノ指示ニ從ハサル者

七 其ノ他市長ニ於テ支障アリト認ムル者

第十條 觀覽者ニシテ特殊ノ陳列品ニ就キ實演セントスル者ニ對シテハ實演料ヲ徵收ス

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

電氣科學館條例施行細則

制定 昭二一、二、二五 告示七二九  
最近 昭一七、八 告示三一六

大阪市立電氣科學館條例施行細則左ノ通り相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 觀覽

第一條 電氣館又ハ天象館ヲ觀覽セントスル者ハ所定ノ觀覽料ヲ納付シ觀覽券ノ交付ヲ受クヘシ

觀覽券ノ發賣ハ閉館時刻一時間前迄トス但シ滿員其ノ他特別ノ事由アルトキハ定刻前發賣ヲ中止スルコトアルヘシ

第二條 大阪市立電氣科學館條例(以下條例ト稱ス)第六條ノ規定ニ依ル團體割引率左ノ如シ

一 學生、生徒、兒童又ハ軍人

三十人以上ノ團體

五十人以上ノ團體

百人以上ノ團體

百五十人以上ノ團體

二百人以上ノ團體

二 其ノ他

五十人以上ノ團體

百人以上ノ團體

二百人以上ノ團體

一割五分

二割

三割

四割

九四一

前項實演料ハ一圓以内ニ於テ市長之ヲ定ム

第十一條 既納ノ觀覽料又ハ實演料ハ之ヲ還付セス但シ市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルヘシ

第十二條 電氣館觀覽者ハ市長ノ許可ヲ受ケ圖書室備付ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第十三條 電氣其ノ他ノ科學ニ關スル發明、考案其ノ他特殊ナル研究ノ指導ヲ受ケントスル者ニシテ市長ニ於テ適當ト認ムル者ニ對シテハ研究室又ハ備付資料ノ使用ヲ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ電氣館觀覽料ヲ徵收ス

第十四條 市長必要アリト認ムルトキハ公衆ノ觀覽ニ供スヘキ電氣其ノ他ノ科學ニ關スル各種ノ資料、裝置等ノ出品ノ委託又ハ寄贈ヲ受クルコトアルヘシ

第十五條 出品物ニ對シテハ本市ノ陳列品ニ對スルト同一ノ注意ヲ爲スモ尙生シタル損害ニ付テハ本市其ノ責ニ任セス

第十六條 觀覽者、出品者其ノ他ノ入館者建物、陳列品又ハ裝置等ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ市長ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ原形ニ復シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ

第十七條 削除

第十八條 本條例施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

本條例ハ昭和十一年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス



第三條 條例第七條ノ規定ニ依リ左ニ該當スル者ニ對シテハ通館券ヲ發行ス

- 一 第十條ノ規定ニ依リ本館指導ノ許可ヲ受ケタル者
- 二 特別ノ研究ノ爲願書ヲ以テ願出タル者

- 通館券ノ種類及料金左ノ如シ
- 三日券 五十錢
- 五日券 七十錢
- 十日券 一圓

通館券ハ休館日ヲ除キ連日使用スルモノトス

第四條 觀覽券ノ通用期間ハ回数券及通館券ヲ除キ發行當日限トス

第五條 觀覽者ニ對シテハ時間ヲ定メ陳列品其ノ他ニ付説明ヲ爲ス但シ團體等ニ對シテハ隨時之ヲ爲スコトアルヘシ

第六條 觀覽者ハ陳列品ニ付賞演ヲ爲スコトヲ得但シ特ニ指定スル陳列品ニ付テハ係員ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 條例第十條ノ規定ニ依リ賞演ノ種類及料金左ノ如シ

- 一 高速寫眞 一枚(六面連續) 五十錢
- 二 複寫寫眞 大 一枚 八十錢  
小 一枚 五十錢
- 三 電氣吹込レコード 一枚(片面) 一圓

第八條 條例第十二條ノ規定ニ依リ圖書室備付ノ圖書ヲ閱覽セントスル

- 四 不正行爲アリタルトキ
- 五 條例又ハ本細則ニ違反シ若ハ之ニ基ク指示ニ従ハサルトキ
- 六 其ノ他館務ノ都合上市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第三章 出品及寄贈

第十五條 條例第十四條ノ規定ニ依リ本館ニ出品又ハ寄贈セントスル者ハ出品申込書(第三號様式)又ハ寄贈申込書(第四號様式)ニ其ノ品目、

性能、取扱上ノ注意其ノ他ノ要項ヲ記入シ之ヲ市長ニ提出スヘシ

第十六條 出品物又ハ寄贈品ノ運搬据付及撤去ハ出品者又ハ寄贈者之ヲ爲スモノトス但シ別段ノ特約ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 出品物又ハ寄贈品ヲ受領シタルトキハ預證書(第五號様式)又ハ受領證書ヲ交付ス

第十八條 出品期間ハ一年以上トス但シ出品物ノ性質其ノ他特別ノ事由アルトキハ之ヲ短縮スルコトアルヘシ

第十九條 出品物ノ陳列及保管ノ方法ハ市長之ヲ定ム

第二十條 市長ハ出品物ノ模寫、撮影等ヲ爲シ又ハ之ヲ公刊發賣スルコトアルヘシ但シ別段ノ特約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 條例第十五條ノ規定ニ依リ本市ニ於テ出品物ノ損害ノ賠償ヲナスヘキ場合ニ於テハ其ノ賠償額ハ市長之ヲ定ム

出品物ノ亡失ニ因リ前項ノ規定ニ依リ損害賠償ヲ爲シタル後其ノ出品物ヲ發見シタルトキハ本市其ノ所有權ヲ取得スルモノトス但シ市長ハ出品者ニ之ヲ返還シ賠償額ヲ返還セシムルコトアルヘシ

者ハ所定ノ圖書閱覽證ニ職業、住所、氏名其ノ他ノ要項ヲ記入ノ上之ヲ提出シ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 觀覽者陳列品、設備其ノ他ヲ模寫又ハ撮影セントスルトキハ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第二章 研究室及備付資料ノ使用

第十條 條例第十三條ノ規定ニ依リ研究室又ハ備付資料ヲ使用シ本館ノ指導ヲ受ケントスル者ハ願書(第一號様式)、履歷書及市内又ハ近接地ニ居住シ一家計ヲ立ツル連帶保證人二名ノ連署シタル誓約書(第二號様式)ヲ提出シ市長ノ許可ヲ受クヘシ但シ發明又ハ考案ノ爲ニ非サル研究ノ指導ヲ受ケントスル者若ハ市長ニ於テ必要ナシト認ムル者ニ對シテハ誓約書ノ提出ヲ免除ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ本館ノ指導ノ許可ヲ受ケタル者ノ研究又ハ製作ニ要スル機械器具、材料其ノ他ハ電氣館備付資料ヲ除クノ外其ノ研究者又ハ製作者ニ於テ負擔スルモノトス

第十二條 發明又ハ考案ノ指導ヲ受クル者研究狀況又ハ完了成績ノ報告ヲ求メラレタルトキハ之ニ應スヘキモノトス

第十三條 本館ノ指導ヲ受ケタル發明品及考案品ハ之ヲ陳列セシムルコトアルヘシ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ研究室其ノ他ノ使用及本館指導ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

- 一 届出ヲ爲サズシテ研究ヲ休止シタルトキ
- 二 研究ヲ持續スルモ成功ノ見込ナシト認メタルトキ
- 三 設備ヲ利用シ申出ト異リタル研究ヲ爲シタルトキ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第二十二條 出品物ヲ讓渡シタルトキハ遲滞ナク當事者連署ヲ以テ名義變更ノ申出ヲ爲スヘシ

第二十三條 預證書紛失シタルトキハ官公署、學校及會社等ニ在リテハ其ノ代表者、其ノ他ノモノニ在リテハ保證人二名連署ヲ以テ遲滞ナク届出テ其ノ事實ヲ立證シテ再交付ヲ請求スヘシ

前項ノ場合ニ在リテハ市長ハ之ヲ大阪府公報ニ公告シ後三月ヲ經ルモ預證書ノ發見セラレサルトキハ之ヲ再交付スルモノトス

再交付ヲ爲ストキハ其ノ事由ヲ該證書ニ記載シ曩ニ交付シタル預證書ハ無効トス

第二十四條 預證書汚染又ハ毀損シタルトキハ出品者ニ於テ遲滞ナク其ノ旨届出テ其ノ引換ヲ請求スヘシ

第二十五條 出品物ハ預證書引換ニ非サレハ之ヲ返還セズ

返還請求者ニ對シテハ其ノ正當權限ニ基クモノナルコトノ立證ヲ求ムルコトアルヘシ

第二十六條 出品期間滿了後三年以内ニ出品物ノ引取ナキトキハ本市其ノ所有權ヲ取得シ預證書ハ無効トス

第二十七條 入館者心得其ノ他本細則施行ニ關シ必要ナル事項ハ館長之ヲ定ム

第一號様式

研究室及備付資料使用願  
私儀左記ニ依リ大阪府立電氣科學館内研究室及備付資料ヲ使用シ御市ノ指導相受度候間御許可被成下度此段及御願候也



記

- 一 使用物件ノ種類及數量
- 一 研究事項
- 一 研究期間
- 一 使用豫定人員

道而御許可相成候上ハ諸規則ヲ遵守可致ハ勿論係員ノ御指示ニ從ヒ決シテ御迷惑相掛申間敷候

年 月 日

住所  
職業  
願出人 氏  
名印

第二號様式

五錢 紙入

誓約書

私儀研究室及備付資料ノ使用並發明、考案ノ指導御許可相成候上ハ諸規則等遵守可致ハ勿論館内ニ於ケル一切ノ責ニ可任決シテ御迷惑相掛申間敷此段誓約候也猶保證人ハ願出人ノ一切ノ責任ニ付連帶シテ保證可致候也

年 月 日

住所  
職業

願出人 氏  
住所  
職業  
連帶保證人 氏  
連帶保證人 氏  
名印  
年月日生

第三號様式

出品申込書

大阪市立電氣科學館條例及同施行細則承認ノ上左記ノ通出品仕度申込候也

記

- 一 品 目
- 一 數量
- 一 性質
- 一 取扱上ノ注意
- 一 出 品 期 間

自昭和 年 月 日  
至昭和 年 月 日

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第四號様式

住所  
出品申込者 氏  
名印

寄贈申込書

大阪市立電氣科學館條例及同施行細則承認ノ上左記ノ通寄贈仕度申込候也

記

- 一 品 目
- 一 數量
- 一 性質
- 一 取扱上ノ注意

年 月 日

住所  
寄贈申込者 氏  
名印

第五號様式

(表面)

證書番號 昭和 年 月 日 第 號  
預證書  
一 品 目

第十一類 教育 第二章 社會教育

出 品 量

住所  
氏  
名

一 出 品 期 間 自昭和 年 月 日  
至昭和 年 月 日

右大阪市立電氣科學館條例第十四條及同施行細則第三章ノ規定ニ依リ出品相成正ニ預候也

昭和 年 月 日  
大阪市長 殿

備考 出品期間滿了後三年以内ニ出品物ノ引取ナキトキハ本市其ノ所有權ヲ取得シ本證書ハ無効トス

(裏面)

條例第十四條及同施行細則第三章全文ヲ揭示シ餘白ニ左ノ欄ヲ設ケ必要事項記載ノコト

年 月 日	年 月 日	年 月 日



戰時生活館規程

制定 昭一八、四、一五告示一五四

大阪市立戰時生活館規程左ノ通相定メ昭和十八年四月十七日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市立戰時生活館規程

第一條 大阪市立戰時生活館ハ大東亞戰爭完途ノ爲本市民ノ戰爭意識ノ昂揚並ニ戰時生活ノ實踐徹底ヲ圖リ併セテ戰力ノ強化及戰時道德ノ確立ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二條 本館ノ事業左ノ如シ

- 一 實物見本及標本等ノ展示
- 二 展覽會、講演會、講習會、座談會其ノ他諸會ノ開催
- 三 市民生活關係資料ノ調査蒐集及圖書ノ閱覽
- 四 各種相談、指導及斡旋
- 五 其ノ他市長ニ於テ必要ト認ムル事項

第三條 本館ニ左ノ施設ヲ爲ス

- 一 常設展示場
- 二 展覽會場
- 三 講堂
- 四 國策窓
- 五 圖書館
- 六 相談室
- 七 其ノ他市長ニ於テ必要ト認ムル施設

第四條 施設ノ觀覽及利用ハ之ヲ無料トス

第五條 觀覽及利用時間左ノ如シ但シ時宜ニ依リ之ヲ變更スルコトアルベシ

四月一日ヨリ十月三十一日迄 午前八時ヨリ午後五時迄  
十一月一日ヨリ翌年三月三十一日迄 午前九時ヨリ午後五時迄

第六條 休館日左ノ如シ但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルベシ

大祭祝日  
月曜 日  
十二月二十九日ヨリ翌年二月五日迄

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入館ヲ許サズ

- 一 傳染性又ハ他人ノ嫌疑スベキ疾患アル者
- 二 酩酊者又ハ精神ニ異常アリト認ムル者
- 三 他人ノ嫌疑スベキ風體ヲ爲ス者
- 四 他人ニ危險ヲ及ボシ若ハ他人ノ迷惑トナルベキ物品又ハ動物ノ類ヲ携帯スル者
- 五 係員ノ指示ニ従ハザル者
- 六 其ノ他市長入館ヲ不適當ト認ムル者

第八條 館内ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

- 一 所定ノ場所以外ニ於テ飲食又ハ喫煙ヲ爲スコト
- 二 風俗秩序ヲ亂シ又ハ放歌喧騒其ノ他他人ノ迷惑トナルベキ行爲ヲ爲スコト
- 三 其ノ他市長ノ指示ニ反スル行爲ヲ爲スコト

第九條 觀覽者、利用者其ノ他ノ入館者建物若ハ備付物品ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ之ヲ原形ニ復シ若ハ市長ノ認定スル損害額ヲ賠償セシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

ムルコトアルベシ  
第十條 入館者心得其ノ他本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ所管局長之ヲ定ム

音樂隊條例

制定 昭九、三、三一條例一〇

本市會ノ議決ヲ經大阪市音樂隊條例左ノ通相定メ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市音樂隊條例

第一條 大阪市音樂隊ハ市民ノ情操教育ノ普及徹底ヲ圖リ且音樂ノ研究ヲ爲ス所トス

第二條 大阪市音樂隊ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 公開演奏
- 二 作曲及編曲
- 三 音樂ニ關スル講演、講習及指導
- 四 市ノ儀式ニ於ケル演奏
- 五 出張演奏
- 六 其ノ他市長ニ於テ必要ト認ムル事項

第三條 出張演奏ハ他ノ依頼ニ應ジ之ヲ爲ス

出張演奏ヲ依頼セントスル者ハ別ニ定ムル手續ニ依リ市長ニ其ノ旨願出テ承認ヲ受クヘシ

第四條 出張演奏ノ依頼者ニ對シテハ一回ニ付キ八十圓以內ニ於テ市長ノ定ムル使用料ヲ徵收ス

音樂隊條例施行細則

制定 昭九、三、三一告示一一九

大阪市音樂隊條例施行細則左ノ通相定メ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 條例第三條ノ規定ニ依リ出張演奏ヲ依頼セントスル者ハ左ノ事

一回ノ出張演奏ノ演奏時間ハ四時間以內トス但シ演奏時間四時間ヲ超エルトキハ爾後四時間又ハ其ノ端數ヲ加フル毎ニ前項ノ規定ニ依ル使用料ノ半額ヲ加徵ス

第五條 有料音樂會、ラヂオ放送、著音機吹込其ノ他特殊ノ出張演奏ニ對スル使用料ハ其ノ都度市長之ヲ定ム

第六條 出張演奏ニ必要ナル樂手及樂器ノ輸送並樂手ノ宿泊其ノ他ノ費用ハ出張演奏依頼者ノ負擔トス

第七條 公益ニ反シ又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ市長必要アリト認ムルトキハ出張演奏ノ承認ヲ取消スコトアルベシ

第八條 他ノ依頼ニ依リ作曲、編曲、講演、講習及指導ヲ爲シタルトキハ市長ハ實費及別ニ定ムル使用料ヲ徵收スルコトヲ得

第九條 本條例ノ規定ニ依ル使用料及實費ハ之ヲ前納セシム但シ市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

公益上其ノ他特殊ノ理由ニ依リ市長必要アリト認ムルトキハ使用料及實費ヲ減免スルコトアルベシ

第十條 本條例施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム



- 項ヲ記載セル申込書ヲ提出シ市長ノ承認ヲ受クヘシ
  - 一 演奏ノ日時
  - 二 演奏ノ場所
  - 三 演奏ノ豫定時間
  - 四 演奏ノ目的
  - 五 主催者又ハ責任者ノ住所氏名
  - 六 其ノ他出張演奏ニ付必要ナル事項
- 第二條** 條例第四條第一項ノ規定ニ依ル演奏料左ノ如シ
- 一 官公衙、學校、「青年訓練所」、男女青年團又ハ之ニ準スヘキモノノ主催ノ場合
    - 一回 六十圓
    - 一回 八十圓
  - 二 其ノ他ノモノノ主催ノ場合
    - 一回 六十圓
    - 一回 八十圓
- 第三條** 條例第五條及第八條ノ規定ニ依ル使用料ハ市長ノ承認ヲ經テ教育部長之ヲ定ム
- 第四條** 出張演奏ノ承認ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク所定ノ使用料ヲ納付スヘシ
- 第五條** 出張演奏ノ申込書ニ不實ノ記載ヲ爲シ其ノ他不正ノ方法ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レタルトキハ之ヲ追徵ス
- 第六條** 既納ノ使用料ハ之ヲ還付セス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ返還スルコトアルヘシ
- 一 條例第七條ノ規定ニ依リ市長ニ於テ出張演奏ノ承認ヲ取消シタルトキ
  - 二 天候其ノ他不可抗力ニ因リ出張演奏不能トナリタルトキ
  - 三 演奏ノ二日前迄ニ出張演奏ノ申込ノ取消ヲ願出テ市長ニ於テ之ヲ

- 承認シタルトキ
  - 四 其ノ他使用料ニ變更ヲ生スヘキ事項ヲ願出テ市長ニ於テ之ヲ承認シタルトキ
- 第七條** 本則施行ニ關シ必要ナル事項ハ主管局部長之ヲ定ム

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

### 第二節 青年團

#### 青年團補助規程

制 定 大九、四、一告示四五ノ四

本市會ノ議決ヲ經青年團補助規程左ノ通相定ム

青年團補助規程

- 第一條** 本市ハ青年團ノ改善發達ヲ獎勵スル爲本規程ニ依リ毎年豫算ヲ以テ定ムル補助金ヲ支出ス
  - 第二條** 補助金ヲ交付スヘキ青年團及其ノ交付金額ハ市長之ヲ定ム
  - 第三條** 補助金ハ市長ノ指定シタル施設ノ經費ニ充テシム
  - 第四條** 補助ヲ受ケタル青年團ハ年度終了後二箇月以内ニ收支計算書及事業報告書ヲ本市ニ提出スヘシ
  - 第五條** 本市ハ時宜ニ依リ會計検査ヲ行フコトアルヘシ
  - 第六條** 本規定施行ニ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム
- 附 則
- 本規程ハ大正九年四月一日ヨリ施行ス

#### 青年團補助規程施行細則

制 定 大九、五、三告示 五六

最近改正 昭一、三 告示一五四

青年團補助規程施行細則左ノ通相定ム

青年團補助規程施行細則

第十一類 教育 第二章 社會教育

- 第一條** 青年團ニシテ市費ノ補助ヲ受ケントスルモノハ其ノ代表者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ毎年六月三十日迄ニ當該青年團所在地ノ區長ニ提出スヘシ
  - 一 團則
  - 二 團員數(正團員其ノ他ノ團員ヲ區別スルヲ要ス)
  - 三 前年度收支決算書
  - 四 當該年度收支豫算
  - 五 當該年度實施豫定ノ施設事項
- 前項ノ申請ニ對シ區長ハ調査ノ上意見ヲ附シ七月十五日迄ニ之ヲ市長ニ進達スヘシ

- 第二條** 青年團補助規程ニ據リ市長ニ於テ指定スヘキ事業ノ概目左ノ如シ
  - 一 精神修養ノ講演講習ニ關スル事項
  - 二 補習教育ニ關スル事項
  - 三 體育獎勵ニ關スル事項
  - 四 文庫ニ關スル事項
- 前項第三號及第四號ハ時宜ニ依リ指定セサルコトアルヘシ
- 第三條** 補助額ハ青年團ノ組織、區域、團員數、事業成績其ノ他ノ事情ヲ斟酌シテ其ノ都度之ヲ定ム
- 第四條** 補助ヲ受ケタル青年團ニシテ其ノ年度ニ於ケル市長指定ノ事業計畫ヲ變更セントスルトキハ代表者ニ於テ當該區長ヲ經テ豫メ市長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第五條** 補助ヲ受ケタル青年團ニシテ團則若ハ豫算ヲ變更シ又ハ代表者